臺灣日日新報　夕刊
十二月二十一日
夕刊定價一部貳錢
發行兼編輯人 [illegible]
臺北市榮町四丁目三十二番地
發行所　臺灣日日新報社
臺南支局　臺中支局　基隆支局　花蓮港支局　大阪支局　東京支局

日本石油
プロペン
瓦斯

規約十五條四項に依り勸告案を公表せん

當事國が和協に應ぜぬ場合

小國側で計畫の模樣

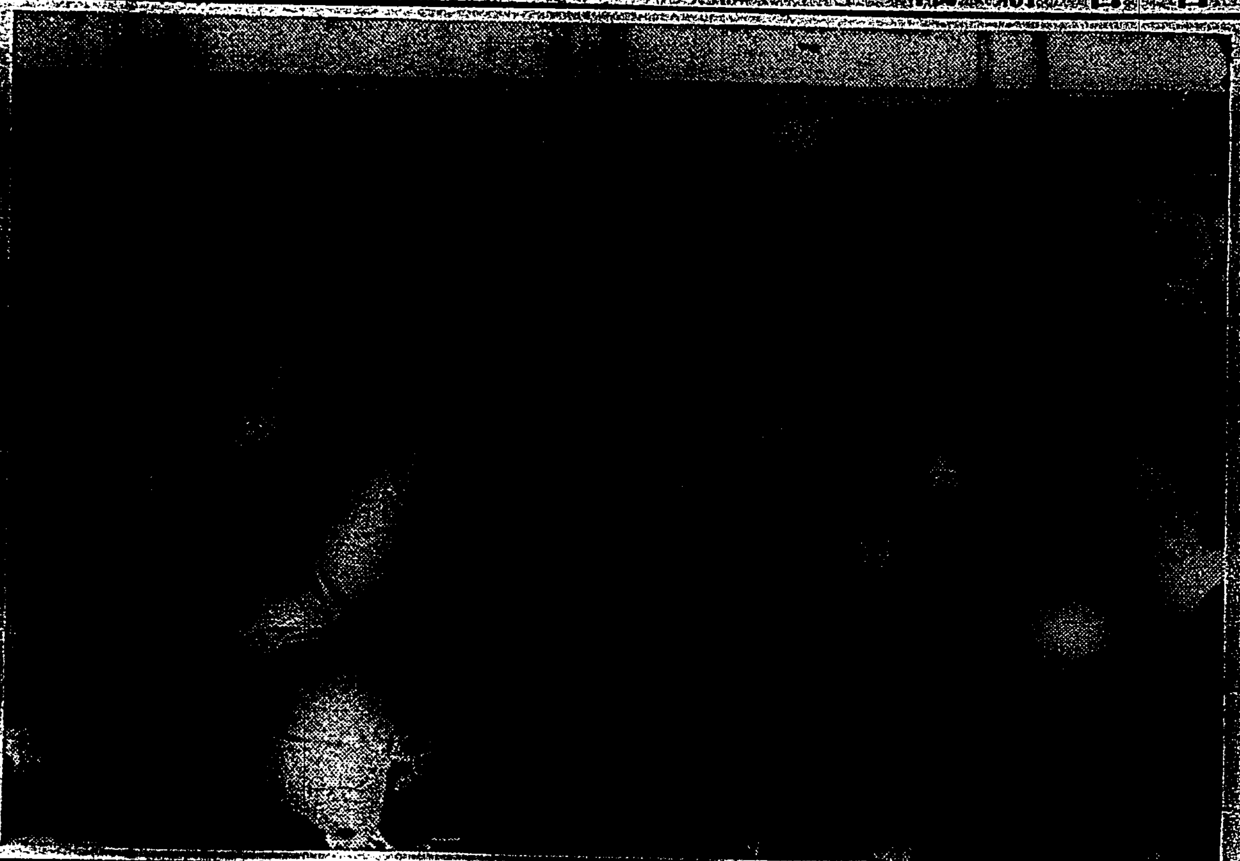
【ゼネバ二十日發電通】十九國委員會は決議案に對する日本の强硬なる修正意見に依り年内には解決困難と認め既報の如く明年一月十六日まで一先づ閉幕することとなつたが小國側では若し一月十六日までに當事國の何れかが適當と認めらるる和協の原則を受諾しない場合には聯盟規約第十五條四項を發動せしめ當事國の承認を求めずして適當と認むる勸告案を公表せんとの意向を有してゐると諒解されてゐる

聯盟首腦部の懸念

日本の主張を取入れた場合

支那は露骨な共産主義容認

【ゼネバ二十日發電通】日本に同情を有する聯盟首腦部が最も懸念してゐる點は十九國委員會が日本の修正主張を取入れ結論を作る場合は支那は對策の一としてソヴエトに近づき露國と連繫して露骨な共産主義容認の政策に傾く恐れありとすることである、我代表部は勿論斯かる可能性を認むると同時にこれあるが故に滿洲國の支持承認が東洋及び世界平和維持のため目下の最大急務なることを今後反覆力說して我主張貫徹に努むる筈でこの點の理解が充分となれば結果は案外我に有利となると豫想されてゐる



聯盟理事會議場（十一月二十一日）正面馬蹄形席向つて右より四人目×印松岡代表、左へサイモン英外相、ドラモンド事務總長、デヴアレラ議長、ポンクール佛陸相、アロイシ伊代表、松岡代表右三人はパナマ外小國代表二名、前面多數は記者席

松岡代表各國を訪問

二十二日から

【ゼネバ二十日發聯合】松岡全權は休暇を利用し小林代議士、吉澤書記官を伴ひ左の旅程で各國を訪問の旅に上る事となつた

△二十二日　午前十一時淸府發ウイーンへ
△二十三日　朝ウイーン發イスタンブールへ
△二十五日　朝同地着一泊の豫定ケマルパシャとの會見は中止
△二十六日　夜汽船でヴエニスへ
△二十八日　同地着一泊
△三十日　ローマ着元旦をローマで迎へムッソリニ首相とも出來れば會見する

以後の豫定は未定だが多分スペインと英國を訪問する模樣である

起草委員會と日本との内交渉

一月三日から開始

【ゼネバ二十日發電通】聯盟事務次長杉村博士はドラモンド總長と協議の結果來年一月三日から日本と起草委員會の間の内交渉再開に決した

米穀統制の幹事案の要項

小委員會に提案

【東京二十日發電通】二十日の米穀統制調査會特別委員會小委員會に米穀部幹事より幹事案を提案されたが、該案は當然議會提案の政府原案の基礎となるものである然して該案は大體に於て同調査會で出來上つた統制制度を基礎として出來上つたもので、重點は價格公定、數量調節、自治的統制、生産統制、特別會計の整備充實等に置かれてゐる、幹事案要項左の如し

一、米穀價格公定、政府は每年米穀の最低最高價格を定め之を告示する、最低價格は米穀生産費に物價其他經濟事情を參酌して定め最高價格は家計費に物價其他經濟事情を參酌して之を定む
一、米穀の買入及賣渡、政府は米穀の季節的及び地方的出廻數量を調節するため米穀の買入又は賣渡しを行ふ、政府は最低價格を維持し又最高價格を上廻らんとする米價を統制するため米の買入又は賣渡しを行ふ
一、米穀の輸出入、政府の管理とす
一、米穀の移出入、植民地米の内地移入を月別平均的に調節するため政府は朝鮮米及び臺灣米の買入を行ふ
一、政府は必要ある時は粟及び雜穀の輸入を制限することを得
一、米穀檢査、國營を圖り銘柄を整理し單純化を圖る
一、生産統制、米穀增産の統制を圖る
一、自治的統制、全國に米穀販賣組合聯合會及び倉庫を普及し自治的統制を圖らしむ
一、特別會計、現行米穀需給特別會計の整備充實を圖る

社會事業團體に御下賜金

二十數種の團體に

【東京二十日發電通】畏き邊りでは全國社會事業團體中文部省二、司法省四、拓務省四の各團體を始め内務省十數團體合計廿數種の優良社會事業團體に對し二十三日一團體約三千圓宛の事業御補助金を賜はることとなつた、尙當日は年末多忙の折柄一木宮相より各團體に電報をもつて御旨を傳達する筈

陸軍に集つた獻金調べ

【東京二十日發電通】今日までの調査で陸軍に集まつた各種獻金總額は約千四百萬圓でその内譯は恤兵金七百十五萬圓、國防獻品六百五十五萬圓、學藝技術獎勵金三十一萬圓である尙陸軍の記錄に依ると日淸戰役當時は二百九十餘萬圓日露戰爭では五百七十萬圓となつてゐる

學良より羅文幹に聯盟罵倒の電報

「聯盟は醜態を暴露した日本に對する方針を決せよ」と

【新京二十日發電通】北平官界より漏れたる消息に依れば張學良は第三次中央全體會議の開催を提し左の如き國際聯盟罵倒の電報を宋子文、羅文幹に發したと

國際聯盟は醜態を暴露しつつあり强者に支配さるる聯盟の正體を晒してゐる、北支の關係は更に緊張しつつあり近く大變化を來すべし、日本に對し硬軟何れかの方針を決定されたし

福建はさながら不良軍隊の捨場

反十九路軍熱は旺盛だが砲火までには相當の時期

福建省には蟠居する有力な軍閥の地盤といふものは從來なかつた、强いて云へば盧興邦や張貞と云ふやうな綠林出身のものがないではないが、これは單に一地方を占據するといふだけで全省に號令するといつたやうな有力なものでない、十九路軍が入閩する前には五十六師劉和鼎が入閩して省城の守護をなし本據を延平に置いて更に角福建唯一の正式軍隊として誇つてゐたものである、そこへ十九路軍が割り込んで來た、この軍隊も上海事件でやり場に困つて漸くここに落ちつけたものである、ところが

十九路軍が入閩し

しかも綏靖公署を置いてその麾下に五十六師も新編二師も又海軍陸戰隊も省防軍も統轄する事になつたので從來の駐屯軍は不平滿々でどうもしつくり調子が合はない、特に陳國輝を監禁するなど從來の軍隊に壓迫的態度を以て臨んだので反十九路軍的氣配は期せずして醸され出して來た、盧興邦軍も一時は武裝解除されたなどの諸言も流布された程であるそこへ山東の劉珍年軍も又中央でやり場に困つて福建へおしつけて來た、遂に福建は不良軍隊の捨て場のやうになつてしまつたこの劉軍はどちらかと云へば蔣介石に親しく反十九路軍の立場にある、そこで劉和鼎、盧興邦、劉珍年を中心に省防軍や土匪軍即ち民團などが一團になつてしまつた、そこへただでさへ

不況の

福建が十九路軍や劉珍年軍を迎へてこれを養はねばならぬ事になつたので財政は益窮迫するばかり、その上馘首された不平官吏も從來の誼から反十九路軍的になつたので蔡廷楷にしても蔣光鼐にしても甚だ寢覺めが惡い、特にこれで軍隊を赤匪討伐のため閩北に集中してゐるので氣が氣でない、それで蔣光鼐は蔡を福州に呼びよせると共に赤匪討伐の[illegible]を名に二師を延平に急派し劉和鼎を江西省境へ追ひやつてしまつたこんな關係であるから表面は兎に角として内心は相對峙してゐる有樣である、閩省當局によるとこの頃の形勢が急迫してゐるやうに報じてゐるが支那式かけ引きがあるので砲火を交へる迄には尙相當の時日を要するであらうが閩江の上流、延平を中心にどんな活劇が演じられるか中央の政局と共に輕視すべからざるものがあらう（一記者）

勅選補充候補

【東京二十一日發電通】政府は現在貴族院勅選議員缺員四名中二名を取敢ず補充任命する方針で現内閣書記官長柴田善三郎、大藏次官黑田英雄の兩氏を求め二十三日の閣議で決定し他の二名は山之内一次氏の樞府顧問官正式任命後にて小山法相、堀切法制局長官等が補充任命される模樣である

團匪賠償金を露國に支拂ふ

露支通商條約の締結のために

【南京二十一日發電通】官邊に聞するに國民政府は露支通商の緊急を要するものある爲め露支不可侵條約に先立ち露支通商條約を締結すべく交渉中であると國民政府はその條件として千九百二十四年前の團匪賠償金をロシアに支拂ふに決した

獨大統領緊急令を發布

前内閣時代發布の緊急令の改廢が主眼

【ベルリン二十日發電通】ドイツ大統領ヒンデンブルグ元帥は二十日附國家緊急令を發布したが、右は嘗にブリューニング内閣の手に依つて發布せられた緊急令の大部分を撤回することを主眼とせるもので

一、ブリューニング内閣發令中の政治的暴動鎭壓に關する規定的命令を撤回し
二、ブリューニング内閣發令に依つて停止中なりしドイツ憲法に依る集會結社の自由、出版の自由等のドイツ臣民の權利の回復を規定し
三、ドイツ大統領の身邊の安全並びに威嚴に關する規定を包含してゐる

【ベルリン二十日發聯合】ドイツ政府は二十日新大統領令を以てパーペン内閣公布の各種大統領令の改廢を行つたが内前[illegible]ドイツ[illegible]禁止も廢止された

桃園の時局講演會盛況

【桃園電話】桃園郡桃園街交誼會主催の時局政談演說會は十八日午後六時四十分より桃園公會堂に於て擧行、木山會長の開會の辭に次ぎ辯士の紹介あり、水川佐英治氏登壇「東洋の平和と國民の覺悟」次に佐野研三氏は零下三十度の滿洲に於て御國のため活躍する我同胞のことを考へれば臺北のダンスホール、マージャン遊びなどをやめてその費用を節約して飛行機を買へと强調し國民の緊張を促し次いで上田本社記者の「最近に於ける滿洲事情」の演題の下に本社聯盟使として見物したままの政治、經濟、産業、馬賊について詳細に亘り述べる所あり最後に安田勝次郎氏は「時局と國民」の題下に熱弁を揮ひ聽衆をして緊張せしめ頗る時機に適する有意義な催しで九時本山氏の閉會の辭で盛況裡に散會した

運輸部基隆出張所長更迭

【基隆電話】運輸部基隆出張所長松山輜重兵大尉は今回近衞輜重兵大隊中隊長に轉補二十三日出港の扶桑丸で出發の筈だが其の後任として運輸部本部より[illegible]歩兵大尉が來任の筈である

紐育市況

△株式チリ安【ニューヨーク二十日發電通】株式市場はスチール暴落に伴れ諸株チリ安となる、スチール引値は一弗八分五安の二七弗四分一、アナコンダ八分一安の六弗三分一

△米綿小安　米棉引値は先物平均十錢安で大陸筋は長期を買ひ十二月物一月物への乘替相當あつた

土曜會忘年會

臺北土曜會では二十四日の午餐會を晩餐會とし同日午後六時から忘年會を兼ね鐵道ホテルで例會を開く由

その日その日

○日本の言論界が擧て我代表支持の態度を明かにしたのは力强い、松岡代表も餘程嬉しかつたらしい
○「聯盟ご難の卷」も暗澹な空氣のうちに本年の分は終つた、十九國委員會のコムミユニケ迄發表
○日本の强硬な反對態度に聯盟筋も意外だらうな、自國の存立を危ふうしてまで贊成できませんよ
○聯盟の言分「我國の途は抗日にあり」の我國はチト變だらう
○柄にもない强がりばかり言つて引つ込みがつかなくなるとソレこそ大變な事になりまつせ
○空閑少佐の後を追うて自殺して果てた西尾少尉、君國の花を惜しく散らしたが遺蹟は高い
○[illegible]の支那沿岸[illegible]說は天外の大福音、眞實であつて欲しい
○新高を含めた大國立公園說は面白い、柄の小さい臺灣だ、セメテ公園位でつかく作るさ
○[illegible]そのものが惡いのでなく負擔の不公平といふのが問題の核心ではないのかナ

無絃琴

燕は俗に「若い燕」など言ひ如何にも貞操の薄い動物の樣に考へられてゐるが、なか〳〵そんなものでなく人間が恥かしくなる位に貞操觀念が勝つてゐるさうだ▲あるもの好きが埼玉縣で昭和三年に二十八組の夫婦の燕に印をつけて置いたところ翌年元の巢へ戾つて來たのは二十四組だつた、その中十九組は元の夫婦の儘で還つてゐたのは唯五組、その中四組は所謂若い燕をつれて居り唯一組が老いた燕と夫婦になつて戾つた▲これ等は不義をしたものとは考へられず妻や夫に死別した結果と見られてゐるさうだ、何となれば燕は一端夫婦になると異變のない限り夫婦は每年必ず揃つて戾るからださうだ▲鳥の中で一番貞操觀念の缺けてゐるのは鴛鴦だといふ。それをどう間違へてか新婚の夫婦の仲のよいのを鴛鴦の契りなどいふが甚だしい間違ひである。當今の人間樣は無暗に若い燕などになつては困るが燕の夫婦だけは宜しく見習ふべきであるーーさうだ。

火の鳥

（266）

加能作次郎作
石塚連畫
（石塚[illegible]監修）

涯もなく（二）

眞夫が歸つて來ると、綾子は既に出發の用意をととのへて、縁側の籐椅子に凭れながら、自動車の來るのを待つてゐた。

「どう、どんなでした？」

「いやはや、どんなもこんなも、あんまり酷いんで……」

眞夫は氣附藥か何かのやうに、急いで自分で茶を淹れて飮みながら、簡潔にその有り樣を話した。

「まあ、さう？そりや思ひの外だつたわね。」と綾子も一寸眼を圓くして。

「私いろ〳〵とロマンチックな空想をめぐらしてゐたのよ。そしてよつぽど、番頭さんに連れてつて貰はうかと思つたんだけれど。」

「見ないでよかつたですよ。あんなもの見ちや、とても……」

「心中なんかする氣がなくなつてしまふ？」

眞夫が一寸言ひつまつてゐると綾子は素早く引取つて、揶揄ふやうに輕く戲れるやうに言つた。

「……？」

眞夫は思はずハッとして綾子を見た。この揶揄に富んだ綾子の言葉が、あまりに彼の意表に出でたばかりでなく、それが飛んだ讖語として聞えなかつたのだ。まるで彼が綾子と心中する積りで、こんな所へ來てゐたかのやうな一種の幻想が、ふと閃くやうに腦を掠めたのであつた。

彼はひどくまごついて、咄嗟に綾子の言葉に應ずることも出來なかつた。

「どうしたの？」

綾子はさうした眞夫の顔色を窺ひながら、にこやかな微笑を以て訊ねた。

「いや、どうもしないけれど…」

「何だか顔色が違つてよ。私が無理心中にでも誘ふかと思つたの？」

「あはははは。」

眞夫は一笑に附したが、その聲は妙に不自然な、うはづつたものだつた。

「でも、そんなことが決してないとも限らないことよ。ひよつとしたら、私は最初からその積りで、もう一日もう一日と引張りながらこんな所まであんたを連れて來たのかも知れなくてよ。」

綾子は笑ひもせずに、眞面目らしくそんなことを言つた。眞夫は勿論眞面目に聞きもしなかつたが、併し心の何處かに、「或は……」といふやうな疑惧の念が、微かにうごめいてゐるのを自ら感ぜずに居られなかつた。

「若さうだつたら、あなたどうして？私が是非つてお願ひしたら？」

「戲談言ふもんぢやありませんよ。」

「戲談でなく、本當よ。そんなこと眞面目に言ふ者があるかつておもひでせうけれど、私本當に、心中でもしたい氣持ちなのよ。若しあなたが一緒に死んでやらうと言つて下さつたら、今すぐでも、喜んで死ぬわ。そしてその女のやうにちやんとあなたの腕に抱かれたまま、すうッと眠るやうに死ぬことが出來たら、どんなに幸福でせう、たとひ後日になつて、顔が腐つてもげ落ちたり、眼玉が鳥にほじくり拔かれたり、その外どんな淺間しい、むごたらしい姿で發見されやうと、そんなことは、一寸も問題ぢやないんだもの。尤も、あなたこそいい面の皮で、たとひ私がどんなに强請んだところで、勿論應じて呉れもしないでせうけれど……ねえ、さうでせう？おほほほ。」

綾子は探るやうな眼つきで眞夫を見ながら、微笑したが、思ひなしかその笑みには、一種異樣な陰影があつた。

そこへ自動車が來た。

妻迄苦しめた
頑固な淋病を
自宅で治した實話
栃木縣 [illegible]木吾一郎

淋病は不治であると云ふのは昔で、現に私は二十年來の執拗な慢性淋を根治した體驗の持主であります。私は恥を忍んで此の告白をするものは、自分の苦き體驗に鑑み治るべき淋病に惱んで居られる人々を、一刻も早く治療法の邪道から御救ひしたいと云ふ念願只一つなのであります。私の前身はブリキ職人で、青春の元氣にまかせ、不攝生な生活の連續で、到々淋病に感染して仕舞ひました。そのため賣藥を買つて飮んで見ましたが

胃腸を損ね

る斗りで效果なく、友達に相談すると、昔の職人なぞは無茶な荒療治者揃ひで「自然と病氣の無い者は無いもんか、淋病なんぞ誰だつて罹る、酒を飮んだり脂肪濃い物を食べて汗を出して仕舞へば自然に癒る」と云ふので、私も若い生意氣盛りでしたから、その通り實行した爲めヨク〳〵惡くして仕舞ひ尿道口は赤く腫れ上り排尿の後に血尿が出、夜も眠れぬ痛さに我慢が出來ず、醫者に通つて洗滌や尿道を擴げるブーヂー挿入の激痛に惱々泣かされましたが一ケ月斗りで痛みが薄らいだのを良い事にして、金に限りの有る職人の身ですから醫療を打ち切りましたが、痛みの止まつたのは

慢性に移行

したので、それからと云ふものは來る年も來る年も、陽季の更り目とか激しい仕事で身體を使つた後とか深酒の翌日などはきまつて尿が茶褐色に混濁し、疼痛があり尿道に沿つて押して見ると少量の膿が出て絶えませんでした。安靜にして賣藥なぞを飮んで居ると大抵一週間位で鎭つて仕舞ふので別に氣にも留めず放置しましたが、これが後年家庭に恐ろしい暗影を投げ掛けるとは神ならぬ身の知る由も有りませんでした。

淋病にコリた

私は道樂を止め、稼いだ甲斐が有つて小金も出來料理屋の株を買ひ之が順調に行つて次第に繁昌して來るに從ひ人手もいるので世話さるる人が有つて今の女房を貰つて氣を揃へて働き出しました。處が半年斗りすると丈夫な女房が顔色が惡くなり腰の下の方が痛むと苦しみヒステリーになつたので吃驚したが元の起りは私の罪にあるのですから嫌がつて尻込するのを勸めて無理に醫者の診察を受けさせますと淋毒から來た子宮内膜炎でこの儘にして置くと不姙症や色々の婦人病の原因となり

一生の不幸

を見ると云ふ話で、私は吃驚し女房に病床を並べられ恥辱の思ひで醫師に相談しますと私の慢性淋も根治しないと[illegible]から恐ろしい尿道狹窄や又は淋毒性睾丸炎や膀胱炎や副睾丸炎となり足腰も立たぬ樣になることが有るとの事で、夫婦一緒に治さなければ駄目だと云ふので揃つて治療を受けることになり、幸に女房は初期だつたので經過良く二ケ月斗りで全快しましたが、私は商賣柄ヤレ組合の會合だとか、來客の酒の相手だとか宴會へ呼ばれたりして兎角飮酒の機會が多く、治療もハカ〳〵しく行かず、再び女房に感染さす樣な事が有つたら大變ですから、夙々迷つて居りました時、懇意な客筋の一人が「淋病なら今度出來た

ケンゴールが良

いから使つて見ろ」と教へて被下さいましたが、其藥は新聞に時々一頁の大廣告を出すので知つて居りましたが、「山カン藥」だら位に思つて聞き流して居りましたが、その客は來店の度毎に「何故試さないのだ、ケンゴールは東京吉原病院長が永年の研究の結果改良された淋病藥で、俺も實は使つて治つたんだから」と恥を構はずの熱心な勸なので、ツイ使つて見る氣になり近所の藥店から使用十五日分を買ひ求め醫療を止めケンゴールを試して見る事にしましたが、新藥だけあつて外の藥と違ひ尿道へ塗布する位少量注入すれば良いので

使用が簡單

で素人にも出來安全で刺戟も少なく仕事の邪魔にもならず、こんな平易なもので效果が有るものか知らと半信半疑で二三日注入をしますと、今まで少なかつた膿が急に增えて來たので吃驚し、藥屋へ電話をかけると「それは藥の効いた證據だから心配せず根氣よく續けなさい」との話なので、更に一週間程注入しますと膿がピッタリ止まつて仕舞ひました。大喜びで尿をガラスのコップに採つて透かして見ると未だ淋糸があるので又十五日分取り寄せて使ひましたが毎朝このコップを見るのが樂しみで、一日より一日と減つて行くのが目に見えて解り、膿や淋糸が無くなつたのは二十日目の朝でした。私は苦しみに苦しんだ慢性淋を

根本から征服

したかと思ふと嬉れし〳〵として二十年振りで大安心致しました。其後試驗的に深酒をして見たり、一晩前で夜更しをして冷え込む事が有つても絶對に再發致しません。

私は馬鹿正直で人の云ふ事は何でも一應は信用する性格ですから、良いと云はるる、最初のうちは手當次第、尿が黑色になる藥だとか、[illegible]の黑焼だとか、白檀油などを飮みましたが效目なく實際にはコリ〳〵して居た矢先ですから、ケンゴールも初めは疑つて使用を迷ひましたが實驗して絶大な効力に驚嘆しました。世間には淋病藥の選擇にお迷ひの方も多いと思ひます。御使ひになれば速く効果の解ることですから敢て私がケンゴールの提灯を持つ必要も有りませんが事實を事實として申上げることの體驗談が皆樣の御參考になりますれば此の上もない幸だと存じます。

前東京吉原病院長醫學博士山崎和雄先生御研究指導のブラオン劑、ケンゴールは急性用、慢性用、婦人用の三種あり。藥價は二〇瓦三十日量[illegible]、[illegible]瓦五十日量[illegible]。品切れの節は東京芝三田通新町十三、日東藥化學研究所へ直接申込まれよ。振替東京二一九四三番。使用法其他詳しき說明書ハガキ申込次第無代進呈す。

『漂著の日本軍艦を三萬圓で買受けたい』

一支那人福州領事館に申込む

又も早蕨に奇怪な噂

【基隆電話】福州よりの早蕨らしき漂流船ありとの入電につき更に詳細に調査した所によると先づ最初十九日夕刻福清沖二十哩の海上を二本マストの日本軍艦らしきものが漂流しつつありとの情報を支那人が福州の邦人藥商大橋林藏氏に傳へたので同氏が早速調査に着手、高橋氏の手を經て臺北に打電して來たものであるが更に二十一日午前十時には福清北方海岸に二本煙突の日本軍艦らしきものが漂流著したとて一支那人が右船體を三萬圓で買受けたいと我領事館に申込んで來たので目下取調べ中との入電があつたが當局では不審を抱きつつもその後の情報を待つてゐる

沈沒か漂流か謎は深まり行く

早蕨沈沒の位置判明せず

沈沒なら　ほゞこの位置　である

が益々謎は深くなつて行くばかり

【基隆電話】福州居留民會高橋氏より臺北小關江氏への入電は各方面に異狀なセンセーションを捲き起してゐるが

推定位置

で今迄に各艦船がひつかけたのを見ると二十六驅逐隊は北緯廿七度四、東經百二十二度一四で十九日には北緯二十七度七四、東經百二十二度一七であり二十日朝の田村丸のは北緯二十七度四七、東經百二十二度一／二・二六の他にも高雄丸のひつかけた場所もあつて夫々距離に相當の開きがあり、この內どれが本物か分らず沈沒か漂流か

捜索に出た三隻基隆に入港

二十一日朝七時半

一切情報を語らず

【基隆電話】必死になつて殉職早蕨の捜索作業に努めてゐた第十三驅逐隊の三隻は二十一日午前七時半基隆に入港、能登呂艦側に橫付け燃料の補給をうけ第二岸壁に繋留した、同艦を訪ふたが山本司令は忙しいからとて顏を見せず應待に出た吳竹先任將校も默々として何事も語らなかつた

北上東犬島に到著

廿六驅逐隊と協力捜査の筈

【馬公二十一日發電】田村丸は遭難地に於て漂流物を拘束したと云ひ一方福州に於て福清沖に早蕨は漂流しつつありと傳へられ馬公要港部では昨夜軍艦北上と二十六驅逐隊に對し現場捜索の緊急命令を發せたが北上は二十一日午前三時東犬島に到着現場し二十六驅逐隊の到着を待つて協力捜索する事になつてゐる同地風速は十七米で相當荒天である、早蕨遭難地は本日も亦風浪高く潛水作業不能右につき[illegible]副官は語る福清沖を漂流中との事も或はないとも限らない併しその範圍が廣くその捜索も亦困難であらうが何れも北上から何とか情報が來るであらう何れにしても一日も早く發見して貰ふ事を神かけて祈つてゐるところだ

近く海軍省で調査委員會

南雲大佐から報告

【東京二十一日發電通】遭難驅逐艦早蕨の調査委員南雲大佐、細谷中佐一行は二十一日午前十時東京驛に到着、直ちに委員長後藤少將に調査の顚末を報告した次で後藤委員長はこれを伏見軍令部長宮殿下並に岡田海相に報告したが近く海軍省で調査委員會を開く筈

秋山部隊、獨立守備隊と連絡

【奉天二十日發電通】二十日午前六時安東に下車して獨立守備隊の麾下に入り三角地帶討伐に參加した須藤○隊の一部秋山部隊は入城後の初陣として聯隊を驅り自動車を連ね大孤山に向け海岸線を疾驅二十日正午夏猫川附近に到着獨立守備隊と完全に連絡し各部隊と協力し敵を全く包圍した

ル機トムブローに向ふ

【アテネ二十日發電通】パリ西貢間長距離飛行の途アグリニヨンに不時着したフランス飛行家ルフエヴルは午前五時當地着更にトムブローへ向つた

行商しながら全島を旅行

日大の二學生

日本大學法律科學生森本光明、中村悠の兩君は今回冬期休暇を利して多年憧れの臺灣視察をくはだて二十日渡臺し約二十五日間の日程で全島を旅行する由であるが、何分學生の身とて旅費に充分ならず東日社及び學校當局の同意を得て旅費の一部に當るべく視察のかたはらちり紙を行商する由で兩君は二十一日早朝本社を來訪した

祖國を忘れた……

反逆の女・植木ますえ

毎日的ラヂオ放送の犯人

最近ラヂオを通じて毎日的日本語の放送に全日本民族を憤慨させた南京放送局の毎日宣傳の聲の主は南京中央黨部要人方治（方希孔）の愛妻植木ますえである事が最近明かになつたが、彼の女は南京要路の人に嫁す日本婦人百餘名のうちから選ばれたものである、何が彼の女をさうさせたか、夫に對する盲愛か、誘惑か、脅迫か、遂に祖國を忘れ、祖國に反逆する彼女こそ哀れな女である（寫眞は新婚當時の植木ますえと方希孔）

故伊藤中尉の遺骨

廿二日夜臺北通過

慰靈祭は屏東で行ふ

北滿の野に名譽の戰死を遂げた空の勇士故伊藤中尉の遺骨は二十二日入港の吉野丸でなつかしの臺灣へ歸るが午後十時三十分臺北驛通過の夜行に安置されて屏東へ向かふ事となつた、同夜臺北驛には在北各將校の盛んな見送りがあつて靈を慰めるが臺灣軍からは西田副官が當日基隆に出迎へ屏東に於て營まれる慰靈祭には目下花蓮港廳下を視察中の上野高級副官が一旦臺北の上同地へ向ひ出席することとなつた

菜刀で三人を斬る

原因は家庭の不和

【新竹電話】新竹州桃園郡大園庄許厝港二二七番地阿共の夫吳阿清（三〇）は兼ねて家族の者と不和を生じ相反目してゐたが十九日朝家出し同夜十一時五十分頃歸宅するや菜刀をもつて就寢中の妻阿[illegible]の左肩胛部に斬りつけ次に妻の妹許氏阿好（二六）許氏阿綏（二二）の顏面に何れも瀕死の重傷を負はせ更にこの物音に驚いて起きて來た妻の母許氏食某の左頰下より口にかけた重傷外五ケ所の傷害を與へたが被疑者は許氏食某と同人の實夫張[illegible]の兩名に取押へられ許厝港派出所に同行された、大園分室より早川警部補急行現場檢證の上關係者一同取調べ中

資本金壹千萬圓　社長　川崎肇

帝國火災

新舞踊家 箕作花子女史

二十日來臺

箕作佳吉博士の息良次氏の未亡人で舞踊界に名の聞えてゐる箕作花子さんが二十日の船で來臺した東京では藤蔭會の主催で渡米記念の公演を催した事などもあり唐人お吉、花嫁人形、若い芸、祇園小唄等澤山の振付けなどもしてゐる、未だ若く見え踊りで鍛へた體のこなしにもアヤがある、娘道成寺などでは喝采を嗜らしたものであるといふ、高雄市新濱町陣矢信子さんが知人だとて同夜一先づ高雄へ向つたが近く出北してその新舞踊を觀せる筈であると

庭球選手權大會申込締切日

既報嘉義市に於て一月二、三の兩日開催される全島軟式庭球選手權大會の申込締切は二十二日限りなるに付參加希望者はおくれざる樣臺北市高等法院內鈴木庭球部長宛申込まれたしと

基隆の火防宣傳行事

【基隆電話】來る二十三日より北州下一齊に行はれる火防宣傳の基隆市におけるプランは此程出來上つたがそれによれば警察署員、消防組、壯丁團總出動の大掛のものである午前八時半、警察及各工場のモーターサイレン及び寺院の梵鐘が一齊に鳴りを立てる午前七時半に召集された全員が行動を開始する、先づ戶別宣傳、ビラ撒布午後一時からは消防自動車による行列宣傳、各學校では午前八時から火防に關する授業を行ひ終れば直ぐ各校別に消防演習に移り、火事といふ電話と共に消防自動車が急行して放水、兒童の避難演習を行ふ、尚この外に特別宣傳といふのもあり又各街辻に火防宣傳の大行燈をブラ下げ義重町の鈴蘭街燈には火の用心と眞ツ赤に記して永久に人の注意をひく筈である

新潟縣糸魚川 五百戶燒く

【糸魚川二十日發電通】新潟縣糸魚川稅務署附近より二十一日午前二時頃出火し午前九時半鎭火燒失五百戶に達し糸魚川驛は午前六時四十分燒失した死傷相當ある見込

天氣概況（二十一日）

本島は北部が雨、他は曇りとなつて居ります

▲天氣豫報（二十二日）

一區（北部）北東の疾風曇後晴

二區（東部）北東の和風曇後晴

三區（西部）（南部）北の和風晴

臺北地方　東の疾風曇後晴

（二十二日）　淡水　滿　前 [illegible] 後 [illegible]　干　前 [illegible] 後 [illegible]

基隆　滿　前 [illegible] 後 [illegible]　干　前 [illegible] 後 [illegible]

日本一の捕手と折紙のついた倉君

（四）

臺灣の新春を明朗にする法政チームの陣容

起用する捕手陣は倉信雄、藤田宗一の兩君である

×――×

正捕手の倉君は熱心と努力の人だ、泣ける程な苦心と練習を積んで遂に神港商業の正捕手となり、當時の西垣投手のよき女房役として快な法政チームに驅せ參じたのももう三年前であるが、小學時代の苦心努鍊は報いられ常時人なき法政チームの捕手界にあつて倉君は入學早々第一捕手の地位を獲得たのである、そして今では押しも押されもせぬ同軍の花形として、謂ゆる試合に活躍を續けて來た、若林、渡の兩君なくして果して若林、渡の兩投手がかくも華々しきピッチングを示し得たか否かは疑問である

×　×

倉君は誇るべき强肩の持主であるとは云ひ難いかもしれぬ、しかし投手の好投の背後には、そして先人鈴木茂投手の神技の蔭には常に力が倉君の頭腦的リードが存在してゐたことを忘れてはならない

×――×

今秋のリーグ戰後飛田穗洲氏は次の如く倉君に絕大の讚辭を與へてゐた

今シーズン法政の割勝が同軍の優秀なる投手陣の活躍に依るものであるならば、その投手陣をしてかく活躍せしめたものは實に捕手倉君の頭腦であつた、倉君の敏捷な投球モーションとよく利いたスナップとは決して二壘盜壘に正鵠を失することなく、遂に早稻田の二壘稻田の好守と相俟つて法政の二壘は不拔の確固である

×――×

「倉君の捕手は日本一だ」さすがの飛田穗洲氏が今秋になつてたうとう倉君に日本一の折紙をつけてしまつた

×――×

日本一の倉君も打擊に於ては强打者の部には入らない、しかし相手投手が懸命に投げ込むカーブをコツンとあてて遊擊前後にテキサスヒットするところなんかうまいものだ「テキサスの名人」と稱せられたこともある

×――×

「私は幸運です」と倉君は云つてゐる、しかしそれは謙遜だ、謙遜だ、倉君の淚ぐましい努力以外の何物だつて倉君の今日を築きあげることは出來なかつた、ボソクラト[illegible]實され、頭が欲しいと云はれた倉君は現在では優秀なる頭腦的プレヤーとして動かせない好選手である

×――×

倉君の今日の背後には理解ある慈愛に溢れる尊父あることを忘れることが出來ない、一昨年の秋法政が優勝した時の逸話だつたと思ふ、長い旅路に旅立つた倉君の父は倉君の活躍と法政の優勝とを電報で知つて泣いてよろこんだと云ふことである、富まざる家に生れた倉君が法政大學野球部に今日あるためにはいとしき愛兒のため小遣を節へいろいろと勤め勵まれた父君の存在に負ふ所大なるものである、その愛の結晶か、努力か、そして倉君の熱心が今日の倉君をあらしめ、今日の法政チームの力をあらしめたものである、現在廿三才、五尺四寸、十五貫、本科一年に籍學中、出身校は神港商業で散步が好きだと云ふことである

×――×

倉選手と共に捕手として渡臺する藤田宗一君は兵庫甲陽中學出身の新人である

『藤田はきつといいキャッチャーになる』

と明大先輩天知氏が斷言してゐる捕手としては珍らしく足の速いプレヤーで守備もすぐれてゐる、打者としても既に一流だ、リーグ戰の好打振りはファンの注意を惹いてゐた、十九歲、今秋に富み五尺六寸、十八貫、堂々たる體軀の持主、破れ一年に在學中で甲陽中學時代からの捕手、趣味はシネマだと云ふ（やまいし）寫眞は（上）倉（下）藤田の兩捕手

動かぬ据賣をトラック隊奇襲

基隆福德市場前で

【基隆電話】基隆市福德市場前の路上據賣は警察に嚴重取締られても依然として改まらなかつたが最近朝日町の改良工事が始まつた爲め同市場前の交通量が俄に增加し一般の迷惑が益々ひどくなつて來たので基隆署では斷然之を取締るべく二十一日午前八時寺田、內山兩巡查部長[illegible]名を率ゐて一勢に据賣の取締を開始して逃走する後から野菜その他の荷物を路から押收トラック五臺につめ込んで同十時引揚げたが荷を受取りに來るものからドンドン處罰して行く筈であるが今後も引續きトラック隊の奇襲を行ふとの事である

商況（廿一日）

米況

正米市況（前場）

▲二期蓬萊米　蓬萊丸糯躍進

	當限	中限	先限二月五日限新甫
	八、一六〇	八、三七〇	八、五[illegible]
	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲二期丸糯米

	富限	中限	先限二月五日限新甫
寄	不申	九、一五	不申
高		九、一四	
安		九、一三	

▲二期蓬萊は昨前場弱調氣先期米上向を眺めて新甫當限八四一六錢と六十丁高に寄り二〇錢と高止九中限八四三七錢同事に寄り四〇錢あつて三九錢と止め三十八事先限二月五日限新甫は八四五〇錢と寄り四九錢あつて五〇錢同事に止十事

▲二期丸糯は昨前場弱勢の氣先今朝期米引緊き強調を眺めて一段上向き當限不申の中限九四一五錢と十二丁高に寄り一八錢を入れて跡利喰に小弛み小動あつて一四錢と止め七十九事

大阪期米

▲前場

節	中	先
一	二五八八	二六〇七
二	二五五八	二六〇九
三	二五五九	二六〇四
四	二五六〇	二六一八
五	二五六五	二六一九
六	二五六五	二六一〇
七	二五七〇	二六〇四
八	二五七八	二六三〇
九	二五六九	二六二九
十	二五六八	二六二四

東京期米

▲前場

節	中	先
寄	二九四八	二五九四
高	二九六〇	二六一一
安	二九六二	二六一一
引	二九四八	二五九九

神戸期米

▲前場

節	中	先
寄	二五四〇	二六〇[illegible]
高	二五六一	二六二[illegible]
安	[illegible]	[illegible]

株式

東京短期

▲前場

	寄	引
東新	二一四、〇〇	二一六、〇〇
鐘紡	二六二、九〇	二六八、四〇
鐘新	一三六、五〇	一三八、六〇
日棉新	一五七、〇〇	一五六、九〇
明糖	一一二、五〇	一一一、九〇
淺野新	三八、〇〇	三八、二〇
日產	八二、五〇	八四、九〇
日石	五七、九〇	五八、六〇

東京長期

▲前場

	寄		寄
郵船	五七、八	同新	二〇、八
商船	四六、七	同新	一五、三
富士紡	七一、二	同新	三九、〇
東洋紡	一八五、〇	同新	一〇三、六
日清紡	一二五、〇	同新	六六、七
鐘紡	二六七、九	鐘新	一四一、九
日糖	七二、八	同新	二四、二
麥酒	一一八、〇	同新	四八、九

本日も大商勢の爲め之にて一日休憩し殘餘は午後立會續行し長期後場は臨休

大阪短期

▲前場

	寄	引
鐘紡	二六四、六〇	二六七、九〇
鐘新	一三五、六〇	一三八、一〇
東新	[illegible]	[illegible]
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
淺新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
レヨン	[illegible]	[illegible]
日毛	[illegible]	[illegible]
東洋紡	[illegible]	[illegible]

大阪長期

▲前場

	寄	引
大株	一一八、一〇	一一七、六〇
大新	一一九、七〇	一一九、三〇
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
明糖	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
レヨン	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]

恩給立替　利一分より　四年半迄　貸付金割引不動　直接來談　臺北市榮町天地　合資會社　三成社　電話三六二六

サツマ名産　かるかん　內地送り御引受け　臺北京町二ノ二三　電話一九二二四番　春日堂

松月の丼物は頗る好評！
天丼　三十五錢
親子丼　三十五錢
てつか丼　三十錢
値段より味！松月の丼を一度は御試食を……
松月　電話四三七二 一九五一番

御料理　竹の家　電話三一六八四番

割烹　梅屋敷　電話九七六番

割烹　新喜樂　電話一三四 二三七番

割烹　梅本　電話五五三番

割烹　日本亭　電話二一一七〇六番

割烹　梅の家　電話八七八番

割烹すき燒　小永樂　西門町二丁目　電話二一八四 一七九番

割烹　丸新　臺北西門町　電二〇五　北投公共俱樂部隣り　丸新支店

蒲燒　天ぷら　寄せ料理　中惣　表町　電八六八

滋強飲料　カルピス

◉內地みやげに最適の砂糖入り　たいわん餅　東陽製菓部　臺北京町三丁目　電六四二番　支店基隆驛前　電話三六〇番

政府補助國産　パインミシン　手續二五四より　足踏四二〇より　臺北市本町一丁目通り　電話二七八三番　臺灣總代理店　（各地特約店募集）

急告　◉愈々引揚迫る　整理上最後の英斷　絕對に二度とない大特價　全部半額（袖無袋進呈）　京町二丁目角　白木屋吳服店出張所

梅毒血液檢査毎日施行　診察朝ヨリ夜十時マデ　淋病梅毒皮膚科　婦人性病科　田和皮膚科　臺北市西門町三壽小學前　電話二九五一番

耳鼻咽喉科　宮島醫院　入院室完備　臺北市京町二丁目　電話二六六四番

齒科口腔科　杉山醫院　臺北市京町二ノ二四　電一七七二番

世界之家庭藥　メンソレータム

メンソレータムで鍛へたお肌が冬のあなたを一層元氣にします

あれ肌を目立つ荒ばしい手肌にかへすのが、メンソレータムの役目であり特長です

特効　ひび　あかぎれ　外傷　やけど　凍傷　神經痛　頭痛　肩凝　お化粧下と剃り後に

價　二十五錢　四十五錢　九十錢　一圓八十錢

二十錢日記　贈答家庭日記　絕好の贈答品　全國の書店にあり　・本舖は郵券にて可

本舖　近江セールズ株式會社　近江八幡町

續殘月譜

（74）

志乃田廸司作　清水三重三畫

銅鑼騒動（四）

「あ、大丈の旦那が見えた」と誰かが云つた。

久三郎は膝を正した。そして、座蒲團を裏返して、踊へ。

「旦那、どうぞ」

「何ちやい、組頭、急用と云ふのは？」

浅黒い、どつしりとした男だつた。

「へい、ちと折入つて、お力が借りたいんで――」

「ああ、ええよ」

何でも、ああ、ええよ、と云ふのが大丈の癖であつた。

小熊組の永らくの勝因は、むしろ、此の大丈にあつたと云つていい。

と云ふのは、一體か小熊は、宮茂覺より、富んで居た上に、此の大丈が消防組員の生活の困難や、慶弔、すべて金の必要な時には氣持ちよく出して奥たのだ、そして

「大丈が金を出すと思ふなよ、小さい、一晩、旦那の家で鉛上げるとしますと、どうでせう、一番大きいのが、どんなものですかい？」

「大きいのか？」

「へえ」

「そんなもの造つて、どうするのだ？」

「打つ叩きますんで」

「さうちや」

と車力松が云つた。

「大丈の旦那、奈良の大佛のやうな、でつかい奴を一つ、やつておくんなさい」

「ははは、大分註文が傑いが――」

と大丈、柔和な顔をして。

「組頭、先づ、わしの所でな、至急にこしらへて最大の銅鑼が二十貫――」

「二十貫？」

「どうじや、氣に入つたか、それをかつぐに大力男四人は要る」

「結構です――」

久三郎、ぐるり、みんなを見廻して。」

「みんなも、何でも働かせて貰ふやうに、お願ひしろ！」

「へつ！ありがてい！」

第一番に喜んだのが車力松。

「大丈の旦那、あつしは、これからお家へ行きますぜ」

「宮茂組の銅鑼は目方六百匁ちやへへ、二十貫と六百匁、仁王さまと赤ん坊ちやへへ、どうちやい、うふつ、うふつ、嬉しくなつちまふぞつ」

金屋の攤が大聲あげて、にこにこした。

[redacted]組の爲めに、うんとやつて貰ひたいからちや、嬉しかつたら小熊組の爲めに働け」

と口癖に云ふのだつた。

それを組頭は、よく知つて居たのだ、それだからこそ、先づ、宮茂覺計に財政をつくれ！と云ひ出したのである。

「旦那、いつも厄介ばかりかけて濟みません」

「よしねえ、組頭」

と、大丈は禮法に云つてのけて

「組頭さ、それ位で、多分、その、此の間の、宮茂覺組との一件ちやらうか」

「御意！――」

と、久三郎、頭を下げた。

「共底で一つ、お願ひがあるんです」

「何ちや？」

「銅鑼を一つ、造つて頂きたいんで」

「安い御用ちや」

事もなげに、云つてのける大丈へ、久三郎は。

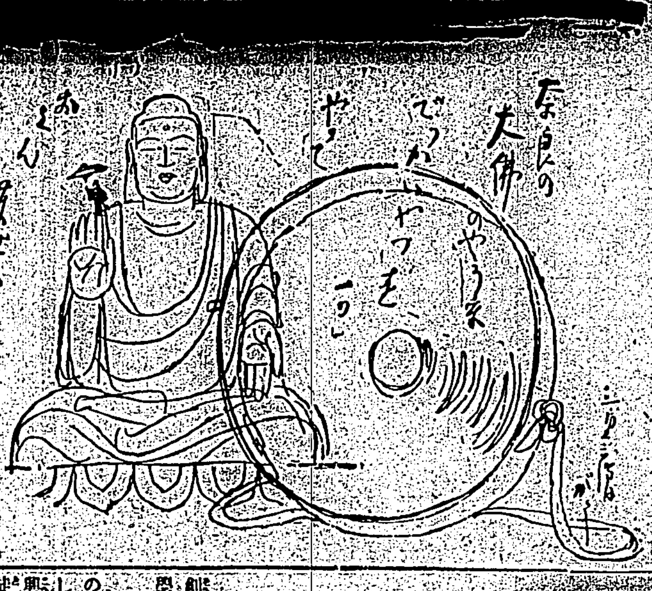
「おつと、旦那、至急にお願ひしたいんで」

「ああ、ええよ」

「そして、それが、並の銅鑼ぢやねえ」

久三郎、大丈の顔を眺め乍ら。

「旦那、驚かずに聞いておくんな


奈良の大佛のやうな
でつかいやつを一つ
やつて
おくんなせい
三重三

臺北第三高女で日滿親善の舞踏

その寫眞を謝介石氏に送付

小野同校長へ禮狀がとどく

創造的敎育を標榜しせせこましい學窓に出來得る限り

藝術的……雰囲氣と時局の精神を取り入れやうとして努力して來た臺北第三高等女學校は新興滿洲國との交驩を行ひ以て女生徒一同に滿洲國に對する認識を確實たらしむべく十一月三日の明治節祝賀運動會の際に「日滿親善」と題する舞踏を演じその狀況の寫眞に左記書狀を添へて滿洲國外交總長

謝介石……氏に送付した左記はその交驩狀の全文である

交驩狀の內容

謹啓貴國に我が聯邦滿洲國新に建國せられ帝國との國交日に月に親善を加へ俱に共に東洋平和に貢獻せらるるは誠に慶祝欣賀に堪へざる次第に有之、殊に閣下の御盡力に因ること多大なる趣を拜承し我等臺灣在住者一同は特に感謝欽仰禁ぜざるもの有之申候、然るに當校は明治三十一年臺灣人女子敎育のために郊外士林に創立せられし國語學校附屬女學校の後身にして現在も生徒六百人中約五百名は臺灣女生に有之候處何れも擧て貴國國運の隆昌を衷心より祈り居る者のみに有之候へば去る十一月三日明治節祝賀運動會の際特に別紙寫付寫眞の如き「日滿親善」と題する舞踏を演じ微意の存する處を表現致候然多數國家の多大なる好誼を博し申候に付茲に一同を代表し謹て其の狀況寫眞を奉呈し益々兩國の親善と貴國の隆昌とを奉祈上度寸楮如斯に御座候、終に臨み特に閣下の御健康を奉祝申上候　敬白

昭和七年十一月十四日

臺北州立臺北第三高等女學校職員生徒總代

學校長　小野正雄

滿洲國外交部總長

謝介石閣下　御侍曹

それに對する謝介石氏よりの禮狀は左の如し

小野先生大鑒頃奉貴校一覽及記念寫眞片并敬謝々貴校成績優良有口皆碑深表敬佩此頌道祺

謝介石頓　十一、二十八

であるが一女學校と一國との交驩は三高女が嚆矢であるだけ各方面からその意義ある催しを賞せられてゐる

公開欄

本欄は讀者の自由評壇なり▲行數は十五字六十行以內▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲取捨は係にあり

提琴競演會と是非の評

臺北　李金土

◇今秋新聞共勵會が催したコンクールは各方面の後援で首尾よく盛會裡に終つた事は新聞の報ずる通りであるが世人の或者が之に對し不當な批評をする者が居るのを遺憾に思ふ。此の劃期的事業の主旨は音樂の發達を圖り以て精神陶冶に資し併せて內臺人の親睦を計るに在る事は言を俟たざる所である。此れが導火線となつて他の姉妹藝術と歩調を共にする事が出來、又內臺人の融和が實現されたら吾々の目的が達せられた譯です。元來音樂技術の良否は勿論一定の標準程度があり之を無視し或は私情で評論なさる事は眞の評論家のなさざる所である

◇一定の標準を確實に認識した上に各人の主觀論を拜聽する事は私共の望む所である。世界一流大家連の演奏に對しても好き嫌ひがある如く今回のコンクール優賞杯獲得者三人中でも大多數の審査員の望む等位順がある譯です。出來る限りの公平を期する爲め專門家以外の音樂に造詣深い方を審査員に仰いだのも其の奈邊に在るかが分るであらう又共勵會は民間側の小團體には違ひないが之を以て權威が無いと論ずるは當を得てゐない

◇永年有意義な社會奉仕を繼續して來た團體に對して精神物質援助の一つさへ與へない者こそ無權威且無自覺な論者である。もつと大きい度胸的見識で積極的に援助を願ひたい。甲委嬢は東京で一等賞貰つたから來蕾も亦千圓出すべきだとは認識不足の甚りだ。藝術を獎勵するに物質の大を要すと考へる事已に間違ひである。又聽衆の耳に比例した曲がひけなければ出てならぬといふ者程愚な者はない

◇出演の勇氣ある者に進歩があり提琴の模範に値する提琴司併業一つさへもひけないから五年十年延ばしても遅くはないとは時代錯誤の甚しき者である、生齒は五十音が讀めぬから敎育の必要はないと同一論法である。演者の實現が無ければ弾い程提琴司併業のひける者の演出が無くなる事を知らねばならぬ

◇今回山本、周兩氏のソナタは帝都競演會の徳選曲であり吳君の舞曲は小品中の難物である事は音樂研究者の等しく認める所である。此の大曲と難曲をあの程度迄に努力した三氏に對して私は大に敬意を表すると共に自重を望む事は勿論共勵會の劃期的且奉仕的事業に對し特に理解と援助とを一般に希ふ次第である

「日活洋畫チエーン」結成

混合プロの積極的轉身

フオツクス・チエーンと提携

日活では今回「日活洋畫チエーン」を新設し徹底的な外國映畫興行進出を行ふことになりフオツクス・チエーンの武藏野・シネマ銀座・日本館を加へ上映映畫はメトロを中心にフオツクス・ユナイトを參加せしめ、日活系都下封切館及び各主要都市を一丸とする洋畫全プロ興行を行ふことになつた、時期は來年一月一日の豫定である

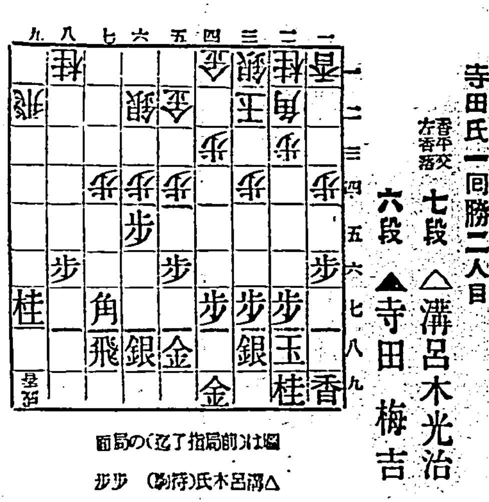
名家敗退將棋（其四）

寺田氏一同勝二人目

香平交　七段　△溝呂木光治

左香落　六段　▲寺田梅吉

▲寺田氏（持駒）歩歩



圖は前局指了迄の局面

△溝呂木氏（持駒）歩歩

△八五桂▲九七飛成△二二角成▲同銀△七四飛▲八六龍△七二飛成▲八五龍△八三歩▲七三桂△八二歩成

▲寺田六段曰く　九七飛成は七七角成同飛九八飛成の手を考へたが敵に七四飛と出られて後の味が惡くなる

▲溝呂木七段曰く　七四飛は桂は犧牲になりさうであるが私の飛が先に使へるので相當働きは付く苦である

▲寺田六段曰く　八六龍は豫定で敵が八四飛と廻れば七三桂と跳ねる考へで桂得を利すればよい苦でせう

▲溝呂木七段曰く　七二飛成は可笑しな形であるが八四飛と寄つては七三桂と跳出され桂の働きが生じます

▲大崎八段講評　溝呂木君の七二飛成は八一桂の働きを鈍くし順序よく先を利かして龍の活用を計り手勁である寺田君の七三桂は敵の攻擊目標とはなるが活用を計つて敵襲に厚白を加へる點を狙つてゐる惡々しく犧牲となる石爲を攻めに使へば非常に大きい者である

新刊紹介

△雄辯（新年特大號）主なる讀物としては日本國民よ魂を持て（荒木貞夫）政黨は何處へ行く（永井柳太郎）米國新大統領の政策と各國への影響（八角不泥）通貨膨脹で損する人得する人（森田久）分裂か統一か支那の將來（米田實）各國代表の肚裏を占ふ松島三十二全國青年雄辯選手權大會、笑ひのオーケストラ、漫畫及傑作文藝欄其他諸名士の雜感隨想より第一附錄として世界巨人大雄辯物語、第二附錄として雄辯界出身の新人列傳、第三附錄として快男子女丈夫コント集等々四百八十頁にわたつて滿載さる、更に別冊で新興日本大雄辯集を添へてある（八十錢▲東京市本郷區大日本雄辯會講談社）

室俚謠

課題、句數無制限、何人も投書し得、宛名は本欄係

△今年こそはの今年も暮れて顏に皺えます苦勞皺　臺北　初駒

△暮れも近づきや大屯山に思案してゐる僞手　臺北　芽作

△降りつ曇りつ亂れつ晴れつ冬の浮世は時雨勝ち　士林　山人

△波が荒くて千鳥が鳴けば立つて招くが磯の松　臺北　一舟

○泣くな千鳥よ波風立てど浮いて暮らすはまだ未熟　臺北　伊地知

追加吟

（西）何事かの敎訓となる

◇戀の私を照らすにしては餘り冷たい冬の月　如狂

子供讀本

ほろほろ鳥の話

ほろほろ鳥が
ほろほろ啼いた
動物園の
夕日にないた
ほろほろ鳥が
そろつて啼いた
沙漠の砂が
こひしいと啼いた
頬の肉赤い
ほろほろ鳥は
敷砂、小砂
かきかき啼いた
ほろほろ鳥が
ほろほろ啼いた
（北原白秋先生作）

皆さんはこの童謠を讀んでホロホロ鳥つてどんなものかご存じですか、ホロホロ鳥（珠鷄ともかく）は洋名をギニア、フオールと云ひ家鷄と同じく雉科に屬する家禽でありますが、わが國では一般的に飼はれてゐないので餘り人が知りません、この鳥はアフリカ鷄ともいひ、もとアフリカの西北部に棲息した野鳥ですがだんだん世界各國にて飼養されるやうになつてきましたが、家禽としては最も新しく馴らされたため今でも多少の野性を帶びてゐます

×

この鳥は鷄よりやや大形で、七面鳥よりはるかに小さく、體重は雄四百五六十匁、雌四百二三十匁位です、他鳥と異なる點は船を伏せたる如く、腹部よりもむしろ背部の方が圓くまがつて、尾は短かく下に向き、全體は鶉形であります、支那人がこれを珠鷄といつたのもこの形から來た名でせう、この鳥の羽色には、全體濃褐色又は白色のもありますが、普通は全面暗青色で白色の斑紋が星の如くまばらにあり、美しい色をしてゐます、ホロホロ鳥の首は極めて細く、頭上に角質の冠をいただき頭面及び頸の上部には羽毛なく、七面鳥の如く露出してゐます、その皮膚は帶白色です、嘴の基部左右に赤色の肉髯がたれて、これが一つの裝飾となつてゐます、嘴は短かく赤色を呈し、脚は家鷄に等しく帶黄赤色であります

×

以上で大體様子がわかつたでせう、この鳥はよく地上を走り餌をあさりますが、犬や猫がくると奇聲を連發するので犬や猫はそれに怖れてしまひます、人に追はれると、大きな翼をひろげて高くとび屋根や木の枝へとび上ることもあります、この鳥の雄は大へん鬪ふことがすきで何れか負けるまでお互ひに戰ひます、鷄や七面鳥でもこれにかなはないといひます、これから日本でもこの鳥がだんだん多く飼はれるやうになることと思ひます

臺日案內

藥種商

月やく　世界に於る安全流下藥（必ず飲んで効く）　臺北川端町　西山研究所

內地土產

大安賣　名木・香川木製品・供子　西本願寺裏入口

寫眞

初春の御用意　カメラ・材料　臺北榮町　西岡商店

新古　カメラ特賣　臺北京町　フタバ寫眞機部

高級　寫眞アルバム　大勉強　臺北京町　ミクニ　電六六一

全島ナンバーワン　岡田寫眞器　修理　臺北本町二ノ五　電三〇五〇

ラヂオ器械

ラヂオ商會製作改造修理　臺北明石町　日の丸電氣　電一六二〇

履物

履物

旅館

北投溫泉　櫻川館　北投電一二四

洋服

高級既製品　セオトマレ雨　ビロードコート類　小倉商店

雜件

洋服ダンス

毛皮なめし

スキート　不用品の處分

時計

玄米精乳と牛乳

流質　洋服と古著

名刺　蝶印

バイオリン尺八　マンドリン及ハーモニカ

職業　大阪市天王寺區宮ケ芝町

キユーピーマヨネーズ
正月の御用意に
不意の御來客に

ハミガキ

無比の強力消化素
タカヂアスターゼ
問答式解説書が出來ました
はがきで御申越次第贈呈
粉末、錠劑各種
東京・室町　三共株式會社
三共の藥品

蓄音器
各社レコード卸
商報四錢開業指導
大阪靑福島　大五商店

廣告は宣傳の近道なり

あら毛赤毛染
君の代
本品の大特長
如何なる白毛赤毛も一度で染まり
すぐ染付き完全
毛質を傷めず…ク毛チレ毛を直す
皮膚を汚さず…値が一番安い
全國藥店にあります

新發賣
動脈硬化症の治療に「ヒポアポ錠」
（內服三一四回にして的確に血壓を下降す）
（六〇錠入約六日分金一圓七十錢）
（呈說明書）
株式會社鳥居商店
東京日本橋區本町三丁目

美と健康と實用と一三重奏の贈り物！
牛乳石鹼
色白くなるホーサン入

活々と
けふも……
若々と
あすも……
びじよう
ぶどう酒
赤玉ポートワイン

漢文臺灣日日新報

中國似欲與俄國連繫 趨共產主義容認政策
聯盟首腦部懸念

二十日壽府電。對日本有同情之聯盟首腦部。最懸念者。乃十九國委員。若取日本修正主張。作結論時。則中國以窮余之策。與蘇俄連繫。恐陷於露骨共產主義容認政策。我代表部。勿論認有此可能性。故滿洲國之支持承認。爲東洋及世界平和維持。目下最大急務。今後反覆力說。俾我主張貫徹。此點若十分理解。則於我國必外有利也。

日本與委員會交涉 一月三日開始

二十日壽府電。聯盟事務次長杉村押土。與草間附總長協議結果。來年一月三日起。日本與起草委員會之間。決定再回內交涉。

若不修正則難承認 國府態度決議發表

二十日南京電。國民政府外交部。至十九日深更。開首腦部會議。對十九國委員會態度。決定發表如左。然修正決議案。非中國根本要求之滿洲國不承認要求。十九國委員會決議。如不修正。則絕對不承諾。使其滿足不可。日華問題附託之十九國委員會。現在支持日本態度若不改。確信局面不能打開也。

共產黨 解消派求刑

二十日東京電。日本共產黨解黨派一派治安維持法違反事件。由東京地方裁判所宮城裁判長戶澤檢事審理中。二十日午後一時檢事求刑如左。

懲役四年　南喜一。門屋博。寺入虎太郎

同　三年　北浦千太郎　荒畑勝三

勅選補充 先任命二名

二十一日東京電。政府將現在貴族院勅選議員缺員四名中。先補充任命二名。現內閣書記官長柴田善三郎。大藏次官黑田英雄兩氏。來二十三日閣議決定。他二名則於山元內一次氏之樞府顧問官正式任命後。小山法相。堀切法制局長官等。似將補充任命也。

內地米況 或料更昂

餅米買上不成績。反作好材料。行情硬化。現境又佳。先限突破二十六圓。至零六錢。逾前之高價六圓。歲末氣分濃厚。喰利轉賣者多。對株强氣信者甚夥。有餘剩則買之。現境及正米事情。不左袒於弱氣。故新規買物薄。年末接近。或謂必有玉整理反動低落。然餅米買所殘四十五萬石。年內再買。養他更强氣。人氣甚强。行情或料更昂也。

屏東慰靈祭

伊藤中尉遺骨到著。以聯隊爲主體。由軍衙各方面有志參加。訂二十四日午後二時。在屏東公園。設祭壇。嚴重舉行云。

燒三百戶 新潟縣大火

二十日絲魚川電。新潟縣絲魚川稅務署附近。二十一日午前二時頃出火。至午前八時。延燒約三百戶。絲魚川驛。午前六時四十分燒失。死傷不少。

伊藤中尉遺骨抵基 先擧慰靈祭

故伊藤中尉遺骨。山根本少尉。出張門司受領。二十日乘船。按於二十二日抵基隆。基隆要塞司令部員其他。欲弔拜。臺北則擬在偕行社。安置遺骨舉慰靈祭。然後於同夜々行。發臺北。途中沿道。受各州市有志去弔拜。豫定二十三日午前九時十分抵屏東驛。將遺骨安置在官舍云。

進級中尉

伊藤少尉。由屏東聯隊出征。名譽戰死。十二月二十六日。進級中尉。敍從七位。

當事國如不肯和協 則依規約十五條四項 將公表適當勸告案

二十日壽府電。十九國委員會。因日本對決議案之修正意見强硬。年內難以解決。乃至明年一月十六日。爲之閉幕。小國至一月十六日。若不承諾當事國何者爲適當之和協原則。則使聯盟規約第十五條四項發動。不求當事國承認。而公表適當勸告案。

中外要電

據北平官界所漏消息。張學良乘第三次中央全體會議開催機會。將左記國際聯盟罵倒電報。致於宋子文羅文幹。國際聯盟。暴露醜態。被强者支配之聯盟。正體暴露。北華關係。更見緊張。近將有大變化。對日本決定硬軟方針。

德國家緊急令發布

德國大統領[illegible]元帥。二十日發布國家緊急令。右乃以從來武柳認廣內閣之手所發布緊急令大部分撤回爲主眼。

一、武柳認廣內閣發令中之政治的暴動鎭壓所關獨裁的命令撤回。

二、依武柳認廣內閣發令停止中之德國憲法集會結社自由出版自由等。規定德國臣民權利之回復。

三、德國大統領身邊之安全。並威嚴所關規定包含之。

中俄通商條約交涉 團匪賠償金給露國

二十一日南京電。聞官邊談。國民政府。爲中俄緊急通商。中俄不可侵條約之先。締結中俄通商條約。目下交涉中。國民政府。以千九百二十四年以前之團匪賠償金。決定支給於俄國爲條件。

金康丸 二次遭難

十七日午前八時頃。南船南洋航路巴多美亞丸。收容由馬尼拉我國領事送還之沖繩漁船振成丸漁夫十三名。資九三十一名。鹿兒島漁船金康丸七名。計四十一名。寄港于高雄。全部上陸。振成丸於十月十九日出高雄港。往到南洋某島。採取藥草二千斤。歸航中至本月四日。在敗牙島採取藥草四百斤之際。被比律賓監視船發見。爲入五浬之領海漁撈。被拿捕其船員十三名。同船赴馬尼拉途中。斷去碇索。船體浸水沈沒。然同船于同島採取藥草時。分爲三班。一班十三名。一班八名。然其八名不知受其拿捕。現殘留在同島。近日中途送還。而寶丸爲採取南洋某島藥草。于十一月十九日出高雄港。然歸航中機械故障。不得已寄港于敗牙島。採取同島藥草。同樣被捕。其船亦曳航途中。斷去碇索。船體沈沒。兩隻船員被捕到馬尼拉。受其當局簡單訊問後。交我領事館。而金康丸于某島採取藥草後。向高雄歸航中。去十三日。在離某島西方百十浬之[illegible]。機關故障。漂流二十六時間。被通行中之國船敬安丸救助。其船亦曳航。途中斷去碇索。故遺棄船體。便乘敬安丸。寄港於馬尼拉。被交我領事館。尚金康丸乃是第二次遭難云。

第五初榮丸 救助難船 交涉美人歸國

高雄市哨船町一丁目正田伊助所有發動機漁船第五初榮丸。由船長兒玉茂太郎以下漁夫十四名操縱。赴到南洋漁撈。十九日午前四時頃。救助比律賓帆船々長船員三名。歸抵高雄港。而其帆船於本月十二日午後八時頃。由比律賓出港。積載建築材料。向馬尼拉航行中。十四日午後十二時頃。于離尾多雞島五十浬地點。因爲風波。其船顚覆漂流。十五日午前六時。在加陀拉島燈臺南西方約四十浬地點。適被前記第五初榮丸救助。水上署與市役所。協力先收容于市營無料宿泊所。現對臺北米國領事館。交涉其歸國云。

嘉義郡山間 密造銃器 首魁就擒

嘉義郡下山間方面。邇來常有發見携銃器出沒者。閒係舊藏之物。本年十月中。于同郡中埔庄赤蘭溪山中。發見一携帶者。當時警察課接報。開始搜查。其人聞風逃避。十八日同庄石硦。及枋樹腳。兩派出所方面山林中。又發見十數名。携帶徘徊。臺南州刑事課木崎搜查係長。卽日來嘉。與田尻司法主任帶課員。入山搜查。同日午後四時出發。以枋樹腳派出所爲搜查中心。田尻司法主任一隊七名。永島警部補一隊二十二名。木崎係長應援。活動搜查。至十九日午前五時。擒首魁兩名。並銃二挺。押入警察課。其他數名。于同日午後三時捕到。

出超四百三十萬圓

大藏省發表中旬貿易如左（單位千圓）

輸出　四六、二五四

輸入　四一、九四八

出超　四、三〇六

一月以後入超累計　二一、三〇二

三木氏處懲役三月

東京市疑獄事件控訴公判。於東京控訴院審理中。二十日對被告三十五名。各爲判決。三木武吉氏懲役三月。無執行猶豫。

爲貪保險金 放火已家 父子懲役

基隆郡雙溪庄武丹坑字武丹坑四一九番地運送業兼藥種商林天送。年四十四。爲家業不振。自前有加入大成火災保險會社保險金一萬二千圓。引爲奇貨。去五月二十三日午前三時頃。教唆其長男。林國斌年十七。對自宅牙屋。入石油放火。事在第一審時。天送言渡懲役八年。國斌懲役四年。旋不服控訴。及至于去十六日再由緒方裁判長判決言渡林天送懲役七年。長男國斌二年半云。

臺南州協議會（第二日） 仍照原案全部可決

臺南州協議會第二日。去二十日午前九時開會。傍聽席告滿員。同二十分。鹿沼氏求發言。議長宣告第二讀會終了。鹿沼氏提出緊急動議。早川。勝田。諸賢黎諸氏表贊成。遂告成立。鹿沼氏。嫌就公費七百五十六圓太少。希望增加一萬圓。於是滿場贊成。川村參與。答以現在公費亦恐不足。然督府方針。似不許增額。若爾爲之。恐影響他州。希望承認原額。次栗山。鹿沼兩氏。各述意見。希望當局考慮將來。終可決第四款土木費。及第五款教育費。休憩八分間。同十時五十五分再開。附議第六款衛生及病院費。第七款勸業費皆無異議。第八款至第十五款一括爲議題。亦照原案可決。次第五經常部臨時部第一、二、三、四號議案及第五款補助費。並第六款至十一款。亦皆可決。過午二十分休憩。午後一時十分再開。歲入經常部臨時部。歲出經常部第十六款豫備費。均照原案可決。第二讀會既完。入第三讀會。議案全部採決。滿場起立可決。次議第二號八年度歲入豫算。省略讀會。附議第三號時局匡救事業補助。及交義中埔道間架八掌溪橋資金借入之件。第四號橋梁架設費由網維非參與。詳細說明。滿場贊成。原案可決。次第五號州戶稅規則細則改正之件。及第六號州稅規則施行細則改正之件。山杉村參與。說明內容。和田氏反對第六號議案起自動車稅率。宮本氏贊成。於是議場。俄然緊張。鹿沼。栗山兩氏。提出折衷案。今川議長。恐議場混亂。宣告休憩。同二時半再開。川村參與。就道路網方針。及將來營業自動車業者對策。詳細說明。筌領因寬延分。筒井氏。贊成原案。及採決。多數起立。原案可決。繼選常置員。及豫備員。今川議長述謝。議員代表敍禮。同四時頃閉會云。

金本位制復舊問題

英大藏省與英蘭銀行間。關金本位制復歸問題。有所協議。結局英國於近數年間。不考慮金本位復歸。又英蘭銀行率先對政府。强硬進言。謂英國於世界經濟會議。不可討議金本位制復歸問題。政府當局想必容其進言也。

英波間紛爭理事會

波斯政府。因英國之波斯石油會社利權廢棄。發生英波間紛爭。提起於理事會。十九日午後六時十五分開會。波斯代表。抗辯木紛爭。無如英國主張。依規約十五條訴出理由。結局理事會。對兩國。事件審議中紛爭不擴大之行動。經要請電報。更決定次回理事會一月二十三日。

郭大統領特別聲明

郭麥大統領。於十九日議會。送特別聲明書。軍縮會議。派共和民主兩黨代表。同時協議戰債問題。又郭麥大統領。聲明書中提唱案。次期大統領羅斯福氏亦承認。

選舉無料二回送附

閣議散會後。南遞相齊留與山本內相會見。謂法制審議會答申之選舉法改正所關無料郵便物二回送附。事務的立場反對之。法案作製上。要求考慮云。

閣議人事任命決定

衆議院書記官　大木操

衆任行政裁判所評定官（二等）

關東廳遞信局長　櫻井學

衆任關東廳事務官（二等）

蘭郡水稻肉豚 兩競技褒賞

宜蘭郡。前月以來街庄聯合。開催水稻增收競作。並肉豚肥育之兩競技會。者番審查決定。訂來二十二日午前十時。在宜蘭公會堂。欲舉行褒賞授與式云。

國民軍態度硬化 或排擊十九路軍 福建戰雲復急

福建們羅主義既破壞。福建對廣東政府之不平。自不待言。國民軍一邊。態度刻々硬化。至十九日。雙方已成對峙之勢。何時開戰端未可定。局面頗切迫。又十九路軍兵力。上海事變當時。稱有三萬。現在實數約二萬。國民軍一邊。以第二十一師一萬一千人。由步兵九團。騎兵一團。砲兵一團。工兵一團而成。而省護軍之五十六師。其同布戰線。對十九路軍。將出排擊積極行動。目下戰雲頻動云。

大甲刼棺續報 犯人續捕

大甲街管內。有人刼棺一事。既如所報。當局既擒二三嫌疑者嚴審。果有一名參加者。其主犯者。洪還食。捕之不及。乘隙逃去。去十九日。同謀黃德發。在圳脚被察巡查捕入。尙餘一名云。

高雄州協議會（第二日） 仍照原案全部可決

高雄州協議會第二日。去二十日午前九時十五分開會。附議歲出經常部第一款神社費。及第四款土木費。阿久澤氏質問縱貫道路問題。納富參與答之。高橋。橋本。白石諸氏。亦問道路問題。有二三質問。次第五款教育費。橋本氏問高雄中學校。有無增加學級。及擬設水產學校。金子參與。答以水產學校建議。經已申請督府。又當局亦正研究。高橋氏。述要設置水產學校意見。阿久澤氏。質問學校職員待遇改善。高橋氏。論小公學校學級增加。現已得幾分緩和入學難。而寄年志願者。多難全部收容。學校當局。以常識判斷等。許其入學。此有阻害兒童向學心。金子參與。答以新年度。公學校增加二十七學級。極力緩和入學難。高橋氏復起質問。金子參與。就各地方國語講習會詳細說明。並望地方有力者。援助獎勵國語事業。徹底普及。次就衛生費。右川。橋本兩氏。就防過疫。有二三質問。田村參與答之。高橋氏。爲設置衛生組合。述希望及意見。田村參與。答以設置衞生組合。亦表贊成。但財源關係。難得實現。希望町委員。其他活動。右川氏。問死亡數及部落。田村參與。答其原因在瘧疫。對此方面。努力防過。其他有樹縛。林旅。瀟息卿諸氏問。次議第七款勸業費。白石氏。問造林問題。產米改良。副業獎勵等。家村。加藤兩參與答之。正午休憩。午後一時再開。中村氏。問就蓬萊栽培。家村參與答之。高橋氏。問漁業救濟水產加工品等。家村參與答之。次第八款社會事業費以下各款。皆無異議可決。歲出經常部臨時部。第一款營繕土木費。有二三質問。第二款郡役所營繕費以下第五款。亦有質疑應答。第六款補助及寄附。高橋氏。希望增釋放者保護費。右田氏。問慈惠院收容精神病者數。金子參與答之。第七款至第十款。皆無異議。次第十一款屏東高等女學校新營費及第三號議案。有筧氏質問。野口知事答之。白石氏。論難屏東高女寄附金負擔。金子參與答之。阿久澤氏。述寄附金問題希望。於是第三號議案。省略三讀會。可決確定。次議歲入經常部第一款至第四款。有二、三質問。亦無異議可決。第二款以下經常臨時部全部。一瀉千里可決。第五六號議案。省略一讀會可決。於是第一號議案。歲出入豫算全部議了。省略三讀會。滿場贊成可決。次議第二號議案特別會計罹災救助基金歲入出豫算原案亦決。後選舉常置員白石。筧。高橋。中村。陳光燦五氏當選。野口知事敍禮。協議員代表白石氏答辭。同五時十五分閉會云。

接到早蕨漂流之報 馬公要港部命令 驅逐隊急航搜查

馬公二十日發至急報。要港部。接到早蕨於海瑕島海上漂流中之報。卽時對「北上」。命令急航調查。因是北上。在馬公寄港。同至急報。早蕨漂流地點。在距遭難地西南百五十浬卽海瑕島海上。今早七時由總督府。通告要港部。更命令二十六驅逐隊。急航搜查。按二十一早到著要港部。益形緊張。

不能否定 中原艦長談

福州僑留民會書記高橋仙吉氏。向臺北市表町小閑江隆哉氏。有電報福州。厦門中間福洋海。有類似早蕨艦之顚覆船漂流。基隆在港中各艦。各關係各方面。大起衝動。就早蕨艦之去處。成一大疑問。訪之碇泊中驅逐艦敷波。艦長中原逵平中佐。同部下將校。按海圖談曰。全屬初聞。其情報若詳或得有頭緒。然只此殊難知。雖不能絕對信之。復不能絕對否定云。

搜查困難 村上少佐談
重油湧出漸減

早蕨沈沒。既十五日。快晴之日少。向去十四夜向現場之第二十五驅逐艦隊栂。梨。竹三艦。爲補充燃料清水。食糧。於二十早六時。歸基隆港。橫在能登呂艦側。補給重油後。繫留於第四岸壁。訪之旗艦艦長村上少佐談曰。第二十六驅逐艦發見之重油湧出。其後漸減。若停去。搜查應難。今後唯待命令。再行出動。極力搜查云。

搜查困難 風速二十米

二十日馬公發本社特電。是日遭難現場。風速二十米。搜查困難。是故唯依迴轉式船搜查。十三驅逐隊爲補給燃料。於是日向基隆。北上。午前中。發現場。爲補給燃料。向馬公出發。而山內司令官。現場視察。偕伊崎先任參謀。按二十一夜。發馬公云。

臺北商工信組 業務開辦 加入者甚夥

臺北市。爲都市中小商工業者匡救及農村救濟之一策。經設保證責任臺北商工信用組合。已如所報。市內住民。亦多贊成設立主旨。聲明加入者。意外良多。至開辦前之二十日加入者二百三十餘名。口數二千數百口。至二十一日之開辦日。自早晨繳納加入金者。絡繹不絕。人氣頗好云。

鳳山理髮業者 救人受賞

既報鳳山街火房口理髮業者山里繩十氏。以一竹棒。隔開施水源之感電。救水源於一死。嗣後鳳山郡當局。因其救人有功。將情報告於高雄州當局。去十九日。山野口高雄州事。授與賞金一封及褒狀云。

煙草趣味展 開于臺南

既報煙草同好會主催。專賣局及本社後援。假本社講堂。開煙草趣味展覽會九三日間。觀衆達數萬人。與好成績閉會。臺灣煙草賣捌人組合臺南支部。擬將該出陳品移于臺南市。開展覽會。該組合支部鹿沼留吉氏。日昨赴北交涉。清楚。去十七日歸南。決定同支部爲主催者。臺南新報社後援。推薦今川知事。富地臺南報社長爲顧問。出澤專賣局支局長爲名譽會長。黃欣氏爲會長。鹿沼氏充副會長。按明年一月十四日起三日間。假同市公會堂開會。經得出品者諒解。以責任者之國際通運會社員立會。鄭重包裝。二十日頃運往臺南。嚴重保管于專賣支局倉庫。又總督官邸出陳之高尾大夫遺愛煙具。亦得官邸一邊諒解。擬運往臺南陳列云。

苗栗郡下〇〇〇某內地巡查。性橫恣。對庄民不論是公爲私。皆非常亂暴。似此何以服衆（望上官看）實際諸君之論色欲與邪淫之誣誣害人害己。流毒社會。眞有心人也。足打破軟文學迷夢（友人感服）嘉義元町人。前科四犯某惡漢。十二月中。欲恐嚇斗南庄人陳某之金錢。至被送檢察。咎由自取（何不守法）產組之理想。及弊害之矯正。望當局編成官文一致欲由依無線電音。及普普機宜傳。使一般易曉。足資國民自力更生（參考）（一提議者）

新富町火災 乳兒燒死

臺北市新富町百七十四番王柯棟宅中。二十日午前十一時十分發火。爲一兒童發見。賴消防自動車。趕到現場。至十一時四十分得以撲滅。同宅有夫婦外出。留其生後四箇月女兒蔡氏月娥。在臥室者。致彼燒死。就出火原因。蔡氏梅。被召去取調云。

基隆

同風宣傳

基隆同風會。去十五日役員會決議事項中。關於新年行事。並市中小商工業者匡救對策。總印刷傳單。去二十日。配與各戶云。

年末賞金

基隆市醫官衙。年末賞與金。其數約在五萬圓。此外銀行會社。亦在數萬圓之譜。近當發表。如鎭泉會。高砂頭菜會等。總於去十九日。集各番長。於雲泉本社。授與年末賞與金額。一萬餘圓。人員百三十餘名。歲暮景氣略振云。

個人畫展

中華福建省家李文川氏。者番受基隆青年人士之聘。於當地教授畫法。自去二十日起。至二十四日。五日間。假小[illegible]館。開個人畫展覽會。希望同志多數往觀云。

沙鹿

佛教青年

去十九日。在彰化發花堂主林承杜氏。特派布教地佛教徒。其在沙鹿天元佛堂之時。乃遂議中慎德堂張普輝。大甲總合堂王普進同金龍堂王普因。同戀意堂黃普成。清水覺元堂黃普因。李普臣。沙鹿天元堂陳普流陳普信諸氏。爲發起人。遍會發起之午後一時。開發起人會。林氏發表組織佛教青年會之意見。大有張普佛。表示同意。並求諸成氏不應。大推林氏爲起草委員。就會之組織草案。及瑞查會則。決來舊十二月十二日。開於慈中慎齋堂云。

沙鹿開廍

沙鹿製糖會社。自數日前。光準備刈取原料。及他人工等。去十九日。經已開廍云。

法會講演

沙鹿天元佛堂。七天大法會。第一日行事。新戒徒入場。午前爲一般善信師請。消災解禍。午後超拔新戒徒祖宗。是夜大家。向男女戒徒十三名。一々傳授佛法。第二、三、四、五日行事。午前同上。午後超拔過信祖宗。第六日行事。五早祭天。是夜普施。一在木堂前殿。二在公會堂。三在天公廟前大庭。而庄中商人。及斗街全村。各有致祭。約二千餘桌供後會戰。各地佛徒。始紛紛散去。至於會中。每夜有鹿港衆普撈外數關師。詔演佛教眞理。每日觀衆擁擠云。第七天行事。午不遠於中元。

大溪

產業礎商

大溪郡爲議施產業五箇年案。並施行方法細項。而斟酌意見。去二十日上午九時。内海知事臨場。召集庄長。並郡街產業技手等。開產業礎商會云。

養鷄發會

郡役所職員。及大溪街養鷄家合同主倡。爲遍施養鷄。而期收益者。組一大溪養鷄組合。去十八日。在郡街內。舉發會式。大溪郡勸業主任。報告經過。次議事案。選舉役員數名。終由今村氏。作養鷄談。而後散會云。

豐原

祝慶聖誕

來二十五夜。豐原教拜堂。開街民祝聖誕。並映寫基督一代記。入場無料云。

北斗

事務研究

北斗郡街庄事務研究會。去十八日。開於溪州庄役場。當日出席者。郡有名木街庄主任。外郡下各支部長及街庄吏員全部。自午前十時起開會。首由名木街庄主任。述開會辭。繼就來年度街庄協議會所關事務研究之說明等。後各街庄吏員起立質問應答。至午後二時三十分。再由大城。溪州二庄提出議題之研究。五和殿表意見及批評。午後四時閉會。

祝街長

北斗郡北斗街長陳章琪氏。多年對於地方行政貢獻。功勞不少。者番督府當局依其功勞。特敍奏任待遇。郡民爲表祝意。欲舉盛大祝賀會。現由北斗郡庶務警察兩課長。北斗街助役外七庄長出爲發起。定來二十四日正午。在北斗街媽祖廟後空地爲會場。會費每人金一圓五十錢（但含配合品代）希望出席者。可向郡下各街庄役場報明云。

會事

▲新營郡街庄治庶務。及財務研究會。併商業技手座商會。本月欲順開忘年會。訂二十一日。在鹽子國語研所。開會。

▲嘉義市內學校長會議。去二十日午前十時。開于女子公學校。附議事項如下。一、教授調整諸施設之實績考察。一、文書處理。一、開青年團音樂會。一、開學校美術展覽會云。

人事

▲故蔡天註氏告別式。訂來二十四日（土曜日）午後一時。在監牌基督教會堂執行云。

▲彰化王家超節婦。上月二十日逝世。訂來正月二日。舉行葬式。

▲大甲郡梧棲街助役王繼中氏。本爲公學校訓導。去十九日開沙鹿。經營米商。特開披露宴會。招待參列官民知友云。

彰化

預算礎商

彰化街預算。經已作成。定二十一日。在當街役場事務室。開各部委協會云。

捐同情袋

彰化信用組合理事中山吉三郎氏。因此番彰化街方面委員事業。招募寄附金同情袋。其與年末賞。率先寄附金二十圓云。

斗六

募組合員

斗六街當局。欲獎勵斗六街管內之產業組合振興金融圓滑。並獎成相互扶助共榮共存之精神。去十九日午前十二時。召開街管內之大地主三十餘名。于街役場樓上會議室。開產業振興懇談會。懇談事項。一係斗六信用組合。再募集新組合員之件。勿論何農商。俱得加入。每口金額十圓。

講栽蓬萊

斗六郡新興庄。爲獎勵蓬萊種栽培。請關顧賀大水氏。作之主旨。自本月十九日至二十一日三日間。在庄役場聽講。以期普及。

市區改正

既報斗六郡斗南庄之市區改正。已於去十七日起至二十日四日間。有督府土木課技師某名氏赴斗南實地設計。諒不久可化爲整齊之街市。

華人自縊

去十七日午後二時。斗六街林內頂庄子北方之龍眼林中。一青年吊死在龍眼樹上。被同庄人發見。郡接報。小田警部補。偕中川公醫。到現場。調查結果。乃中國福州省閩侯縣上埔人林樹和。年二十五。在西螺街新源彩鳳店爲職工。檢屍後付假埋葬。死因現正調查中。

慈善醫療

來二十五日。至二十七日三日間。於興原雙拜堂。且對希望者。發出貧民無料施療券。可向博濟醫院。胡醫院受診云。

蚊、蝱、蛇、南京蟲、ムカデ、蚊等にも是さへあれば（說明書進呈）

實價入壹包五拾錢　內地送料十包迄十錢

京都寺町姉小路

鳩居堂

烟聖のたまはく　爾等一日磨かざれば一日吸ふこと勿れ

タバコのみの

歯磨スモカ

煙草・化粧品店にあり　定價十五錢

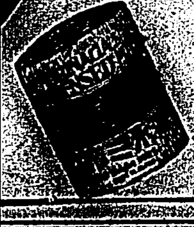
新鮮保育

森永ミルク

森永ミルクで育てた赤ちゃんの成績

笑顔百點！

健康滿點！



腹痛・下痢にタイモール（胃腸內殺菌）

（說明書呈）

シネ・コダック

全然新機軸　從來の16ミリに比して映畫製作費が約1/3で濟む

最も經濟で　最も畫質よく　最小のカメラ

各地寫眞材料店及百貨店で販賣

無料現像所　東京市京橋區銀座西六丁目三　大阪市西區江戶堀南通一丁目一

イーストマン日本總代理店　コダック・ジャパン・リミテッド

臺灣日日新報

婦人公論

日本結婚史上に、白々と一線は劃された

『結婚解消問題』是非

白き不純は[illegible]

（鳥潟博士令嬢）

既往の凡てを告白懺悔した

◇鳥潟博士令嬢と長岡學士の結婚解消の眞相

永井保

その純情を失つてくれるな

父　長岡保

子を見ること親に如かず……

批判

△問題はこれからだ　細田民樹

△横着と純潔の衝突　山田わか

△醫學的立場から　保坂孝雄

結婚直前の男女學生の感想

東京帝大文學部　新井[illegible]

文化學院文學部　白淵[illegible]

長岡

僞はれる結婚であつたか

初めて父となりて　佐藤春夫

兩家の聲明書と覺書

マスラヲ・ウマル

蘇峰小話　德富蘇峰

新戀愛論　靑野季吉

逆さ去りし妻へ（血の告白）　岡田時彥

「瞼の母」を語る（自傳）　長谷川伸

◇不思議に當る獨乙の星占ひ（生田葵）

□僕の〔ページ〕のんきな旅行　島中雄作

□山霞む日（短歌）　釋迢空

□ある肖像（小說）　板垣鷹穗

□流行不連續線　須藤鐘一

おちかは死んでゐる　丸山定夫は自殺した

外國文學講座　トルストイの片影　森田草平

待望の新年號・愈々發賣

【隨筆】重兵衞さんの一家　吉村冬彥

□ジュネーブに活躍する松岡全權一行

□モダン語一時間講義

□八人の家族を養ふ天才少女舞踊家

北滿の曠野に監禁された邦人婦女子の手記　小出哲子

◆暗礁の上の新年（內外時評）山川菊榮

和洋音樂の一切がわかる讀んで面白い名曲物語集★

第一別冊付錄

第二別冊付錄

婦人の運命と月經

人を訪問した時迎へた時の心得

我家特獨のお正月料理

若夫婦旅行心得帳

□お手輕でおいしい家庭向きお菓子の作り方

□三十三年型洋服と和服の正しい着方

□五圓で出來る樂しい一泊旅行

□夜の姿を引たたせるお化粧法

□お正月向の子料理いろいろ

詫びる久松トシ

「この一言が云ひたかつた」と彼女はいふ

△先生いつも優しかつた先生　後藤忠喜

△敎へ兒が警視廳への嘆願書　中山小學校舊生徒

此事件を單なる興味のみで見逃すなかれ！

久松トシ！！彼女は日本のマグダリヤのマリヤだつた

女敎員の女給問題

女性は強し　佐々木邦氏作

黃昏の薔薇

北村小松氏の大傑作

女優

面白いこと日本一の連載小說★

男装の麗人	村松梢風
それを敢てした女	細田民樹
お千代傘	吉川英治
靑い寢室	林房雄
墓石の言葉	阿部ツヤ

大懸賞論文募集

讀者に親しき特設欄

定價金七拾錢

中央公論社發行

振替東京二三四番

新高製糖株式會社

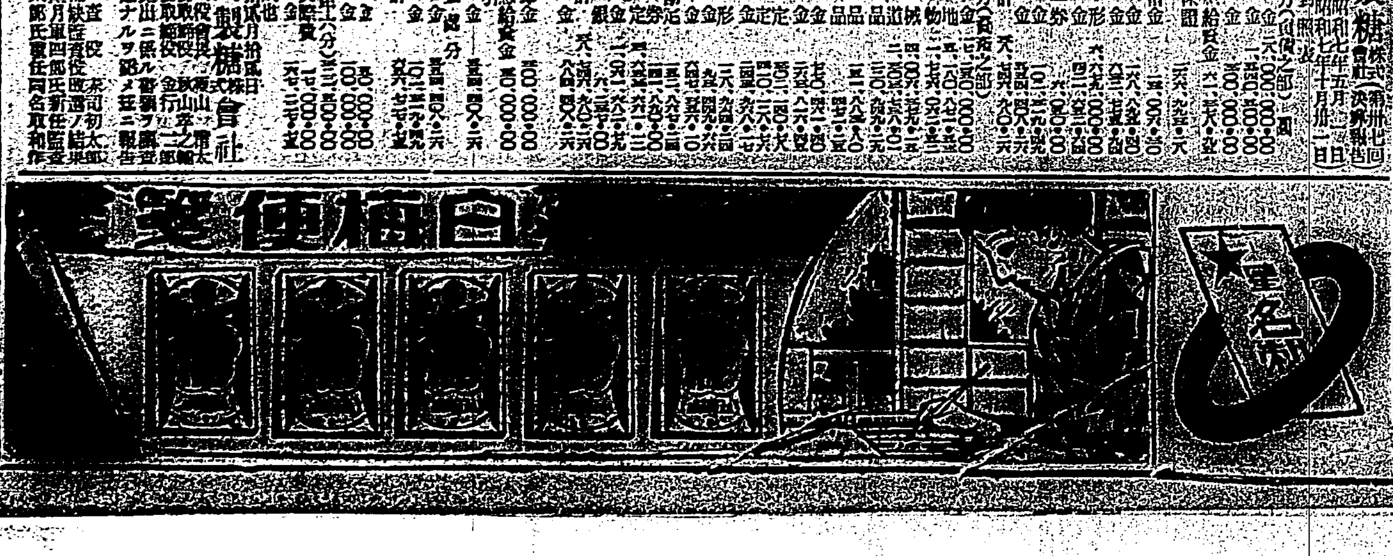
第[illegible]回營業報告（自昭和七年五月一日至昭和七年十月三十一日）

[illegible]

右之通リニ候也

昭和七年[illegible]月[illegible]日

新高製糖株式會社



白梅便箋

御贈答用に……透明金模様製斗紙付（中入り）

銀座石鹸

資生堂

一個十錢　新發賣

支那よ日本を誤算するな
聯盟によらず和解できぬか

一

どんな爭ひでも、爭ひは醜いものである。然るに東洋の君子國とまで言はれて來た日支が兩國の醜い爭ひを一々ゼネバへ訴へ歐米諸國の前に其の內情をブチまけることは何と考へても心外でならぬ。孔子を生み孟子たるを理想とする東洋道德の本源を培うた支那は、今では甚だしく非君子國たるに至り、眞の東洋道德は日本において現在まで繼承し育成されて來てゐるとは言へ、共に東洋に國を隣りし同文にして同種、その交りも千年に及んでゐる間柄だ。謂はば兄弟の日支である。この兄弟喧嘩を遠方で事情の分らぬをぢさんに一々訴へて其の裁きを受けやうといふのからして既にまづいやり方と言ふ外なく、東洋民族の品格にも關する重大問題であると評すべきだ。

二

今更らくり返して見た所で仕方がないけれども、今までの模樣を見ても、ゼネバ會議なるものは好い加減のもので、日支兩國とも心より信服できる程の解決案など到底できる望みはない。日かたつにつれて聯盟に對する信望が薄れてゆくことは日本にかても著しい現象であるが、之は同時に支那においても亦た免かれぬところで恐らく相通じてゐる對聯盟觀であらうと思ふ。聯盟賴むに足らずとの叫びは今日支那において却てヨリ多く聞かれる怨嗟の聲ではないか。實をいふと聯盟賴むに足らずなど今頃言ひ出すのからして認識を缺く話で、極東の特殊にして複雜なる日支紛爭を、聯盟などに持ち出すのが抑々間違ひであつて、之が支那が日本を見くびり聯盟を過信した錯誤の第一歩であつたのだ。

三

否、今日では日支問題を國際聯盟へ繫ぎ出した爲めに却て問題を益々こぢらせ紛糾させて來てゐる。理事會でも總會でも特別委員會でも容易に適正なる解決案は出來上らず、寧ろ問題を激化させ兩國の間に無暗に澤山の行き懸りを作つて了つた觀があるのではないか。例へば支那が聯盟に出訴した立場から、日本の行動に就て嚴しくゼネバに報告し、之が日本の政府や國民を痛憤せしむる起因となり、日本も亦た支那側の逆宣傳に自衞上對抗する爲め支那の非を列擧して聯盟に報告するといふことになり、日支兩國は血で血を洗ひ此のため益々紛爭の火の手に油を注いだ。此の事實は今日何人と雖も否定し得ない所のものである。而して之を事實とする限り、國際聯盟は日支紛爭問題を爲に解決し得ぬのみか、却て兩國民の感情を激化せしめ問題の紛糾を加重させたとの非難さへ拒み得ぬであらう。

四

もし又假りに聯盟が其の威力を發揮し、規約十五條四項による解決案を强行を以て公表し若し日本が之に屈せずして聯盟脫退となり聯盟は日本に對し斷乎として制裁規定を發動させたとする。その結果は東洋の天地に如何なる重大事態を新たに招來することになるか、獨り支那でも考へれば解ることと、又どうしても解らねばならぬ事柄と思ふ。聯盟の制裁規定が、文字の上のものである限り問題ないとするも、若しこの制裁の結果日本の生命を脅かす重大結果を來すものであつた樣な場合において東洋の天地は實に想像もつかぬ危險なる新事實の發生を豫想しなくてはならぬ。何れの國家でも、國民でもその生存を脅かされた場合は死の覺悟を以つて之と抵抗しなくてはならない、さういふ場合、支那が如何なる立場と境遇とにおかれねばならぬか、多く云ふまでもない。

五

斯ういふ風に觀て來ると、孫科君などが救國の途は徹底的なる抗日以外にないなどいふことの如何に幼稚にして前後の見さかへのつかぬ暴言であるかが容易に肯かれると思ふ。現在の日本は、滿洲事變前の日本では斷じてない。この點に關して支那は誤算してはならない。日本は滿洲事變前のやうに支那から排斥手段による苦杯を嘗めさせられるに忍びない、この苦痛の排除は殆ど必死的であり國家の運命を賭しても斷然志を遂げねば已まぬのである、この一大決心は今や日本全國民の胸底に沸き立つ焰であり猛火であつて、之を妨げる何ものをも燒き盡さではおかぬのである、日支兩國の心ある者は是等の眞相に立脚し東洋に於て脣であり齒である兩國の善隣關係に速かに立ち歸るやう有ゆる努力を傾けねばならぬ、殊に東洋の君子國を以て自ら任ずる人々は率先して聯盟以外において日支の和解を圖るべき根本對策につき充分なる考慮を拂ふやう望まねばならぬ。

委員會の決議案に當事國の步寄を確信
議長代理ヒューベル氏が聲明

【ゼネバ二十日發電通】十九國委員會議長代理ヒューベル氏は會議散會後左の聲明書を發した

一、決議案並に理由書に關する兩當事國との交涉は本質的にも長時間を要し且つ極東との電報の往復にも手間取るが出來る限り聯盟規約の期限制限を尊重す

一、日支紛爭問題は聯盟自體に留まらず非加盟國をも含み國際協調の根本原則にまで影響するものなれば有ゆる努力をなすを約束す

一、現在起草委員會の決議案に就き大なる意見の相違あるも之は兩當事國の步寄り得るものと確信す

右の失敗を避けんかため調停と交涉が必要なり之により十九國委員會は當事國の會談と關係各國の解決方考慮のため時間を與へる事に決した來年一月十六日より遠からざる次の會議までに兩當事國が調停を不可能ならしめざる如き方法を考慮せんことを期待す

「年改まると共に新活力で奮鬪する」
松岡代表から國民に告ぐ

【ゼネバ二十日發電通】會議一段落に際し松岡代表に國民に傳ふべき感想を問へば語る

ゼネバ到着以來一月、代表部全員の努力に依り日本の立場とその決心を餘程明かに爲し得たと思ふ然し之からが大變だ、日本人の精神は物質文明の白人には容易に解らぬ、滿洲問題を機會として眞の日本を彼等に示すことが我々の仕事である、且つ之が全人類の幸福の本だ、然し結局の解決は滿洲國の現實に支配されるであらう、歐米人は滿洲問題に付き悲觀的觀察をしてゐるが吾等は樂觀してゐる、東京驛頭致賀進頌に於ける國民の熱誠なる激勵は今猶眼前にあり感激に堪へぬ、この國民と我等とが協力一致力めて倦まざる精神を以て年改まると共に頓に新たなる活力を以て奮鬪する事を誓ひたい

聯盟を傷ける事は我等は避けて來た
松岡代表記者團へ聲明

【ゼネバ二十日發電通】本年の會議終末に際し松岡代表は記者團に左の如き聲明を發した

日本代表部は十九國委員會議長ヒューベル氏の發せる本日の宣言並に右委員會が審議中なる非常に特殊な性質を帶べる複雜な問題に付き眞の建設的な解決に努むべく決定された事に依つて示された所の誠意ある希望に對し大なる價値を認めるものである。日本の代表部は右問題が同時に國際組織の見地より重大意義を有する事を自覺してゐる。この事實こそ我代表部がゼネバに於て目下の仕事を成功さすべく努力し且つ日本の權利を確保しつつ極東の平和と秩序を固めつつ聯盟の平和事業を强化せんと力めつつある理由なのである。されば日本は早急無思慮な規約適用を以て聯盟自身を傷ける事を常に避けんとして來た、日本代表部はこの精神に於て明朗な解決に向ひ共同の努力を繼續せんとの希望を斷言する

松岡代表ド總長訪問
一步も讓らぬこと重ねて强調

【ゼネバ二十日發電通】松岡全權は二十日午後五時ドラモンド事務總長を訪問し今日までの經過に鑑み重大な決意を表明した後「決議案に對する本國政府の詳細な意見は全部到着したが帝國としては如何なる事態發生するもこの上一步も讓步し得ぬ」旨重ねて强調しドラモンド總長の希望に依り支那と滿洲の近狀說明後六時辭去した、右に依りドラモンド總長は日本の決意を印象付けられ日本の主張の必然性に理解を深めたと信ぜられ今後の氏の態度は餘程變化するものと觀測されてゐる

休會中も極力努力
我代表部の申合せ

【ゼネバ二十日發電通】本年の聯盟會議も二十日をもつて一段落となつたので我代表部は午後三時半から全體會議を開き各代表全部出席各自情報を交換後休會中も斷じて活動を緩めず特に大公使は互ひに連絡を密にして夫々任地に於て

和蘭公使に齋藤博氏

【東京二十一日發電通】內田外相はオースタリー公使に榮轉せる前オランダ公使松永直吉氏の後任に現アメリカ大使館參事官齋藤博氏を起用するに決しオランダ政府にアグレマンを求めつつあるが近くアグレマンの到着を待ち年內又は遲くも來春匆々オランダ國駐劄特命全權公使に任命することとなつた

臺鮮米の管理問題委員會で論議さる
買上制に管理制を加味して
反對緩和策を圖る

【東京二十一日發電通】農林省より米穀統制調査會特別委員會に提出された新統制案中最も問題となつたのは臺鮮米の管理問題で、之に就て二十、二十一兩日の委員會でも相當意見の開陳あつたが、新統制案に於ては「米穀の海外移出制限に當つては臺灣、朝鮮は內地道府縣と同樣一管理地區と看做し」との規定に依り從來の買上制に一種の管理制を加味して植民地米の移入管理に對する從來の反對を緩和する意味で從來の差別的待遇に對するカムフラージュと見られてゐる、然し植民地米殊に鮮米移入管理は內地に於ける米穀の管外移出と異なるもので

植民地米 を保するに同一融資を以てする時はその運用上に適宜を生ずるものと見られ、之に對し拓務省側に植民地側の意向に重大な注目が拂はれてゐる

小委員會での主な問答

【東京二十一日發電通】米穀統制調査委員會は二十一日午前九時半より總理官邸で開催、前日に引續き幹事案に付き審議を重ね、次回は二十五、六兩日開催に決定して午後零時散會した、主なる問答左の如し

問　最高價格を定めるのはどうか

答　最低價格が設ける以上最高價格を設くるは至當である、恒久的、利益を保障する事が農民に取り利益である

問　價格公定は內地米のみに限るや

答　內地米の價格公定さるれば鮮米も自ら一定差格に決せらるるから鮮米まで價格公定をなす必要はない

國民同盟がけふ結盟式
萬事ファショ張り

【東京二十一日發電通】安達謙藏氏を盟主とする國民同盟は二十二日愈々結盟の叫びを擧げる事になつた、非常時日本を力で押し通さうと云ふだけに萬事ファシスト張りの三段構へ

同盟旗 は赤地に八咫の鏡と旭日をあしらつた純國粹振りで特別行動隊たる青年部の旗は小豆色に鷲を刺繡した威勢のいいもの安達盟主の一著に及ぶ制服は黑サージ折襟バンド付、それに同盟歌まで備へ從來の政黨の型を破つた所に味がある結盟式當日は青年同盟の三百名は午前十時宮城前に集合し宣誓式、授旗式を行つた後杉浦武雄氏が總指揮官となつて之を **三大隊** に分ち場內外の警備及接待隊として活躍せしめる等全く軍隊式の作戰、公會堂には約八千の會員を入場せしめる豫定で宣言規約綱領政策等決定した上結盟捧讀式を行つて四時散會することになつてゐるが生みの惱み半歲茲に一つの毛色の變つた政黨が生れる譯だ

集中國力挽救亡案
中央全體會議通過の
孫科中央入りの策謀

【南京二十一日發電通】抗日を目標とし擧國一致を標榜せる孫科の「集中國力挽救亡案」は二十日南京に開かれた第三次中央全體會議にて修正通過を見た、同案は政務委員會廢止等を含み中央入りを策する孫科派のゼスチュアとして注目されてゐる內容左の如し

內政問題

一、人材を集め外侮を防ぎ一切の內亂根絕のため左記各項を實施す

一、政府は人民の自由を保障し不法干涉を禁じ濫りに逮捕監禁すべからず

二、各地政務委員會を廢く、現存のものは必要なくなり次第廢す

三、地方政治は黨外機關に依り臨時機關又は個人の私意的命令に依り行政系統を亂すべからず

四、中央より政治視察員を派し地方人の疾苦を調査報告せしめこの報告對策を公表し輿論に問ふ

憲政の準備

一、民族の全力量を集中し最短期間に建國大綱に則り地方自治工作を進め憲政開始の準備をなす

二、明年三月國民大會を開き憲法を議決し公布期を決す

三、立法院は速かに憲法草案を作り國民に研究せしむ

[illegible]同會議にて各省政府委員を廢し省長制に改むるに決議通過しその細目は中央政治會議で決定すると

平塚長官は廿七日東京出發
本年の最終便船で歸臺

【東京支局二十一日發、社特電】平塚長官は米穀委員會が來る二十六日迄開會される事になつたので自然その歸任期も來る二十七日出發二十八日の本年最終の神戶出帆の便船で歸臺する事になる模樣

福建省政府改組劇
識字案說明中に皮肉にも改組電
表面一笑した方聲濤
（中）　春山生

行政院で決議して政府首席に首肯を捺させるのも支那なればこそであるが如何に形式だけの林森にしても憤慨せざるを得ない譯だ、まして事は鄉里福建の事でありしかも屢々歸鄉して口約した手前もあるので彼は公然と不滿を口外して憚らなかつた、こんな事情で普通であれば決議の翌日位に公表されるのを漸く林森をなだめて一週間を經過した六日になつて漸く公表し公電と迄漕ぎつけた譯である、この一週間の間に福建は悲喜交々のナンセンスが湧き上つた中でも

『林森』が三中全會後だとか來年だとかいつた口約によつて主席が捺印しなければ無效になるので原狀維持だとか或は追加しても委員は閩人で占めるであらう等自分勝手の想像を逞しうしたものであつた、首席代理方聲濤の如きは二十九日午後三時省政府に各機關代表各新聞關係者代表を集めて彼が掉尾の創案たる識字運動の具體案を示しその必要なる所以を力說してゐた程であつた、この識字運動は福建から文盲を根絕する運動で十二歲以上のものは强制的に修字せしむるといふのがその骨子をなしてゐる。現在の支那の狀態から見ると全く空論に近いやうな事であるが理想としては最もなのでこれを畢生の事業として發表し力說する彼の得意たるやけだし想像に餘りある三時間に亙つて美辭

『麗句』を連ねた强迫識字案の功德を得々として鼓吹したその席上に行政院決議の改組の至急電が披露されるとは何たる皮肉な事であつたらう、彼はこれを表面一笑に附して引き上げていつたが例の片意地者の醉も一時にさめてブルブル保へその後姿は又となく寂しかつたと云はれてゐる、翌三十日は早朝から方氏私邸の北門九彩巷一帶は福建要人の車馬で殺到され、云ふ迄もなく同黨の省政府委員失意の臨時長連中や不安の政客がワンサ〳〵と押しかけたのである、當の主人方聲濤は三中全會出席を名にこの日正午にはもう住み馴れた福州を後に上海行の船に乘り込んでしまつた、この早業にも吸驚するがくず〳〵してゐたら十九路軍の一味に監禁される虞れがあるからと聞いては全く槿花一朝の夢もただならぬ譯である、官を離れ職を去つてしまへば支那ではその瞬間から棄てられて顧みられぬ路傍の石も同樣であるのが普通事である。方聲濤と同時に華安汽船で上海に赴いた同行の陳培焜は十二月八日に歸閩したが改組不可能の事を萬一僥倖して上京したのにいよ〳〵

『斷行』と知つてはぢつとしてゐられず福建財界の元老たる陳は至急整理の事を感じたものであつた各銀行各錢莊から立替融通した一時的のものだけでも少くとも三十萬元に上つてゐたので新政府によつてこの借入金が認められなかつたら一騷ぎ捲き起るは當然であるがそれよりも彼等は搔き集めた老後の資金が水泡に歸する結果になるのを恐れたからである、官規によつて堂々と進退する日本などの常識では到底想像も及ばぬ事である、この陳培焜は金融方面にかては福建の大黑柱といつてもよい位で大小の借款に彼の名の出てゐない事はない、漫漶たる支那政界にあつて巧に游泳術の奧義を體得してよく泳ぎ廻つてゐたのであるが今回だけはたうとう委員の職まで棒にふつてしまつた、十九路軍系によつて如何に福建の財界が壟斷されるか戰々兢々の態である

宜蘭濁水溪の一般交通用の橋梁
鐵道用架橋に添設に決定
工事費は八十萬圓

宜蘭濁水溪の假橋は河川整理の進捗により昭和九年を以て取拂はなければならぬ狀態にあるので中部臺北州知事の稟議により總督府では當初の計畫通り鐵道用の架橋に一般交通用の橋梁を添設することとなり之が工事費八十萬圓を明年度豫算に要求中であつたが既に大藏省を通過した旨其筋に通知があつた、同架橋は單獨でやれば少くも百十萬圓以上を要するものであるが添設することになれば約三十萬圓の節約が出來るので當局ではこの際二ケ年間の繼續事業として斷行するものである竣工の曉には宜蘭方面は非常な好景氣を現出することとなるべく今から其の前途を期待されてゐる

彰化街民代表
總督以下を歷訪
市制施行について
お禮やらお願ひやら

彰化街の中津街長、李崇禮、甘得中の三氏は街民代表として廿一日午前十時督府を訪問、中川總督、小濱內務局長、石井地方課長を歷訪して街民が永らく熱望してゐた彰化市制施行に付て實に早くから陳情に出かける筈であつたが、[illegible]

なつてゐるので今更陳情ではないが、總督府當局の御盡力に對して我々一同は厚く御禮申上げる次第である。何今後とも街の發展のために萬般の御配慮をお願ひしたいと[illegible]その他に[illegible]辭去した

須田商工課長
三十一日歸臺

米穀統制調査會の使命を帶びて上京中であつた總督府の須田商工課長は會議の都合により更に二日間出張を延期し三十一日歸臺する旨二十一日總督府に入電があつた、尚平塚總務長官の歸臺も右會議の都合により或は延びるやも知れぬ

山之內一次氏逝く

【東京二十一日發電通】貴族院議員山之內一次氏は十一月初め盲腸の切開手術を受けて以來鐵道病院に入院加療中の所二十一日午後一時三十五分遂に逝去した享年六十七歲

田端專賣局長
廿一日東京發

【東京支局二十一日發本社特電】田端局長は愈々本日東京驛發歸任の途に就いた既報の如き日程に依り京阪方面視察の上歸臺の[illegible]模樣である

新竹市の名刺交換會

【新竹電話】新竹市にては恒例により一月一日午前十時から公會堂に於て官民合同の名刺交換會を開催すべく出席希望者は二十三日までに市役所へ申込まれたしと

御眞影傳達式

總督府では二十三日午前十時から會議室に於て臺北州(郡下)[illegible]の御眞影(各市郡役所に於て奉戴するもの)の傳達式を行ふ

上海金票暴騰

【上海二十一日發電通】本日の上海金票市況は八百十兩八分と始まつたが漸上向き引値は八百十六兩九分と暴騰した

瑞穗丸神戶出港

【神戶二十一日本社特電】瑞穗丸は定時出帆した[illegible]

督府辭令

十二月二十日
督府醫院醫長　畠山　長作
依願免本官(內閣)

十二月廿一日
督府土木事務官　愛村彥十郎
財務局主計課長中島一郎不在中代理を命ず
督府事務官　江藤　昌之
財務局　主計課長不在中　代理を命ず

十二月十九日
督府醫院醫官　山宮　忠議
澎湖醫院長事務取扱を命ず
督府事務官　玉野代治郎
警務局長友部泉藏不在中代理を命ず

吉野丸より
（來航）

門司發以來逆風强かりしも今朝より平穩二十二日午後一時半港外着、安武文教局長、荒木中研技師、酒井基隆運輸新所長、故伊藤飛行中尉遺族(二十一日著無電)夫人、鼓井經十夫人、池田師範生六十名等で門司よりは天華の一行六十餘名正月興行で渡臺する

人事

▲今川臺南州知事　二十一日出府の筈
▲今井花蓮港廳長　出府中(鐵道)
▲守屋和郎氏(福州領事)　二十一日福州へ
▲立作太郎氏(東京帝大教授)　二十日來臺(鐵道ホテル)
▲土田登喜男氏(海軍機關中佐)　二十日來臺(吾妻)

シナチク

藤派の一驍將として世間から注目されてゐた山之內一次さんが不意に逝去した、閣僚二年生れと言へば六十七歲まだ惜しい、殊に樞府入りが眼前にブラ下つてゐた際とて本人としても頗る不本意だつたらう▲二十三年の東大出で內務省で[illegible]縣の知事や遞信省鐵道局

商業登記公告

●株式會社日東商船組(支店設立)[illegible]臺北地方法院[illegible]

●產業組合登記公告[illegible]臺北地方法院新竹支部

[illegible]

右昭和七年拾貳月拾九日登記　臺北地方法院

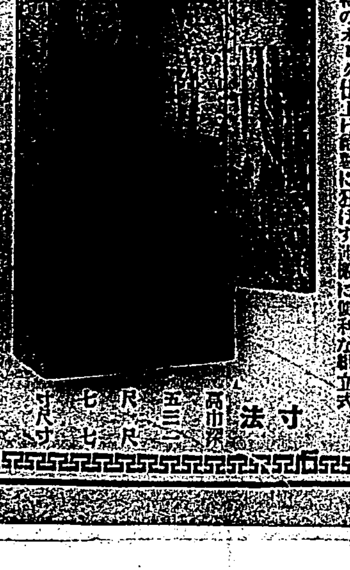
物品購買公告
[illegible]十二月二十七日午後二時限リ入札[illegible]
臺灣總督官房會計課

臺南名醫紹介
內科醫院
內科小兒科　井田醫院
內科小兒科　伊藤醫院
內外科皮膚科　回春醫院
內科外科小兒科レントゲン科　庄司醫院

大阪商船　出帆
近海郵船　出帆
大連汽船　出帆
代理店　山西丸二組
[illegible]

明春一月一日午前十時臺北鐵道ホテルニ於テ新年交禮會相催度候間御贊成ノ諸君ハ本月二十六日限リ(會費一名金五十錢ヲ添ヘ)鐵道ホテルへ申込相成度候
昭和七年十二月廿一日
發起人　西澤義徵

定評ある日本樂器特製の組立式高級洋服箪笥
寸法
[illegible]
日本樂器會社臺灣出張所　木工部
臺北市新起町　電話[illegible]



最上醬油　マルキン
大景品附
△壜詰　一本ニ付　硬質陶器小皿　二枚
△小樽　一丁ニ付　味付のり角罐　一個
進呈
〆切迫る！
御家庭向御進物に絕好品！
△壜詰二本立ての美粧籠無料呈上
△各地販賣店及購買組合にあります

嗚呼　遭難早蕨

まるで戰場の如な　要港部の緊張（2）

そして、展開される新聞戰！

馬公駐在員　加藤生

事件發生當夜即ち五日の夜から馬公要港部では山內司令官を始め伊藤（新任）參謀、鶴岡參謀、敷副官、土手參謀、高島機關長、川手軍醫長、今井主計長等の各幕僚は總て救護搜索の指揮其他で大車輪の活動をなしてゐる、國旗其他總動員で夜晝の別がない緊張振りの活動であつた、全く戰時の樣な光景を想像させられた、肝腎の參謀長（前任）水戶大佐は出發後、鈴木參謀長（新任）は未だ着任して居ない時の出來事で參謀部の忙がしかつたことは全く御話にならない、水戶前參謀長は一日發令で、早々三日の夜出發赴任した、あと二日延ばしたら此事件にぶつかる所だつたが、頭のよい人は運がよい、船中で此重大事をラヂオで聞いて魂消たらうと云ふことだ

× ×

頭のよい人必ず運がよいとは定まつて居ない、同じく一日に練習艦隊キヌの通信長に轉勤した、土平參謀は五日赴任とした丈けに、赴任所か最も忙しかつた通信事務で、後任齋藤參謀が着任する十三日の夜迄連日連夜不眠不休での御加勢至く御氣の毒千萬であつたが、出發に際してこれで馬公は一生忘れられない印象を持つて歸ると云つた、成程一生忘れられないであらう、七日の夜着任した鈴木參謀長は最も忙しい最中に乘込んだので着夜から參謀長室に詰切り連日連夜不眠不休の態である、名海軍武官として臺北に時めいた鈴木サンの大將盛の參謀長としてこれからの敏腕が期待されてゐる、明るい朗かた正しい鈴木サンに依つて更に一段と部內の空氣が一新するだらう

× ×

七日夜には天下の大事件丈けに臺北から續々と井上大佐文局長、高橋大朝が乘込んで來た、愈々當夜から猛烈な新聞戰線の幕は切つて落された自動車の往復が益々要港部間に其度が增して來た、御陰で海底線は故障不通、事件發生と同時にウナ官報の激增と新聞電報で手廻り兼ねて居た、川上電信係長以下電信員は是こそ不眠不休で漸く無線で間に合せて居た所に此二大新聞の乘込みは第一電信係員を泣かした、何と云つても何時も故障勝ちの海底線とは云へ時が時折も折先般來海底線はフツツリと切れて居る、元來澎湖の海底電線は昔から大事件突發時に不思議に故障が起ることをその特徴として居る、前述の樣に人的には泣いて不眠不休であるか物的に如斯有樣に從つて電報が自然遲れ勝ちなのは又萬々止むを得ぬ所で、此當軍部の不機嫌が時が時だ全く當然過ぎる程當然である

× ×

日は日に新聞戰線に火花は散るかりなればなる程八人藝で大車輪の鶴岡副官の忙しさを增すばかりだ、併し何と云つても軍部だ、或程度の秘密は其生命である、如何とする事は出來ない、雙方の立場を好く諒解し合ふ可きだが時偶非禮に緊じ切つた結果殺風な珍劇が演出される、九日便船で島內新聞が着いた、ラヂオの放送で事件の內容が愈々詳細になつて來だした、木家本元が顏を赤くせねばならぬ稀かどし〳〵逆輸入される樣に成つて來た、愈々緊張せねばまぬ立場となつて來た、第十三驅逐隊が馬公に入る、潛艦搜査員が來ると云ふ事になつて要港部は一段と緊張して來ると同時に、新聞戰線は益々強化し切つて來た

死して護國の鬼となる　伊藤中尉慰靈祭

上條中佐委員長となり　二十四日軍官民一致執行する

故伊藤中尉の慰靈祭は既報の如く二十四日午後二時より屏東公園で執行されるが飛行聯隊を中心に上條中佐を委員長とし金丸少佐各係長となり當日は公園廣場に總て大天幕を張つて祭典を設け途中行列を廢し街行社を係員割り、街役場を會葬者休憩所にあてるか郡役所、街役場、消防組、在鄉軍人分會等街住民も擧つて諸般の準備に參加し名實共に軍民合同の慰靈祭とすることになつた

ドン底生活者　臺南州下に十萬餘人

戶稅免除調べに表れた數字

【臺南電話】社會事業協會臺南州部の調べによれば本年度に於ける臺南州下の戶稅免除數は一萬八千七百二十九戶で全戶數の八パーセント七となり之を人員に見積もれば一戶五人强宛として約十萬人を越し全人口百三十萬に對し八パーセント三强に當る、而して被稅免除者は年産五十圓以下のものであるからつまり毎月八十七錢一日僅か三錢弱で一家實に五人の露命をつないでゐるドン底生活者が州下で十萬人ゐる形になつてゐる

遭難早蕨の勇士の靈へ

千葉の一女性が供物

去る十七日馬公要港部司令官宛に一女性から香奠の一封書が配達された、無論女性の手になる水茎の跡も美はしいそれであつた、これを受取つた鶴岡副官は一體此殿た封書は何だらうと披に開つて、おそる〳〵司令官に差出すとその中味は斯樣である

遭難者は私に取つて懷しい第二の故鄕で御座います、今度の事件は何と、悲しい出來事で御座いませう、一日も早く艦と共に皆樣の御死體の上らんことを、はるかに千葉の一隅から神かけて御祈りします、無禮をかへりみず、私の心ばかりの供物で御座います、御勇士の方の御英靈に御そなへくだされば嬉しく存じます

一女性

司令官閣下

とあり、小爲替金五圓か封入してあつた、尚別封に七五錢の郵一錢が入つてゐた

木瓜山拂下に伴ひ　鐵道線新設か

花蓮港鐵道出張所で內調査

【花蓮港電話】花蓮港木材會社の事業地として木瓜山の搬出下許可實現の暁に各方面地方産業開發の上から希望が見えたか、花蓮港鐵道出張所では右許可の暁、を希望して搬出する鐵道線を敷設のため種々調査の上プランが建てられた模樣で右案は目下三案で初音驛から能高 **道路** に沿つて敷設するには吉野驛出口から旅館駐在所までは斷崖及び吉野驛附近の關係から不可能であるし、初音驛は八十分勾配があるため構內擴張不可能だた樣であるから木瓜驛構を設つた豐田驛の方から塗床に沿ひて敷設するが有利らしく、その案車を現在の初音驛と豐田驛の中間木瓜溪南側を大體の基本として路線のつけ方も三つの **腹案** がありその一案は銅門から同所まで持つて來た線を勾配を緩めるため一旋廻して停車場で高低のバランスをとり、第二案は現在能高道路側を渡つて木瓜溪に一架橋をなし前記の箇所に到達する第三案は第一案同樣であるが旋廻を小さくする等の案が樹てられてゐる、今回 **許可** さるべき木瓜山事業地は初音驛の鐵道線路を起點とし十二哩であつて搬出は非常に近距離である、附木場は銅門附近か鯉魚池或は木瓜鐵橋の下手あたりになる模樣である、前三案の鐵道敷設が何れの案が實現するとしてもこれに伴つて自動車道路か開鑿されることになるらしいから鯉魚池は名勝として生きてくるであらう

臺南聯隊入營式に於ける澤邊中佐の勅語奉讀

苗栗郡業佃會農事講習會

新竹州下苗栗郡聯合業佃會にては積極的に農村の振興を圖する爲各種の講習會を開催し農民自體の知識を向上するばかりでなく之に依つて農民の融和と當局との連絡を密接にし施設獎勵事業の徹底を圖る上に好結果を得つゝあるが今回更に十二月十九日から二十三日まで苗栗街俱樂部公會堂に於て第二回農事講習會を開催する事となつた、講習生は苗栗十名、頭屋一名、公館六名、銅鑼十名、三叉五名、苑裡六名、通霄三名、四湖九名、計五十名にて講師及び講習科目は左の如し

産業五十年計畫	李勸業課長
農務一班	石設技師
四、政及農業經濟	小沼州囑
米作	松浦州囑託
畜産	今村州技手
林業	上田森林主事
苗栗郡の産業	吉原郡屬
科外講演	總督府係官、池田郡守、阪本庶務課長等

新竹支會の實務競技會

産業協會新竹支會主催實務競技會は十八日午前八時半から新竹公會堂にて開催、出席役員六十名稻田主事の注意があつて簿記、珠算の競技が行はれたが採點の結果左記諸氏入賞、賞品の授與、加藤協會主事の講話があつて午餐を共にし午後二時散會した

一等	八塊信用組合	邱永川君
二等	頭分信用組合	劉清麟君
三等	北埔信用組合	蕭雲樵君
四等	桃園信用組合	林滿榕君
五等	大湖信用組合	邱新財君

斗六郡下の産業道路品評會

二十二日擧行される

【臺南電話】産業開發を州治の根本方針として進む事を標榜して赴任した今川臺南州知事はその第一着手として産業道路開鑿及び改修に努め現在州下各方面で著々その實績を擧げてゐるが斗六郡に於ては州下で最も早く手をつけられただけ殆ど豫定通りの開鑿又は改修を終へるに至つたので同郡では出來上つた道路の品評會を二十二日午前七時から行ふ事となり各派出所管內別に視察して成績如何を定める筈である、この日は州下でも惠まれてゐない北門、新營、新化、曾文、北港五郡の各郡課長が特に見學をなす事となつてゐる

屏東郡小公學事打合會

【屏東電話】屏東郡小公學校長學事打合會は二十一日午前十時より郡役所會議室で開催、青少年大會に關する件外七件を附議してそれぞれ協議正午散會した

嘉義市役所倉庫に　一年間巢喰ふ賊

實は劍戟ゴツコの小勇士數名

【嘉義電話】本月中旬嘉義市役所一隅倉庫內にマツチその他のものが置かれ、書類が破られてゐたりしてゐた事が發見され不思議な事として當局で搜査を續けてゐたが右は嘉義市北門町三ノ三一村田猪之孫村田道（八つ）外七名全部內地人の兒童連が學校から歸つて同倉庫に忍び入り舊劍戟で習つた劍戟ゴツコ等をして遊んでゐたもので昨年末から今日迄約一年間續けられてゐたと、嘉義署では夫々父兄を呼出し嚴重戒告する所があつた

臺南籾代行會社　愈よ創立されん

資本五萬圓拂込み濟み

【臺南電話】臺南の籾代行會社の創立は一時立消えの成行を示してゐたがその後米商組合の諮問が高雄米市場創立に刺戟されたものか最早考慮してゐる場合でないと云ふ見地から急に創立に傾き昨今市勸業課の援助をうけ定款の作成中であるか代行會社は差當り籾取引を主とし將來は移出米をも代行する計畫で資本金は取敢ず五萬圓拂込み濟みの株式組織とする事に決定し創立を急いでゐる

臺南局の窓口

郵便小包共斷然激增

【臺南電話】臺南郵便局では二十日から年賀郵便の取扱ひを開始したが當日の引受け數三萬九千通で昨年同日に比し一萬四千通の增加を示した、小包は十二月一日から二十日の引受け四千百三個で昨年に比し一千二百三十八の增加である、又二十日引受け五百八十九個で觀音竹の子等である、又昨年の小包引受は一千三百が最高であつたが本年は便船が二十六日出帆となつてゐるから二十四五の兩日が最高引受數に達する見込である

籾の山崩れ　煉瓦塀潰る

【屏東電話】屏東街二六米穀商屋陳金歐方の部屋一杯に野積にしてあつた籾四千五、六百袋の山が二十日午後四時過その一角から崩れ出し凄々と物凄い音を立て落下する勢ひに頑丈な厚さ二尺もある煉瓦塀二、三間をへシ潰し道路へ溢れ出し水牛一頭が危ふく[illegible]を負つただけで他に別に被害はなかつたが一時は大騷ぎであつた

石氏篤志【宜蘭電話】宜蘭街方面委員石鑑選氏が故父君の葬儀費より五十圓社會事業助成會他に五十圓を街圖書館へ寄附父親日照氏は故母君の遺志に基づき助成會へ三百圓寄附街方面委員[illegible]氏も故母君の葬儀費より二百圓を助成會へ他に愛國婦人會へ百圓を夫々寄附した

屏東稅務團　法政に當る

【屏東電話】法政チームの來征を控へ屏東稅務團では稅務廳をして對戰させることとなつた同團では公園グランドも完成したので十九日より猛練習を開始してゐる尚同チームのメンバーは左の如し

監督杉尾、諸澤、主將吉富、選手井口、吉富、山田、島田、田淵、伊知木、植野、山口、黑瀨、村上、本田、川田

長崎文明堂の　一割引大賣出し（自十二月二十一日　至十二月三十一日）

カステーラ

地方送りは叮嚀に荷造りの上全責任を以て發送致します

長崎文明堂本支店

振替福岡六一三四

有隣信組役員會

【高雄電話】高雄市有隣信用組合第一回役員會は二十一日午前十時から市役所で開催、來る二十五日開催の第一回臨時總會に附議すべき最高限度貸付金額決定の件、借入金其他に關し種々打合を行つたが總會は二十五日午後一時から公會堂で開催の豫定

オール高雄のメンバー決定

每日猛練習を行ふ

【高雄電話】既報の如く來春五日の對法政戰に備ふべく全高雄軍は去る十七日から西子灣球場にて連日練習を續けてゐるがメンバーはこの程來高雄官民各實共側關係者の間で **銓衡** の結果左の如く州體協野球部係員のメンバーの決定を見た

監督酒松、主將內海、內野、八文字、本田、德澤、北條（以上[illegible]）、[illegible]、馬場、川崎、福置（以上築港）閻生（貿榮）

殘り八名も　廿一日歸還

【高雄電話】既報マニラにおいて[illegible]區域內に立入り同地官憲の[illegible]にふれ十七日高雄入港のバタビヤ丸で送還された[illegible]の[illegible]八名の乘組員は廿一日午前八時入[illegible]メキシコ[illegible]

廿三日高雄驛　通過屏東へ

【高雄電話】滿洲で名譽の戰死をとげた屏東飛行聯隊附伊藤中尉の遺骨は二十三日午前八時二分高雄驛經由屏東聯隊に護送の豫定である

三菱商事更迭　披露午餐會

【高雄電話】三菱商事高雄出張所長の更迭披露午餐會は二十日正午公會堂で開催、出席者六十餘名に上り先つ田中、富永兩氏の挨拶、野口知事の謝辭があつて最後に小林市尹は盃をあげて兩氏の健康を祝し田中氏又一同のため乾盃して一時半頃散會した

屏東愛婦の　新年交禮會

屏東愛婦幹事部主催の婦人交禮會は一月五日午前十時より末廣亭で開催、餘興福引、茶菓や手踊りなどあつて折詰の會食で會費一圓、子供同伴の時は三十錢增し二十二日までに同幹部へ申込の事

御紋章染拔　紫縮緬を　宜蘭小へ寄附

【宜蘭電話】宜蘭街在鄉軍人福地一郎君が時局に感ずる所ありて京都へ註文の御眞影御前に垂れる菊花御紋章を染込んだ紫縮緬の幕一張を宜蘭小學校に二十一日寄附した

伊藤中尉遺骨は　廿三日臺中通過

【臺中電話】北滿七星附近で名譽の戰死をとげた屏東飛行聯隊の伊藤中尉の遺骨は二十二日夜の下り行で臺中驛通過屏東に向ふにつき臺中市在鄉軍人會第三大隊の將校らは臺中驛で送迎すると

キセル乘り犯人　は曲者と判る

【嘉義電話】既報桃園から臺南へ歸る途中新竹嘉義間のキセルに乘つてやらうとして嘉義驛員に發見された自稱臺南市末廣町二の一一九郭明の長男郭金海（二〇）は嘉義署[illegible]部補の許で取調べの結果同人は臺南市白金町四の四九蔡金水（四〇）と云ひ前科一犯の曲者と判明二十二日臺南地方法院嘉義支部檢察局へ送られる事となつた

御眞影奉安庫　落成式擧行

臺南州新營郡新營小學校に於ては御眞影奉安庫は此程竣工したので二十三日午前七時半より落成式を擧行同時に御下賜の御眞影の奉遷、奉送、奉迎式及奉拜式を擧行する事となつたが當日奉迎に係はる役員は左の通り決定した

一、奉迎係　田中、岡野、井上外八名
一、奉拜係　菊池、[illegible]外五名
一、設備係　野津、正司、三代三
一、接待係　[illegible]接手外六名
一、湯茶係　新營庄役吏
一、警備係　警部、金子內勤主任外各巡官
一、祝賀係　後藤局長、五十里庄助役外庄吏員
一、救護係　公醫山田氏

壹岐丸入港延期

【馬公二十一日發電】定期船壹岐丸は本日荒天のため入港を延期し二十二日入港の豫定

女の手前　相客と大喧嘩

さて其後は？斷然逃げる

【嘉義電話】嘉義市西門町六の二魏鄉（一九）及び同市北社尾四七七番東成（二〇）の兩名は二十日午後七時頃市內西門町遊廓金花亭の娼妓張氏玉霞（一七）同陳代秀琴（二〇）の兩名を連れ出し同町七の一〇下宿屋日英館に泊り込み酒氣を帶び騷ぎをはじめ投宿中の客から抗議を申込んだが女の手前「何を生意氣なッ」と逆に投擲に喰つてかかつたので **大喧嘩** となり雙方ともに西門町派出所の警察官現場へ急行し魏鄉、張氏玉霞、陳代秀琴の三名は檢擧されたが、東成は巧に逃走して了つた、二十一日鈴木司法主任は魏鄉を違警例違反として拘留十五日間張氏玉霞、陳氏秀琴の兩名は娼妓取締規則違反として各拘留一週間のお灸をすゑられた

屏東郡警察課　俱樂部落成式

屏東郡警察課では豫て課員の統一修養と慰安の爲め郡役所前へ[illegible]な俱樂部を建築中であつたが此の程落成したので二十六日午後四時より主なる地方の有志を招待して落成式を擧行するが、建物は三十[illegible]

家中無一物から　氣が狂ふ

【嘉義電話】新竹州[illegible]大正一九二[illegible]は十數日前嘉義市に舞込み[illegible]を求めてゐたが[illegible]風來坊を[illegible]てくれる所もなく懷中無一文となつて遂に精神に異狀を來たし二十日晝夜中素つ裸となつて西門町遊廓方面をウロついてゐたのを[illegible]員に發見され留置場に保護を加へてゐるが著せてやる衣類は著ずに[illegible]相變らず素つ裸の狂態を續け係員を手古摺らせてゐる

四十八歲、十[illegible]の通路とし[illegible]使所を消毒[illegible]居る外[illegible]

新竹

臨時協議會 新竹州[illegible]にては十九日午前九時から臨時協議會を開催し[illegible]に關する件、産業道路開鑿に關する件等を附議すると

青年登山 新竹青年團員を以て組織された六圖會員十名は二十四、五の兩日井上溫泉に赴き同地にて修養會の行事を行ふと

人事相談所 大田弁護士事務員秋田[illegible]君に北門に人事相談所を開設し十八日開所式を行つた

運轉手試驗 州警務部にては十七、十八の兩日公會グラウンドにて自動車運轉手試驗を行つた志願者五十八名の實地試驗を行つた

竹筏から顚落 苗栗郡通霄庄白沙屯二五〇陳能仔（四〇）は二十日午後二時半頃白沙屯海岸にて竹筏から顚落し泳ぎを知らぬ爲溺死した

大溪

學校長會議 大溪郡にては二十三日午前九時から學校長會議を開催し左の諸件を附議すると
昭和八年度豫算編成打合
協議事項四件
注意事項十四件

養鷄普及會 大溪街にては[illegible]畜鷄の改良に就き[illegible]所今回優良種鷄の普及會を創立し十八日午後一時から郡會議室にて總會を開催し規約の審議、役員依囑其他合議事項等を協議した

壯丁團檢閱 大溪郡下壯丁團檢閱は十六日午前九時から大溪公學校にて擧行直轄外八團總員二百五十名の壯丁に對し[illegible]警察課長檢閱を行ひ午後から運動競技あり終つて西田郡守の訓示、警察課長の講評あり本年度優良團に賞狀を授與し午後三時閉會した

讀者優待大福引

本社は恒例に依り**昭和八年の新春**を迎ふるに當り聊か祝意を表する爲め左記の方法で本紙月極購讀者の優待福引を擧行致します

一、日時　一月二日午前十時より午後三時迄

二、場所　從來は臺北、基隆、新竹、臺中、嘉義、臺南、高雄の七市に限り擧行したが今回は右七市の外に新に淡水、瑞芳、新店、板橋、新莊、宜蘭、羅東、蘇澳、三峽、桃園、中壢、竹南、大湖、苗栗、豐原、埔里、彰化、員林、新營、屏東、花蓮港、玉里、臺東、馬公の二十四箇所に於ても同時に擧行致します

三、抽籤券　福引の抽籤券は別に印刷して各地取次店より前以て讀者に配布します。抽籤券は各地別々で共通使用は出來ません、當日抽籤券を本社を始め各地取次店に御持參下されば之と引換へに福袋一個を差上げます、其中には景品の等級を記した桃色紙が密封してあります、この桃色紙を直ぐ取次店內の引換所に差出せば現品と引換へます、福袋には空籤は一本もありません。

四、方法　抽籤券は當日限り必ず當該取次店に御持參を願ひます、郵便其他に依る引換へは總て無效と致します。

五、當日限

六、景品贈呈　福引に加はらざる前記二十一ケ所以外の購讀者全部に對しては二日の新聞と共に別に景品として本社特製の手拭を贈呈致します

臺灣日日新報社

萬なかだち
求職一件一回　金貳拾錢
其他　一回　金七拾錢
匿名　倍額

求寫眞修正師　[illegible]基隆市[illegible]寫眞館（電話六六六）

女給十名入用　二十五歲まで　御成町　丸松　電二〇八二

女給五名入用　カフェー銀鳥　臺北市京町一　電話三九三七番

女兒男上げ度し　生後一週間位迄正しき兒希望　北大和町四ノ九　呼電二七五七　[illegible]川良之助

姙婦預り　[illegible]御成町[illegible]　電話三三七四

貸家　文化住宅[illegible]　四間[illegible]

貸家　京町[illegible]　八六三[illegible]

理髮店道具一切[illegible]　新起町二丁目[illegible]

電話百番に商品債券買入[illegible]

恩給月壹分　[illegible]臺北市[illegible]府町一丁目[illegible]

月經

眞生園

月やくの御手當は……

一日一刻も早いが肝腎です。それには永い間經驗を積み、[illegible]從來の[illegible]の如くと[illegible]。これは[illegible]ですし安全に[illegible]ません[illegible]。

御手紙下されば詳しい說明書を差上げます、又御急ぎの方は[illegible]料切手三十錢御送りになれば[illegible]御送り致します。

本舖　京都市山ノ內七十一番地　眞生園

共保生命の決算

昭和七年度中に於ける我財界は連年の不況に對し敢て好轉の資料を得ざりしも、當社は內外協力最善を竭くし豫期以上の新契約を獲得せしのみならず收支狀態に於ても良好なる成績を收め恒例に依り去る十一月廿八日定時株主總會を終了致しました

事業成績大要（自昭和六年十月　至昭和七年九月）

新契約	四千壹百拾壹萬五千圓
年度末契約總高	貳億五百貳拾四萬壹千圓
純增加契約高	九百拾六萬壹千圓
收入保險料	八百壹萬七千圓
收入諸利息	貳百四萬五千圓
支拂保險金	參百拾貳萬貳千圓
年度末責任準備金	四千貳百拾參萬七千圓
契約者配當準備金	壹百九拾四萬貳千圓
年度末總資產額	四千六百四拾貳萬貳千圓
剩餘金	七拾萬四百圓

右剩餘金は左記の通り其の大部分を契約者配當準備金に繰入れ以て我社の標榜せる加入者本位の實を顯しました

一、剩餘金七拾萬四百四拾四圓九拾四錢也（處分方法左ノ通リ）

保險契約者利益配當準備金ニ繰入レ	六二五、五四七・八四
法定準備金	四、〇〇〇・〇〇
株主配當金	二四、〇〇〇・〇〇
役員賞與金	七、〇〇〇・〇〇
特別積立金	三〇、〇〇〇・〇〇
次年度繰越金	九、八九七・一〇

昭和七年十二月

東京市芝區田村町壹丁目

共保生命保險株式會社

ぢ疾と皮膚病

保證

永年の宿疾も斷る、先づ試みあれ「試藥進呈」本舖宛申込まれよ　[illegible]

全[illegible]發賣元　[illegible]

日英米佛特許

治淋新藥　ウラルゴール

淋疾の豫防と治療に

あやしいと思つたら早速ウラルゴール短管が手中管の使用によつて豫防が出來る不幸にしてかゝつたら根本的の療法が必要である普通の療法では一時癒つた樣に見えても再發する事が多い。これ淋菌が尿道の粘膜に深く喰入つてゐるからである。ウラルゴールはその喰入つた淋菌にまで合理的に有效に長時間作用するので其の效果も期待が出來る。

各地一流藥店にて販賣す。

東京市日本橋區本町　太田合資會社

（U51）

今日の番組

J・F・A・K　十二月廿二日（木）

午前の部

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ、臺北測候所發表

【八・〇〇】全國氣象通報

【九・三〇】家庭百科問答、棉の節笥に入れて白の夏物が黄色くなりました、瓦斯の經濟的な使ひ方、學生の所謂神經衰弱と其の療法

【一〇・一〇】家庭料理獻立、揚白菜、人參の甘露煮

【一一・〇〇】日用品の小賣値段　臺北市西門市場發表、臺南市西市場發表

【一一・五九】正午の時報、氣象通報（臺北のみ）臺北測候所發表

午後の部

【〇・一〇】放送通報網ニュース

【〇・二〇】晝間娛樂時間（レコード演奏）獨唱とヴァイオリン獨奏　一、そりやさうだ（佐藤惣之助作詞山田耕作作曲）二、オ・ソレ・ミオ（カプア作曲、妹尾幸陽譯詞）三浦環　三、出船（勝田香月作詞、杉山長谷夫作曲）四、船唄（小松清作詞、ベスタロツァ作曲）柴田秀子　五、ミヌエット（モーツアルト作曲）六、長持唄（山田耕作作曲）ロバート・ポラック　七、新子守唄（山田耕作作曲）八、春のゆくへ（弘田龍太郎作曲）ポリス・ラス

【一・〇〇】氣象通報（臺南のみ）臺南測候所發表

【五・〇〇】子供の時間（熊本）「未定」

【五・二〇】子供の新聞（東京）村岡花子

【五・二五】講演（臺北）盜難並びに其他の被害豫防について（その二）臺北州刑事課長東淺次郎

【五・五五】カレント・トピックス（東京）ハロルド・バーマー

【六・〇〇】子供の時間（臺北）連續唱歌劇「森のピノチオ」その三　東門日曜學園

夜間の部

【六・三〇】講演（名古屋）性決定に關する考察、名古屋醫科大學教授醫學博士吉川仲

【七・〇〇】長唄（東京）未定

【七・〇〇】洋樂（東京）臺北のみ　未定

【七・二〇】映畫物語（臺南のみ）「情人」和泉　伴奏指揮吉平松葉

【七・五〇】連續講談（東京）羽子板娘、大島伯鶴

【八・三〇】滿洲より（奉天）

【八・四五】和洋合奏、長唄「鷺娘」唄杵屋彦男、三味線則武一雄、齋藤靜子、ピアノ猪俣英麿

【九・二〇】時報、氣象通報（臺北測候所發表）臺日ニュース（臺北のみ）放送局編輯ニュース（臺北のみ）臺南新報ニュース（臺南のみ）公示並告知事項、明日のプログラム發表

◇…ハロルド・バーマー…◇

（英語のニュース）【午後五時五十五分】

特別講演

【午後八時三十一分】

滿洲より（奉天）

映畫物語（臺南のみ）

【午後七時二十分】

▲情人

和泉　滔

伴奏指揮　吉平　松葉

松竹蒲田の今年度の大作として池田義信氏の監督のもとで栗島澄子の主演した最近の當り映畫、母性愛を高唱した涙の物語りである

家庭百科問答

【午前九時三十分】（臺北）

▲棉の節笥に入れて白の夏物が黄色くなりました

▲瓦斯の經濟的な使ひ方

▲學生の所謂神經衰弱と其の療法

家庭料理獻立

【午前十時十分】（臺北）　栗田　小梅發表

▲揚白菜　白菜大葉六枚、鷄挽肉九三・七五瓦、椎茸三個、筍小一本、煮出汁〇・四立、鹽、味の素

▲人參の甘露煮　人參大二本、煮出汁〇・六立、砂糖匙一杯、醬油大匙一杯、味の素

長唄……臺北……【午後八時四十五分】

鷺娘

唄　杵屋彦男

三味線　則武一雄

三味線　齋藤靜子

ピアノ　猪俣英麿

在來の長唄にピアノを取入れて編曲したものである

（歌詞）妄執の雲晴やらぬ朧夜の戀に迷ひし我心、忍ぶ山口舌の種の戀風が、吹くと傘に雪もつて、積る思ひは淡雪の消えてはかなき戀路とや、思ひ重なる胸のやみ、せめて哀れと夕暮に、ちら／＼雪に濡鷺の、しよんぼりとかあゆらし、迷ふ心のほそ流れ、ちよろ／＼水の一ト筋に怨みの外は白鷺の、水になれたる足取も濡れて雫と消ゆる物、我は涙にかはく間も、袖干あへぬ月影に、忍ぶ此夜の叫を捨て、誠を結ぶ神さんに、取上げられし嬉しさも、餘る色香のはづかしや、須磨の浦べで汐汲より、君の心は汲みにくい、さりとは實にまことと思はんせ、苦子の枘のひた取るよりも、主の心が取りにくい、去りとは實に誠と思はんせ、しやほんにへ、白鷺の羽風に雪の散りて花のちりしく、景色と見れどあたら眺めの雪ぞちりなん、雪ぞ散りなん惜から幻窓に心もうつろひし、花の吹雪の散りかかり、拂ふも惜しき袖笠や、傘をや傘をさすならば、てんてん日照傘、それへそれへさしかけて、いざ去らば、花見にごんせ吉野山、それへそれへ香ひ櫻の花笠縁と月日を回り來る／＼、束傘それ／＼さうぢやえ、それが評名のはしとなる、戀もそはれずあまつさへ、邪見の刃にさき立ちて、此世からさへ劍の山、一じゆのうちに怖しや、地獄の有樣ことごとく、罪を糺して閻王の、鐵杖正にありありと、等活畜生衆生地獄或は叫喚大叫喚修羅の太鼓は隙もなく、獄卒四方に眼かりて、鐵杖振上げ鐵の、牙噛ならしぼつ立ぼつ立、二六時中が其間くるり／＼追廻り／＼終に此身はひし／＼、あはれみ給へ我姿身謝るも涙なりけらし（以下略）

―臺北―【午後六時より】

連續唱歌劇「森のピノチオ」（その三）

東門日曜學園

狐と猫にだまされて、フェリーのいふことも、コホロギのいふことも聞かないで、ピノチオは不思議野に行きました。そこで金のなる木を見たでせうか、金貨がどん／＼ふえたでせうか、狐と猫はたうとうおしまひにはどうなるでせう。善い事をしたら善い子になり、惡いことをしたらキット惡い結果が來るといふ事を忘れない樣にして下さい

講演（臺北）

【午後五時二十五分】

▼盜難並びに其他の被害豫防について（その二）

臺北州刑事課長　東淺次郎

一昨日の話の續きである

講演（名古屋）

【午後六時三十分】

▼性決定に關する考察

名古屋醫科大學教授醫學博士　吉川仲

連續講談（東京）

【午後七時五十分】

▼羽子板娘―第四席　大島伯鶴

晝間娛樂時間

【午後零時二十分】（臺北）

▼獨唱とヴァイオリン獨奏

一、そりやさうだ　佐藤惣之助作詞　山田耕作作曲　三浦環

兵隊さんの色の黒いな　愉快だが
町の娘ナ　さにあらず
セ・ブレ・セ・ブレ　セ・ビアン
ユ・ブレ　セ・ブレ　セ・ビアン（以下略）
船長さんの氣の荒いのは愉快だが
床屋の娘ナ　さにあらず

二、オ・ソレ・ミオ　カプア作曲　妹尾幸陽譯詞

和風は　そよと吹きて
晴々と　太陽は輝く
嵐去りし　清き空に
われ身には　いとしの
なれのみぞ　太陽と照る
ああなれのみぞ
ときはの光よ（以下略）

三、出船　勝田香月作詞　杉山長谷夫作曲　柴田秀子

今宵出船かお名殘惜しや
暗い波間に雪が散る
船は見えねど別れの小舟に
紬ちや千鳥も泣くぞいな（以下略）

四、船唄　小松清作詞　ベスタロツァ作曲　柴田秀子

狹霧は立ちこめさざなみくだけ
流れにゆられて舟はただよふ
水の上こむる　あやしの夢よ
空には輝く　しろがねの星
やさしのそよ風こだまを運びて
わが歌ひびく　えいやらほ（以下略）

◎ヴァイオリン獨奏

五、ミヌエット（モーツアルト作曲）

六、長持唄（山田耕作作曲）

ロバート・ポラック

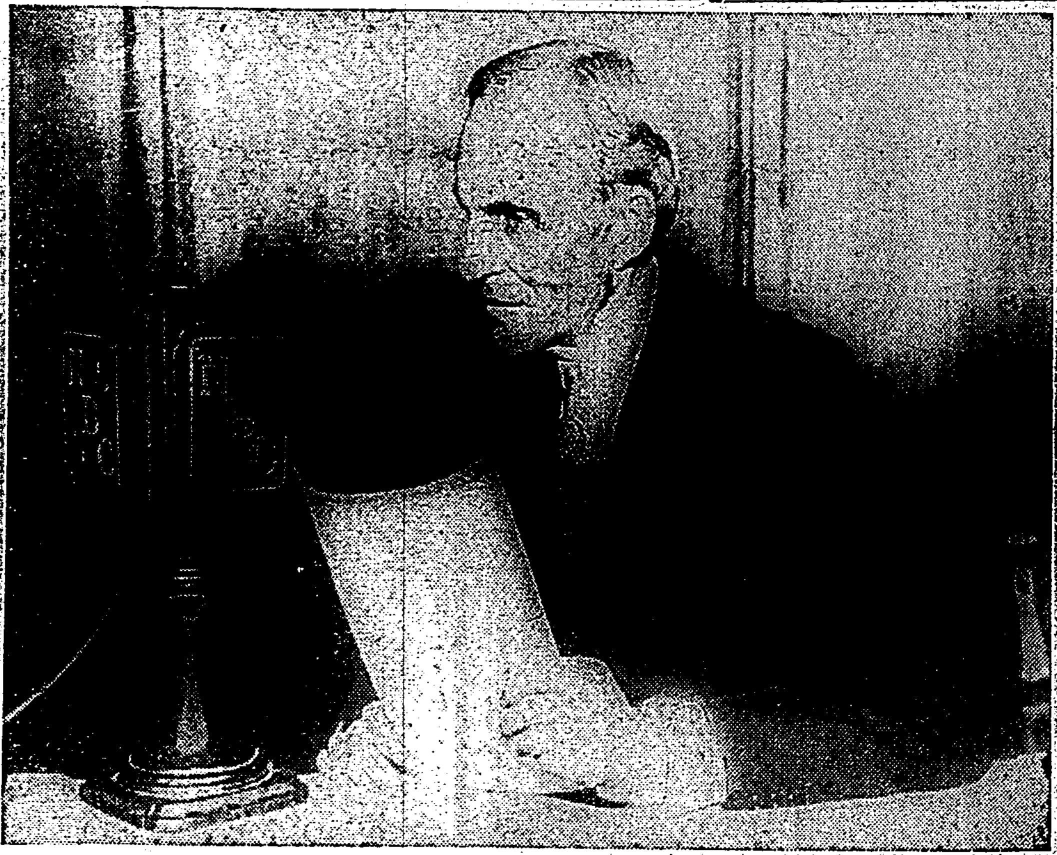
ポラック氏は現在東京音樂學校の教授でウイーンにて名聲を博してゐたヴァイオリニストである

七、新子守唄（山田耕作作曲）

八、春のゆくへ（弘田龍太郎作曲）

ポリス・ラス

ラス氏は南ロシアの生れ、アウエルの門下、二曲とも日本の曲を編曲したもの



自動車王フォードが政談演説を放送

自動車王フォードは大のフーバーびいきですが、そのフーバー氏の爲に生れて初めての政談演説をしました＝寫眞はフ氏の政談放送振り

何が現代文明を危機に導いたか（上）

菅　圓吉

歐洲諸國

を遍歴して來て痛切に感じた事は、世界は今危機に瀕してゐると云ふ事である。歐洲では『危機の哲學』だとか『危機の神學』だとか『危機の文學』だとかいふ言葉が流行して居るが、さういふ言葉が流行するのは其の背後に彼らの生活が危機に瀕してゐるからである。我が國に於ても最近『非常時』と云ふ言葉が流行して來たが、之はとりもなほさず危機と同意語である。歐洲の――否、日本の、從つて世界の危機とは何か？私は

世界が今

や大轉回をしやうとしてゐる瞬間を云ふのだと解する。古い言葉を用ゐれば全世界は今將にひつくりかへらうとしてゐる或はもう少し樂觀的な言葉を用ゐれば全世界は今將に大改造を受けやうとして居る、世界が破滅して新しい世界が生れ出やうとする息づまるやうな瞬間――之が現代人の直面せる生活の事實である。嘗てイエスが『天國は近づけり汝等悔い改めよ』と云つた時もかうした時代であつたのであらうと思はれる。だが

此の危機

は抑々何に原因してゐるのか？ある人は此の危機の原因を世界大戰に置く、時間的にはさうでもあらう、ある人は個人主義的經濟機構に置く、さうでもあらう、然し私は此の危機の眞の原因は更に深い所にあると思ふ、否、更に深い所にある原因を見ぬかぎりは、此の危機からの救ひはあり得ないのだ、然らば此の世界的危機の最も深い原因は何か？それは人間中心主義だ、今迄の文明は一言で云へば人間中心主義だつた、ヒューマニズムだつた

現代文明

は人間の智慧と力とだけを土臺とした建築の如きものである、機械文明、資本主義的經濟機構、個性發達主義、自由平等主義等々――これらは總て人間の智慧と力とによつて人間の幸福と發達とのみ目ざしたものに他ならない、だが人間が自分の幸福と快樂との爲めに築き上げやうとした文明は皮肉にも今や人間に喰つてかかつて來た、人間が自分の努力をはぶいて樂をしやうとしてつくり上げた機械は、今や人間をおびやかして來た、人間が

機械を作

つたが爲めに工場では人間よりも機械を使用する樣になつて、此處に失業、就職難が出現して來た、人間は自分のつくつた機械に今度はひきずられて行くと云ふのが、所謂ロマンローランの『機械の反逆』と云ふのが機械文明の現狀である、ドイツのベルリン程おそらく機械文明の發達した都市はあるまい、而も彼らは今は其がために苦んで居る

資本主義

はどうか？各人が自分の能力を自由に發達させると云ふ基本主義に基いた資本主義的經濟機構は、今や逆に人間を壓迫して來た、各人が自由に富をつくる所か、富は一方に偏つて獨占され、富める者は益々富み、貧しき者は益々貧しくなる、人間が自分達の幸福獲得を目ざして考へ出した組織は今や人間を反つて不幸ならしめつつある、自由主義はどうか？個人の自由と平等とを高調する所謂デモクラシーは今や文明の

水準を高

めないで、却つて文明の低下をもたらしてゐる、デモクラシーは今や官僚とモップの力にひきずりまはされつつある、かうした文明のプロセスを見て或人はそれは人間文明の辨證法的發展だと云ふだらう、それでもあらう、だが私は今、哲學的基礎付けをしやうとしてゐない、事實、人間中心の文明は今や人間の生活を危機に導いた、此の危機から我々を救ふ救濟を私達は欲しいのだ、野球の言葉を用ゐるなら、我々は今ピンチヒッターが欲しいのだ、しかし

問題は誰

をピンチヒッターに選ぶかだ、コムミュニズムかファッシズムかナショナルソシアリズムか？我々の前には自分こそ本當の救濟主だと自稱するピンチヒッターが多い、しかし我々は此のピンチヒッターの美しい言葉に眩惑されてはならない、彼等は經濟組織の變革、文明の方向轉換、政治組織の改造をとく、然し依然として彼らの頼る所は人間の智慧と力とに他ならない（續く）

行く秋

安成二郎

朝々の寒き霜への芭蕉の木はいまだ霜降らず玉巻きつづく
逸早き紅葉をめでつ百姓の植ゑゆきし木の何とは知らず
水とりしあとをそのままに畔のへの絲瓜は秋風に乾びて行くも
夜深くこよひも試驗勉强の子の讀みゐるは西洋史なり
貧しく我が働きし年頃に我が子等もすでに近くなりたり

十一月五日夜冬神鳴烈しく鳴る

世のさまの平らかならず時じくの神鳴すごく七八たび鳴る
すさまじく外の面の森に吹きつのる颱風の音をひそまりてきく
寐ねがての我が枕べに颱風の雨は音して降りて來にけり
風向きの變りたるらし降りつのる雨の音して今は降り來ず
颱風の明に見れば我が窓の擇の大樹は落葉しつくす

臺日歌壇

安成二郎選

老の身の心さびしも宵早くつかれてねむるくせづきにけり　淡水　酒井スス子
いぶかしげにわれを見る子あり口少しあけて立ちをり道のかたへに　板橋　梶塚　[illegible]
默々と草を喰みゐる水牛のしづけき影は水にうつれり
おのづから吐息しにけりさ夜床にわがものもひにうみはてしとき
樹檎の病葉舞ひて足もとに落ちしひとひらをひらいて見たり　蕃薯寮　加藤　美
山鳩い鳴く森近き家の朝をたのしみただに過せり
西陽は日射强ければ宵すぎてうすら穢れる壁のぬくさ　布袋　弘田　朗子
月光のくまなき庭にしづもりて夏闌の花ほのかに見ゆ

最近著の新刊

△シルビア（第四號）△尺八界（十二月號）△少女倶樂部（一月號）△ソヴエート評論（十二月號）△若草（新年號）△自然科學と博物館（十二月號）△中央佛教（十二月號）△話の時代（十二月號）△

昭和八年　刷新　斷行　博文館日記

贈品總額五萬圓大懸賞附

餘日少し早急御用意あれ!!

獨特の要覽大附錄

當用日記　重寶日記　學生ダイアリー　英文日記　婦女日記　園藝日記　懷中日記　ポケット日記　キング・ダイアリー　家庭日記　小學生日記

急告!!

五萬圓大懸賞當籤者發表雜誌は今般都合により「新青年」講談雜誌各四、五月號誌上に變更致しました。此段御了知願上げます。

賣捌　全國書店　百貨店

東京市日本橋區本町三丁目　博文館　發行（振替口座東京二〇番）

固形白粉とは何か？

◇序でながら含鉛白粉にくれぐれも御注意の事

六代目　尾上菊五郎丈

愈々來年限りでもつて、暗じかつた含鉛白粉の製造も禁止されることに成つて居るのですが、最う然し此鉛の白粉の怖さの事は、世間に充分徹底して居て、然んな恐ろしい物を見す／＼使つて居る人は無さゝうに思ふのですが、何うして實際はなか／＼然うでは無いので、と云ふのが、如何にもまだ澤山然うした白粉が世間に在るので、油斷が成りませんのです。之は其道の方から伺つて

今更に吃驚した

事なんですが、何でも内務省の衛生試驗所で調査された所に依ると云ふと、明治三十六年に三十二種の白粉それも無鉛と稱して居たものを調べた所が、其中の十二種が立派な含鉛白粉であり、――立派なも妙ですが、兎も角も――次に同じ三十九年には片端しから調べた四十四種の白粉中に、實に三十三種もの含鉛があり、それから大正十年に百十八種を調べたら、五十三種も同じく含鉛であり、又近くは昭和三年に七十二種の白粉を調べましたら、また十八種から鉛が入つて居た、と云ふのですから、現在の今にしてからが、國内全部の白粉を片端しから試驗して見る段に成つたら、吃驚する程も含鉛白粉があるに相違はありませんのです。何でも此

鉛の白粉の問題

は今から三十年も前に既に在つたのださうですが、之に代る好いものが無かつたので當分の間と云ふ譯で今日の樣な事に成つて居たものださうですが、御承知の近年に成つて例の二酸化チタニウムと云ふ原料が現はれ、衛生試驗所で嚴密な試驗をされました結果、白粉の原料として至安へ無い事を認められました次第で、彼れ之れと稱する白粉が出る事に成りましたのは御承知の通りです。ところが、です。此二酸化チタニウムと云ふものは全く良い白粉の原料には相違無いが、然しそれは其扱ひ方、詰り白粉原料としての使ひ方に依る事で、

素晴しい白粉

にも成ると同時に、然程でも無い白粉にも成ると云ふのです。それで御承知の通りに、最も早く研究をして、同時に最も巧く白粉の原料として扱ふに成功したのがサーワ白粉で、委しく云へば、此チタニウムに或る特殊の成分を巧みに配合して成功したもの、此白粉こそ私も最初から愛用し、又世間の皆樣方にも非常な大にしてお奬めして居るもので、最近は又益々優れた白粉に成つて來て居ります。斯んな事は今更私から申上げなくとも、此方面に御注意なすつて居られる方はとうに御承知の事で御座いませう。

固形白粉といふ

珍らしい種類も出來ました。此固形白粉といふのは、可愛らしく美しい小函の中に優雅な紙包みに成つて入つて居ります固形の白粉で、使ふ度毎に要るだけ取分けてもよし、或は全部一度に何か器の中へでもよし、清水で能よく溶解して使ふだけの事で、薄く溶ければ薄化粧、又濃く溶けば濃化粧と云つた譯で、至極簡單にお化粧できるのが此サーワ固形白粉です。何かの僅で手輕に買へるのですが、其白粉としての價値は他のサーワ白粉と全く同樣で、一口に云つて從來に無い鮮かな

生々として明るい

お化粧ができますのです。それで皆樣に白粉が要らないと云ふのが今ずつと明るく美しく冴える仕上りなのに分子が誠に細かくて三倍以上も伸びる力が有るから、で、厚着は勿論良し、同時に薄くも美しさが變らず、尚驚く程化粧が崩れませんから時が經つても化粧保ちがよいのです。それから矢張同じいお香があり、白色の他に肌色もあります。又照りもよければ、紫外線を反射する性質があるから、日焼けはしないし、眞夏の光線にも決してしみが出来ず、殊に斯んな振つて白粉と云つた次第で特長は全然他のサーワ白粉と同じ事です。

一體此固形白粉と云ふものは從來の無鉛白粉では出來なかつたので、我國白粉界の

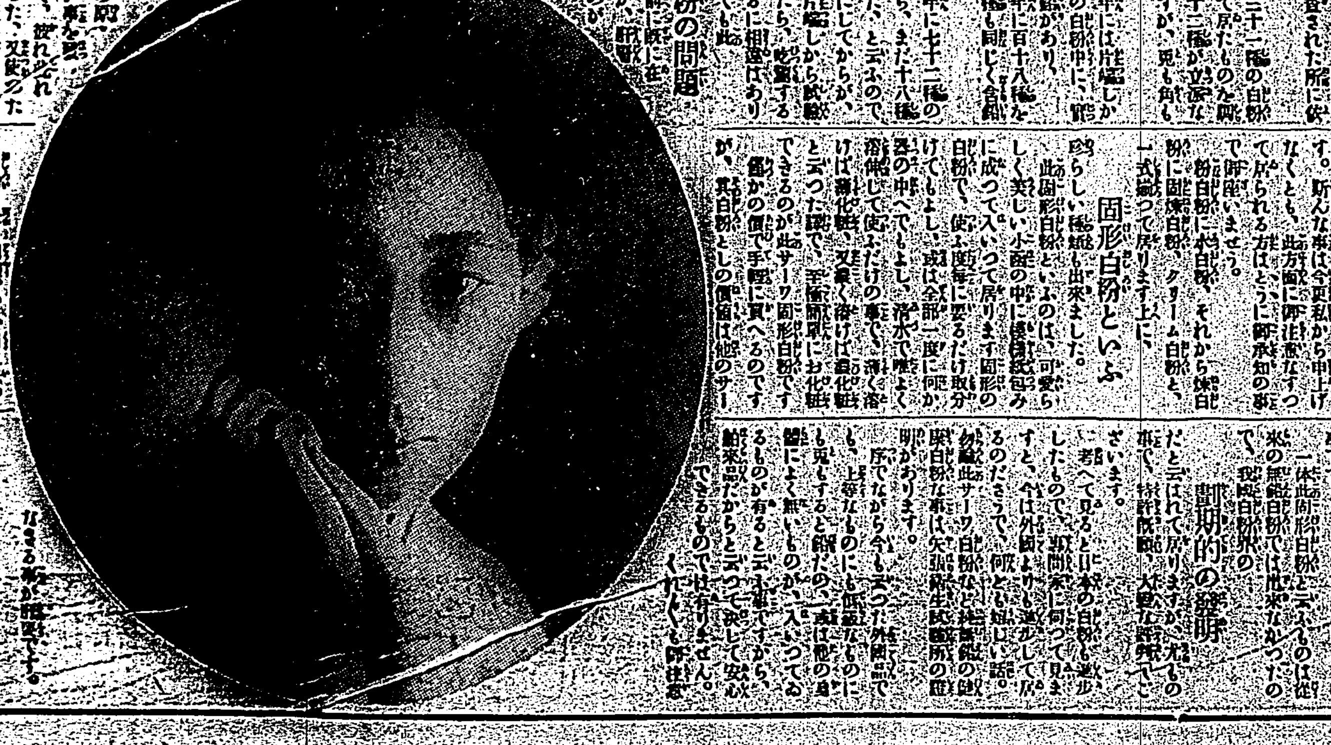
劃期的の發明

だと云はれて居ります。私も大變な評判と考へて見ると日本の白粉も進歩したもので、今は外國より進歩して居るのださうで、何とも嬉しい話。序でながら高級な化粧料があるものが、何と言つても舶來品だからと云つて決して安心できるものでは有りません。くれ／＼も御注意なさる事が肝要です。

小冊子「白粉の常識」新聞名記入御申込次第

東京日本橋區米澤町　ミツワ石鹸本舗　丸見屋商店

婦人の領分



滿洲建國遡源史略

（四）

滿洲國國務總理　鄭孝胥

十、滿洲は太古より獨立國なり

滿洲と中國本部との歷史的關係は有史以來常に對峙し滿洲は獨立の特殊地域たりしこと明瞭なるも試みに古來滿洲に占據し建國したる各民族につき之を系統的に觀察するに左項三系統の範圍を出でず

一、肅愼―挹婁―勿吉―靺鞨―渤海―女眞―清朝の系統

二、濊貊―扶餘―高句麗―室韋の系統

三、東胡―鮮卑―契丹―蒙古の系統

此の三系統の種族は第三項の蒙古系統の所屬する布里雅特（ブリヤット）種及び其他の混血種を除き第一第二の兩系統は

日本民族 と同種通古斯種に屬し凡て漢人種とは全く相異なる民族なり、故に滿洲の住民は遠く肅愼時代より連綿として絶へず滿洲土民族によりて支配せられ高句麗、渤海、遼金等の如きは獨立國を形成せり、元明朝の隆盛時代を經て清朝の勃興に至る迄滿洲と中國本部との關係は終始對等の地位を維持し未だ曾て漢民族に占據或は統治せられたる事實一度もなく却つて契丹女眞の如きは遼金の國號を稱へ中國本部北方の半を占有し滿洲蒙古に亘り大國家を建設しあり、更に清朝に至りては中國本部全土を征服し

西藏地方 に迄及びて古今未曾有の大帝國を形成せり、且つ中國は習ふに易く胡服辮髮を用ふるに至りしが是れ後の滿洲人が中國本部を征服せるものにして中國人は被征服者たるなり、斯くの如き力關係は古來よりの滿洲にして漢民族と風俗習慣の全然相異なる滿洲土着民族により支配せられ漢民族とは何等の關係なきこと充分了解せらるる所なり、此度の滿洲國建設は滿洲及び東部内蒙古を併合し滿洲國と稱しあるが

其の理由 は現在滿洲或は蒙古と稱するも一定の境界なく此の間は錯綜せる滿漢蒙三人種の居住地にして歷史的に之を顧るも密接不可分の關係にあり惟ふに古代既に滿蒙の區別なく況や民族分布上より之れを論ずるに於ては總稱し滿洲國と爲すは妥當にして且つ適切なる結果と認めらるるのみなり

十一、中國人及外國人の錯誤

近代の中國人は何を以て滿洲を指し中國の領土なりと主張するや、是れ中國人が清朝建國の本義を知らざる結果の錯誤たるのみ、元來滿洲は清太祖及太宗により完全に

征服せら れ愛親覺羅氏一族の私有領土となれるものなり、清朝勢ひに乘じて入關し中原を平定中國本部に君臨するに至り愛親覺羅氏私有の滿洲領土は新征服の中國本部と共に歸して大清帝國の版圖に入れるが其大版圖上に於ける滿洲の地位は中國本部を領有する主人なりしなり、即ち中國本部は滿洲人に征服せられたるものにして中國人は滿洲人の君主に對し北面して臣服せり故に當時の滿洲は中國人の主張する如き中國の領土に非ず却つて中國が滿洲の領土たりしなり、即ち滿洲と

中國本部 との關係は中間に清廷の連繫を介在するが故に愛親覺羅氏が中國本部に君臨せる期間滿洲も亦其版圖の一部分なるも若し清帝が中原の政權を放棄し大清帝國瓦解に至れる場合は滿洲と中國本部とは當然離脱し得べき關係を有する性質のものなり、但し滿洲の宗主權は依然として清廷に屬し中國側に之に對し何等容喙の權利なし、從來中國人の滿洲人に對する根本觀念は此の點より異常なる錯誤に陷れるものにして滿清三百年來滿洲人の君主を中國の君主として奉戴せる結果本來滿洲内君主の

領有する 滿洲を却つて中國領土なりと認むる錯覺を起せしのみ、是れ國民政府が從來清朝に服從し中國本部には隷屬せざる蒙古を中國の領土なりと主張する錯誤と大差なし、此の點に就いて中國人のみならず近代の西洋人等も亦滿洲を中國本來の領土たりと誤認しあるが之れ大體上述の理由に基くものなり、當時清朝（即ち滿洲皇帝）が中國を支配せるにより西洋人等は之れを中國皇帝と稱し其の所屬支配の領土全部を指して中國と總稱せり、地圖上及外交文書上に此意義は表明せられあるが西洋人等は

清朝皇帝 が滿洲に對し特別領土の性質を以て支配を實行し且つ中國領土の意味を以て滿洲を支配し得ざる複雜せる理由を全く諒解する能はず滿洲を中國の一部分なりと誤認せるものにして却つて十七世紀の後半より十九世紀の前半に亘り中國に入れる西洋人等は滿洲を中國と稱せる者なく明代に於て蒙古を韃靼と指稱せる關係上滿洲を東韃靼と稱せる、例へば明末清初の戰亂時代に歐洲に於て廣く閲讀せられたる耶蘇敎牧師衞匡國（マルチンMartin, Martini）著韃靼記（De Bello Tatarico Historia）には

滿洲を指 して韃靼と稱し又康熙二十一年（紀元一六八二）聖祖に隨從して滿洲を巡歷せる耶蘇敎牧師南懷仁（フエルヂナンド、ヴエルビエストFerdinand Verbiest）著韃靼旅行記（History of the Two Tartars Conquerors of China）にも滿洲を「東部韃靼即ち女眞地方」と明記し決して中國と稱しあらず、此外西洋人は滿洲人が滿洲に居住し且つ滿洲人による支配の事實に鑑み滿洲國と稱し中國の領土とは認めざるなり、一方現代の中國は莫大の漢民族が滿洲に移住しある現狀を以て中國

宗主權を 主張する一の理由と爲すも元來漢民族は滿洲に向ひ集團的移住を開始してより一百五十年内外の歷史を保有するに過ぎず、但し明代には遼東に漢民族居住の事實あるも清朝の滿洲統一後全然勢力を失ひ次いで入關後は滿洲を封鎖し漢民族移住禁令を勵行せるが其期間は滿洲と漢人種間に何等の交渉なく十九世紀の初期中國本部に於て人口增加し漸次生計を脅かさるるに至り漢人等の滿洲移住を希望する者漸く增し竟に政府の禁令を犯して秘密に滿洲に潛入し開墾に從事する者少からず是に於て清廷

亦時代の 趨勢に鑑み嘉慶八年（紀元一八〇三）滿洲の一部分を開放して開墾農業に從事するを許し是より以後漸次滿洲の封禁政策を解除し漢人種の移住を允許することとせり、而して後漢人の滿洲に移住するもの逐年增加して今日に至り河北、山東兩省方面より移住せる漢人種は無智の土民族を排除し竟に主客の地位を顚倒せり、之により中國人は往古より滿洲に占據せりと呼稱するも歷史を以て之に對抗すれば完全に其主張を否定し得るものなり

但し滿洲と

漢人種と の關係は以上に述ぶる所の如きも此間若干の關係はあり全然沒交渉の意味にはあらず例へば後漢の末期遼東太守に遼陽公孫度を使し父子三代に亘り政勢を伸張せしめたる如き、又唐の太宗が高麗を征伐し遼東の南部地方を占領し其勢力範圍と爲せる時代あり、或は明代に至り遼東の地盤を開拓し現代と大略相同じき地域を占有せる事實あり、然れども是れ一時的現象にして其の地域も亦現今の奉天省南部即ち遼河流域に限られたるものにして未だ曾て漢人種が滿洲全部を支配せる事實なし、若夫れ

中國人が 是等の事實を以て滿洲は古來より中國の領土なりと主張するに於ては異常なる錯誤にして滿洲の歷史に就き熟思省慮せば此點は自然に明瞭となるべし

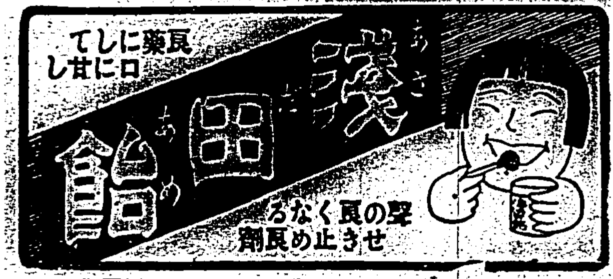
雜誌ある記

▲少女俱樂部▼

◆少女俱樂部はこの新年號で十一年目を迎へる、十年一昔の時日を經て來た雜誌の圓熟味がその内容に表はれぬといふ筈はない

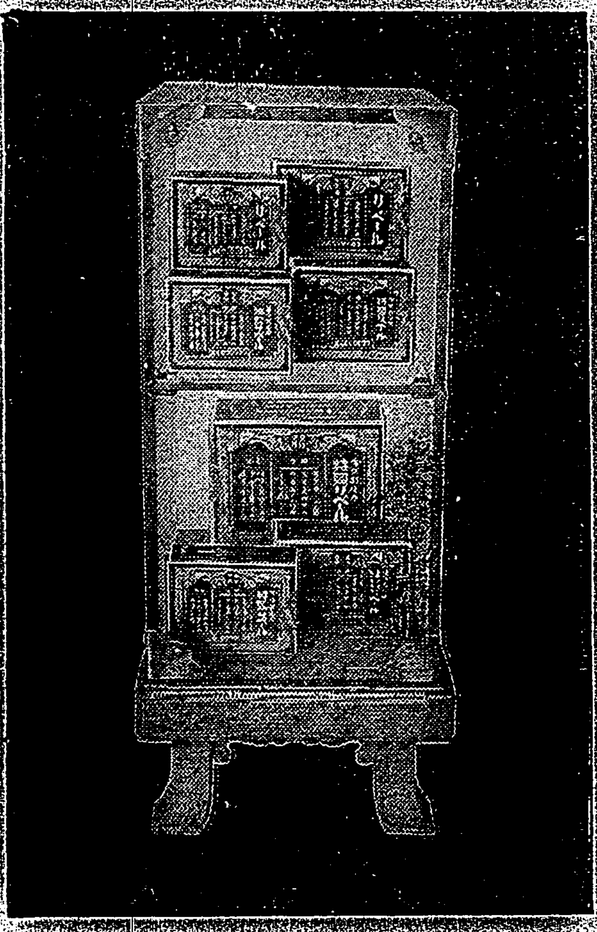
◆やさしく、力強い日本少女向きにと志して來たこの雜誌の姿が、愈に脂たけて來たのも無理からぬところである

◆恒例の附錄から拾つてみると、「飾り羽子板」「ゴーストップ自動車遊戯」「面白帝本」「世界お話ブック」「美しい刺繍と編物」の五つその内第一の飾り羽子板は紙製組立て式のものであるが、出來上りは二尺餘の長さと一寸の厚味をもつ素晴らしいもの、お正月情調豐かなところに充分の好感をもてる

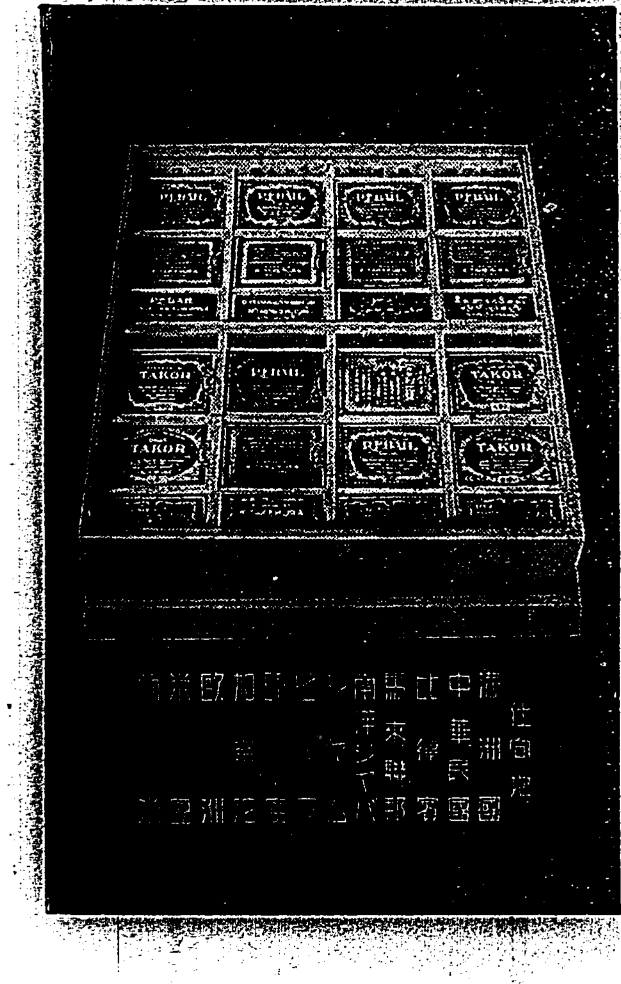


良藥にして
口に甘し
あさだあめ
淺田飴
聲の良くなる
せき止め良劑

光榮に輝く



奉陳　昭和七年十二月十五日　於第四師團司令部内行在所（内地向）



奉陳　昭和七年十一月十六日　於大阪府立貿易館（輸出向）

効め速き
治淋藥
リベール

最も信用ある治淋藥

特製リベールは現代治淋藥中効め速き藥劑として内地は勿論海外諸國に至る迄絶大の信用を博しつゝあり特製リベールを内服すれば生理的作用により直に腸粘膜より吸收され膀胱内に入つて强力殺菌性の尿と化し放尿時殺菌作用を行ひつゝ排出する効力を有す。由つて今迄憂鬱なりし患者も服藥翌朝より自ら爽快なる氣分に一轉するその藥効の説明は玆に千萬言を費すよりも多くの服藥者の賞詞若くは數日間の試服に由つて事實を知られよ。

本劑の特徴は

一、服藥翌朝尿は藍色に變じ強きリベール臭を放つて排泄す。同時に堪へ難き快感を覺え、數日後にはその喜び頂點に達す。

一、今迄尿道に繁殖しつゝあつた無數の淋毒菌はこの恐るべき藍色尿に由つて美事殺菌作用を行ひ速かに體外に放出してしまふ故に煩はしき又危險多き自家尿道洗滌の必要更になし。

一、特製リベールの藥効を確實に知るには服藥前と服藥後の尿を採り專門家に希うて顯微鏡檢査を施されるのが最も早道で服藥後日を追うて黴菌が滅び行く現象を視る事が出來る。

一、婦人のりん病も男子と同樣効め速し。

洗滌の危險

淋病に惱まされた人は必ず一度は尿道洗滌をやりたがる。さうしてウンと後悔する。尿道洗滌の恐るべき弊害の實例二三を示せば

一、尿道より分泌する膿を逆に尿道の奥へ押込むため黴菌は睾丸を侵し忽ち睾丸炎を起して恐ろしく腫れ上り疼痛と發熱とで身動きもならぬ程の苦痛を感ずる。

二、患者の尿道は劇しくたゞれてゐるから錐で刺す樣に痛む。その上更に藥物を注入して一層の刺戟を與へる。それがため膿の排出が却つて以前より劇しくなり甚だしきに至つては血尿を出す

三、ゴム管やスポイトを、たゞれた尿道へ挿入し尿道の血管を突き破り出血せしむる等手療治の害却つて病氣を永引かす恐れあり

四、藥物を強く尿道へ注入し黴菌諸共膀胱内部へ押し込み、淋毒性膀胱炎、膀胱カタル等の餘病を惹起する事あり。

以上自家尿道洗滌は百害あつて効果微弱なり最も注意を要す。

定價　五日　二圓　七日中　三圓　十三日　五圓　廿七日　十圓

大阪市東區南久太郎町二丁目
發賣元　竹村製劑所
藥劑師　竹村幸次郎
振替大阪三六〇番

內地海外到る處の藥店に販賣す

法大チーム

懸

諸官廳御用達

日本一 富士自轉車

覇王号
宣傳号

鬼より強い
鬼タイヤ

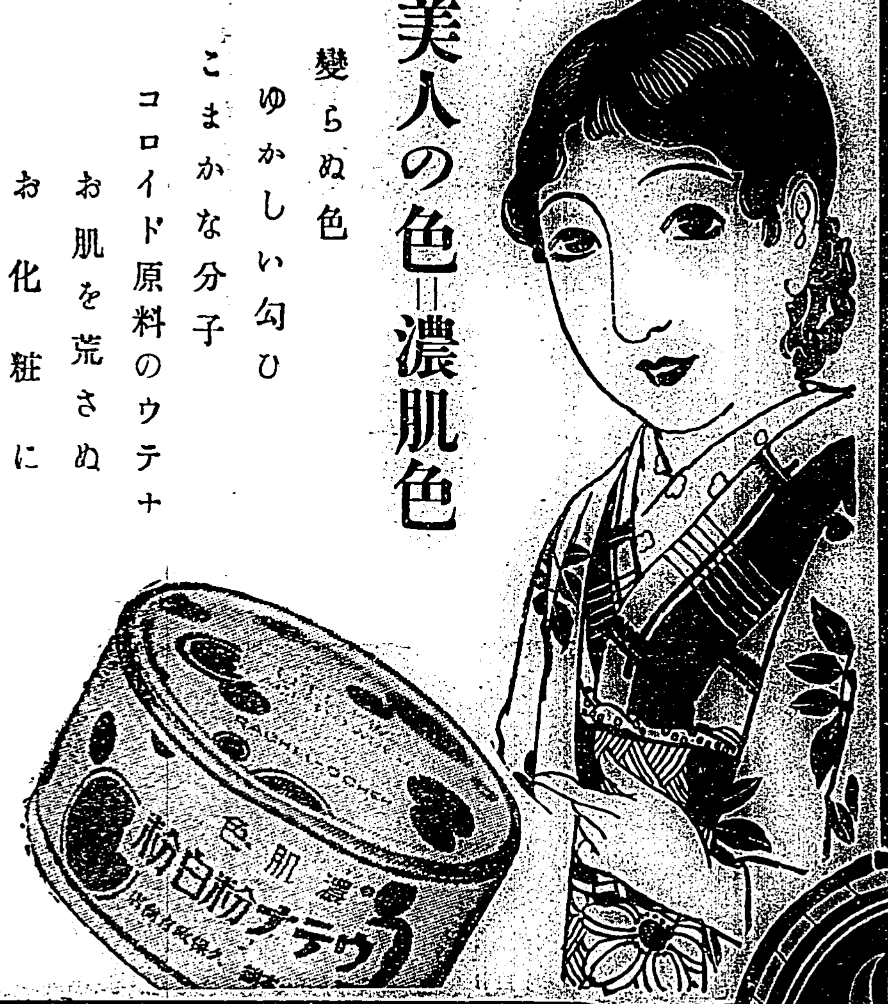
姉妹車
ケント號
ホドソン號
リーフ號
スポーツ號
オニ號

カタログ進呈

製造元　大日本自轉車株式會社
發賣元　株式會社　日米商店
東京・銀座五丁目

支店　東京・大阪・名古屋
福岡・京城・臺北

ウテナ粉白粉



美人の色＝濃肌色

變らぬ色
ゆかしい匂ひ
こまかな分子
コロイド原料のウテナ
お肌を荒さぬ
お化粧に

肌色・濃肌色・白色・健康色
ウテナ粉白粉
ウテナ水白粉（三十錢・五十錢）
ウテナ固煉白粉（　五十錢）

東京本郷・久保政吉商店

下痢・腹痛・吐瀉・腹はり・腹鳴り・澁り腹等の

腸胃病には ヘルプ

球を選んで快打を放つ如く
藥を選んで快治を圖るべし

腸胃カタルの治療劑として定評あるヘルプは、配合高貴藥の交互作用により無敵の殺菌力及び消炎、解痙し鎮痛、收斂消化力を發揮し、下痢腹痛に對する治療の速さ、的確さ、眞に比類がない。

ヘルプが多年絶對的權威と聲價を維持してゐる所以である。

こんな時にもヘルプ

何となく腹工合の悪い時……
大便後、肛門に異の感ある時……
口が渇き、何となく胸苦しい時……
胸はり、ゴロ〱と鳴り、むかつく時……
食慾なく、ゲップの多く出る時……
食前食後に胃部の痛む時……
胃部に灼熱的疼痛を來した時……
舌に苔が生え、口中の臭い時……
頻繁に下痢し腹の澁る時……
其他食傷、水傷、寝冷、冷え腹
時候あたり、消化不良等
に起因する腸胃疾患諸病。

前宮内省侍醫　柏村博士創製

定價　二十錢・三十錢・五十錢・一圓・三圓・六圓

ヘルプ・消熱散本舗　東京市日本橋　津村敬天堂
（振替東京八六八番）

御贈答には

明治の菓子

Meiji
MEIJI SEIKA KAISHA

明治ビスケット
明治チヨコレート　詰合品を御利用下さい

明治製菓株式會社

懸賞課題

各地の野球團中何れのチームが法政に勝つか、一チームも勝たねば勝たぬといふのが正解です（法政の試合豫定は臺北、臺中、嘉義、臺南、高雄、屏東の六箇所ですが雨天その他の關係で試合不能の場合は、實際に試合した野球團の勝負回數に據る）

規定

投票締切　昭和八年一月五日限（當日の消印あるものは六日着でも有效）

一、[illegible]ハガキに限

於臺北圓山球場

招聘野球戰

賞

一歩進んだ・新しい眼藥

スマイル

この一滴を人生謳歌のメロディとなせ

清澄盎感のスマイルの眼はあらゆる生活場裡に榮光の王冠となり勝者の楯ともなるのだ．

一般の眼疾を快速に治療する以上に一歩進んで・紫外線の害を防せぎ強き視力と魅力の明眸をつくる最も合理的な眼科藥

全島の藥店デパートにあり
……二五錢・四五錢・一圓
自動的點眼のスマートな容器
發賣元東京日本橋本町一丁目
玉置合名會社

LAVOCAT

病弱を蹴って敢然！健康線上に突入せよ

ラボカはあなたの肉體に力と精力を産む溌剌たる母胎だ！

（主要適應症）
慢性胃腸病
結核性諸病
疲勞・衰弱
小兒發育
性的障害
神經性疾患

藥價
（末粉）五〇瓦 一圓、一二〇瓦 二圓、三六〇瓦 五圓、一キロ 拾二圓
（錠）五〇錠 一圓二十錢
（〃）三〇〇錠 五圓

榮養强壯劑

ラボカ

見本・詳細說明書呈上（新聞名ご記入のこと）
▽全國藥店にあり
本舖　東京・新橋　小管向會藥品部
發賣元　東京・大阪　玉置合名會社

かぜねつに

實效散

感冒解熱特效藥

感冒の流行期となりました
御用意は？
惡寒を覺えたときは直ぐ實效散を！

特效
四季の風邪・鼻カタル・咽喉カタル・氣管支カタル・流行感冒・頭痛・百日咳

定價　二十錢　三十錢　五十錢　一圓　三圓　五圓

外用常備藥

一二三（ひふみ）

患部へ刺戟せず短時日に治癒する

主效
田蟲・いんきん・水蟲・しつ・くさ・ひぜん・しらくも・はたけ・吹出もの・あせも・たゞれ・糸がせ・濕疹・頭瘡・靴ずれ・切傷・火傷・胎毒

定價　二十錢　三十錢　五十錢　一圓　二圓

一二三本舖　實效散
師岡天然堂
東京市神田區明神下
電話下谷一二三　振替東京一三七二番

ゴールデン・リッカ

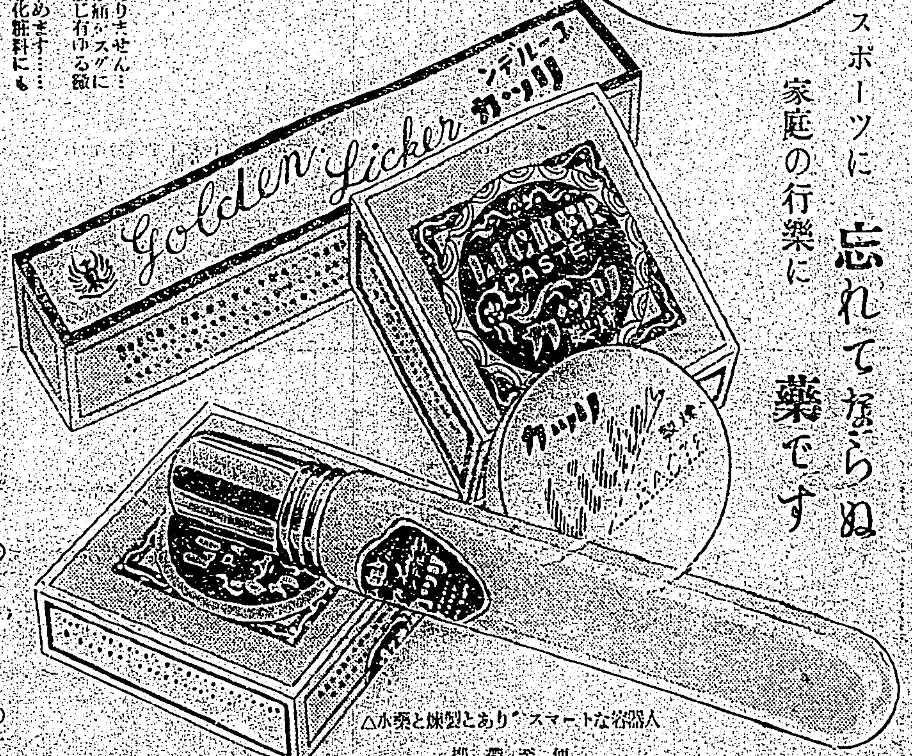
スポーツマン必携
簡易治療家庭常備藥

何時？何處？で不意にやられるか知れないのが怪俄と病氣です

こんな時にリツカ程重寶な藥はありません…早速リツカの一ぬり、第一番の疼痛がスグに除いで、氣力を恢復し、瘀血を散じ有ゆる黴菌を完全に殺して。化膿なり病氣なりの恢復を非常に早めます……使用後は髭そり後の消毒や白粉下の化粧料にも適します。

各大學選手御愛用（說明書御申込次第進呈）
▲全島有名藥店に有ります……▲

スポーツに家庭の行樂に忘れてならぬ藥です



△水藥と煉製とありスマートな容器入
携帶至便

主效
肩の凝・腰痛・神經痛・リウマチス・筋肉疲勞・打身挫き・怪我・火傷・腫物・皮膚病・頭痛めまひ・齒齦口熱・咽喉カタル・鼻かたる・みゝだれ・內臟炎症性疾患・常習便秘……

（水藥）廿錢　三十錢　一圓
（煉藥）廿錢　卅錢　五十錢

發賣元　株式會社　大正製藥所
本社　東京小石川
支社　大阪　京城
名古屋市　荒川長太郎藥房

主催　臺灣日日新報社

發表　昭和八年一月二十日　臺灣日日新報紙上
宛名　臺灣日日新報社野球招聘係宛
正解者には次の賞品を贈る、正解者多數の時は抽籤に據る
賞品
壹等　美術置時計　一本　一人
二等　クローム側腕時計　二本　二人
三等　反物　五本　五人
四等　臺日賞牌（銀メタル）七本　七人
五等　カルピス　百本　百人

小品

停車場へ行く道で……

藤澤桓夫

十一月下旬の或る晴れた晝すぎ、田んぼや畑のあひだの道を、小島先生は、注射器や聽診器のはいつた黒いかばんをかかへて歩いて行つた。霜解けの道はぬかるんで歩きにくい。

小島先生は、山の診療所に勤めてゐる。去年學校を出たばかりの若いお醫者さんだ。が家庭の事情で、中學校を終へると暫らく代用敎員をやつたこともあり、いろいろ苦勞をして、世間を見、貧乏のくるしさなどもよく知つてゐるので、村の百姓たちになかなか評判がいい。例へば先生は村の病人のところへ頼まれて往診に行く時には少しぐらゐ遠くても決して自動車に乘つて行かない。てくてく歩いて行くか、診療所の古いがたがた自轉車に乘つて行くかだ。百姓の暮らしはくるしい。殊にこの二三年はお話にならない。そして百姓の家から往診を頼みにくるのはよくよくのことなので、行つてみると病人は大抵手遅れで死にかけてゐるのだ。そして、藥價や診察料などもなかなか拂つてくれない。拂へないのだ。さういふ病家へ自動車で乘りつけて、自動車代の心配をさせるのは可哀さうである。で、氣を利かして先生は、別莊地への診察でない限り、決して驛前のタクシーを呼ばせない。——さういふ小島先生だ。

◇……◇

まだ十一月だといふのに、野は枯れ、田んぼも畑もすつかり寂び、あたりの山々は雪に掩はれてゐる。遠に南アルプスが白い。

先生はこれから停車場へ行くのだ。隣の山峽の驛から診療所へ電話がかかつて來た。爺さんが、一人汽車が動き出してから下車し損じた。ところがもうプラツトは盡きてゐて、爺さんは線路の上へ落つこちた。頭から血をだして、うんうんうなつてゐる。次の汽車ですぐ來て下さい、といふのだ。のんきな田舍の爺さんのことだから汽車が止つてから、網棚からゆつくり風呂敷包とかうもり傘を取り降ろし、帽子を脫いでみて赤切符がリボンにはさまつてゐるのを確かめ、さて降りやうとしたらもう汽車は動きだしてゐたので、慌てて飛び降りたのであらうが、それにしてもいくら山のなかの停車場のプラツトが短かいと云つても、もうプラツトがなくなつてゐたとは少し氣が永すぎる。

◇……◇

そんなことを考へながら、歩いてゐると、背後から「もうし、先生や」と呼び止められた。振り返ると、道ばたの百姓家から、顔なじみの、その家の二十七八の女房が追つかけて來た。よごれた小さい子供たちが、四五人も女房にくづついて出て來た。この女房は、ついこないだも一人、この五六年といふもの、つづけざまに年子を生んでゐた。

「お急ぎかね、先生？お急ぎでねえなら少しおききしてえことあるだが……」

先生は腕時計をのぞいた。汽車は二時十八分だからまだ十五分ほどあひだがある。

「二三分ですむことかね？」

そばかすのある白い丸顔の、ちよつと可愛い顔をした女房は、しかし先生がさういふと、急に眞赤になつて

「困つたやう！わしや恥かしいよ！困つたやう！」と笑ひだした。そして、まとひつく子供たちを「こら！あちらへ行けつたら！」と叱つた。

先生は、まさか道の上でこの女房に口說かれるのではあるまい、それにしてもこの女はどうして急に何を恥かしがりだしたのだらうと思つた。

さて、女房が「困つたやう！」といひながら、話しだしたのは、他でもない、たださへ貧乏でくるしんでゐるのに、あまり子供が次ぎ次ぎに出來るから、一つ出來ない方法を敎へてくれ、といふのだ。

彼女はさういつて、「やれ恥かしいやう！」とまた眞赤になつた。そして、頸筋になつて肥をつけるには、これまでにも、人からきいて、村で流行つてゐる避姙法を自分とこでも實行して來たのだが一向に效目がない。その方法といふのは、冷たい水を口へふくんでおいて、今といふ瞬間にぐつと一飮にそれをのみ下す方法だといふ。きいてゐて先生は思はず吹きだした。

「えつ、何んだつて——冷たい水を——あつはつは——へえ、そんな避姙法がほんとに村で流行つてゐるのかい？」

無智な百姓の女はもう笑つてはゐなかつた。眼に一杯の眞劍さをこめて點頭いた。

◇……◇

「なるほどね。」

先生は、いつかおかしさは消えて——だんだん重い心になりながら

「そりやおかみさん效かないよその方法は。」

「では、どうしたら效くかといふ女房の熱心な問に貧乏人が絕對に子供を生まぬ方法はちやんとあるが、——今の政府はほんたうに貧乏人のことを考へてはゐないからその方法を禁止してゐる。しかし、女房のやつてゐる方法よりは何百倍もよく效くペツサリー法といふのがあることを說明し、少し高いがその器具をすぐに取りよせてやることを約束して、小島先生は女房と別れて歩き出した。

そして歩きだして氣がついたことには村には何んと澤山の子供たちがゐることだらう！

ゐる、ゐる！道ばたにも、むかうの黄色い土手にも……。

すつかり憂うつになつてしまつた先生は、ふと氣がつくと、自分は左翼でもなんでもなかつたはずだが、いつの間にか、農民に產兒制限の自由を與へよ！彼らに人間の生活を與へよ！そんな事を繰返してつぶやきながら歩いてゐた。

トーキーと音樂

兼常清佐

私はトーキーといふものは實におもしろいものだと思ふ。そしてそれは大いに理窟にかなつてゐるとも思ふ。もし私が作曲家なら、トーキーに作曲するであらう。音樂は考へて見てもさう大して筋の通つたものではない。ただ歷史的に今日のやうな形にだんだん發達して來たといふだけで、この發達の徑路は決して人間の心の有樣をよく考へた上の事ではない。めくら滅法やつてゐる間に、たうとう今日のやうな狀態になつたと云ふだけの事である

×

或る一人の天才が出ると、それは自分の力のある限りの事をする。たとへばリストは自分の力をつくしてピアノを弾く、打てる限り多くのけん盤を打てる限りの力で、打てる限りの早さで打つ。そんな技巧の前にはこれまでの曲では物足らない、それでリストはいろいろな曲を自分の弾ける限りむづかしく編曲して弾く、もちろんリストはそれで滿足であらう。然し私共聽衆はどうなるであらう、私共は一人天才が出たからといつて、それで急に私共の音を聞く能力を增すといふわけには行かない。私共はやはりもとのままの私共である、私共は天才と決して步調を合せる事は出來ない、第一步調を合せる方法がない、音樂の方では天才が顏に出て、そのたびに演奏の技巧なり作曲法なりはどんどんむづかしくなり、複雜になる。しかし私共聽衆は依然として昨日のままの聽衆である。そしてその二つの間にはもはや越すに越されぬ大きな溝が出來てしまつた。それが今日の音樂の世界の有樣である

×

私共がそんな音樂を完全に解らうと思ふのがそもそも間違ひである。始めから解らない筈のものである、今日音樂で使ふだけの音がみな私共の耳にはいるものでなく今の演奏家が苦心して演奏する技巧の妙などは決してわかる道理がない。私共はつまり非常にむづかしい外國語の文章の朗讀をきかされてゐるやうなものである。私共聽衆は音樂をきいてゐる間、その音樂だけで心の中を一ぱいにすることはどうしても出來ない、それはただ何かの專門家や批評家だけに出來る事である。私共はそれほどの音樂的な材料を心の中に持合せてゐない。私共は音樂を耳で聞いてゐる間にも少し何か外の事を要求する。それでないと退屈してしまふ

×

トーキーはこの不合理をうまく補つてくれる。耳で音樂を聞いて目でキネマを見てそれで私共の心はちようど一杯になる。よし目でキネマを見ないにしても私共は音樂を聞いて居る間にきつと何か見ます。前の座席の人を見るか、プログラムの紙を見るか、何かを見ないといふわけには行かない。そしてたとへばリストのピアノの曲を聞くことと前の座席にゐる人の後姿を見て、この人は美人らしいなどと考へることと一體何の關係があるであらう、でなくともたとへば今ピアノを弾いてゐる人は偉い人だなア——リストは偉い作曲家だなア——などと考へたにしてもそれがリストのピアノ曲と何の關係があるであらう。しかしこれが普通に音樂會での聽衆の心理である

×

それならば、一層の事目で見るものを與へられてゐる方が便利である、それがトーキーである。トーキーなら私共三十分や四十分は確に退屈せずに座席に坐つて居られる、私はこれは理窟の通つた話だと思ふ

×

音樂家の方ではいろいろ文句があるであらう、しかしそれは決して私共には通用しない專門家同志の間の內部事である、たとへばそれでは音樂の獨立性が損じられるといふであらう、しかし自分の弾くピアノ音樂が本當に何から何まで一心不亂に聞いてゐると思ふのはそれは音樂家の途方もない認識不足である。それよりは目では或る一定のキネマを見せた方が遙に氣が利いてゐる。どうせ外の事も見もし、考へもする。またトーキーになつたら演奏家の個性が緣くなると云ふであらう、しかし演奏などといふものは誰がやつても間違ひさへなければ、ただしい同じやうな事になる。目でその人を見るから誰のピアノだ、誰のヴイオリンだとやかましく云ふけれども、人の姿さへ見えなかつたら誰がやつたつて私共は一向平氣である。機械でやれば一番安心である

×

そして音樂は音樂でないから意味はない、こちらの取り樣一つでどうにでもなる。實際の場合、たとへばリストの「カムパネルラ」といふ曲を聞きながら頸に前の席の娘は美人だらうかと考へるなら、この名曲は正に「後姿のあこがれ」といふ曲になる、このピアノ弾きの指の速さは非常なものだ！と考へて聞くなら、この名曲は正に「指のたはむれ」といふ曲になる。これはもちろん多少滑稽であるが、しかし曲の意味などといふものは、それは昔の美學者達が勝手にまかせて考へた議論で、事實音樂は何とでも聞ける、或る一曲を作つてそれをトーキーにする事は理の通つた理窟に合つてゐる。古い作家のジムフオニーでもソナーテでも何でもトーキーになる、そしてどの曲でも一樣に『後姿のあこがれ』や『指のたはむれ』などにならずにすむ、大仰にいへばそれは實に古曲をその心理的な滅亡から救ふ途である

×

もし昔の音樂は刺戟が少くていけないといふなら、新しい作曲法で壯大な曲を作ることも出來る。そしてその壯大な曲で私共の現實のこの千變萬化の生活をキネマで見せてくれる事が出來るならばそれこそ私共の大いに歡迎する藝術になるであらう。私はとにかくトーキーといふものに多くの輝いた將來を豫想してゐる

臺灣に於ける工藝品の獎勵

―臺展に併設は如何―

池部康白

今や世界的に**工藝時代**が實現されやうとしてゐる。本島に於ても最近漸々この聲を聞くのは欣快此上なしである。勿論今日まで工藝の振興策に就ては樣々に論議されてはゐるけれど今日ほどの眞劍味は無かつた。これは畢竟現在殖產局長の充分なる理解と熱との賜ものであつて確かに本島に於ける之が機運と雰圍氣を醸成しただけでも充分なる價値を認むるものである。此上は商工課當局に商品陳列館などが主體となつて

活動する事に期待するが自分のここで言つて置き度い事は從來のやうに產業工藝のみを目ざすために一品製作を重視して居らず又單に趣味として考ふるに個人作家の手工藝的製作にのみ重點を置くといふこと無く、もつと全般的に手工藝即ち純粹工藝、產業工藝、自用工藝の有機的關係を充分認識して活動方法を講じて欲しいことだ。換へて云ふならば純粹工藝は醫學のやうなものであり

產業工藝は臨床治療のやうなもので自用工藝は恰も一般衛生思想のやうなものである。從つて單に臨床治療『產業工藝』のみを云々しても醫學としての純粹工藝を等閑視しては自ら製品の向上は何を基礎として進むか見當も付くまいと思料せられる、また一般の自用工藝の如きに至つてはただ既存の家族自用工藝にのみは優秀なものがあると稱してゐるが本島婦女子の刺繍などには今日まで一顧も與へられてゐない

自分の考へとしては寧ろこの一般衛生思想の如き自由工藝の發達を盛んならしむることに因つて其中から自然に產業工藝を誘致することが出來得るものとする。何となれば今日の產業工藝品の沿革を尋ねてみれば大抵のものが自用工藝にその發端を見出すからである。そこで一人二人の意匠圖案家が苦心するよりも萬民と同樣年中行事として工藝品の展覽會を逐年開催することを以て良策とする。而して若

獎勵金でも交付するものとしたら、須らく當局の意思を充分に發表して置く必要がある。例へば當局に於て優秀と認むる作品は將來產業工藝品として有望さるるものとか或は鄉土色に富み一見して臺灣らしき感じを與へ且つ趣味的にも技術的にも優秀なるものとか早く云へば審查規定を當初から公表して置くことである。さうすれば自然と當局は如何なるものを獎勵しやうとしてゐるかも一般に

理解せられ從つて出品者もその心掛で努力するであらうから勿論この事は一面協會獎勵事項として社會事業の意味もあるので文敎局とも相提携し本島文化の向上に資せらるるならば益々其大なる結果を齎すであらう。●

正月氣分の子供雜誌

▲子供雜誌の王樣を以て自から任じてゐる幼年俱樂部である。それが今度は吾人の新年號と來てゐるから、その馬力のかけ方、力の入れ方は凄い位である

▲特に目立つのは第一附錄の「大たから船」で手工で組立てるやうに出來てをつて、綺麗な著物をきた七福神がニコニコと立派な船に乘つてゐるといつた正月氣分一杯の目出度いもの

大增刷の出來!!
トテモ偉い賣行
此上増刷は出來ません
早く今スグお求め下さい
富士
別冊大附錄つき
新年號

別冊大附錄（縱八寸六分横六寸二分）
東西映畫人氣花形寫眞大鑑
見よこの大壯觀！
東西の映畫スター一堂に集まる
本誌が特に苦心の新撮影!!
一頁一人の大判寫眞百二十枚
よくもこれ程良いものが出來たと誰でも驚嘆！優に二圓以上の値打あるこの別冊附錄、大量出版の本誌ならでは不可能の大計畫です。
「富士」新年號は、この別冊附錄つきで六十錢!!
更に本誌を見よ！
菊池寬先生大傑作!!
蒼眸黑眸
▲長篇小說 地に爪跡を殘すもの……佐々木邦
▲現代小說 薔薇色の道（暴風雨の中の若い男女の運命）……中村武羅夫
奇緣奇遇 すてうり勘兵衞 村上浪六
痛快壯烈 善は滅びず 佐藤紅綠
怪奇妖艶 風流活人劍 野村胡堂
維新志士 坂本龍馬 三上於菟吉
▲長篇小說 東京哀歌 加藤武雄
▲探偵小說 死の密約 保篠龍緒
▲現代小說 晴曇 久米正雄
▲時代小說 伊達事變 白井喬二
男俠美現代人物講談
鎭西の大親分 吉田磯吉
拳鬪王 渡邊勇次郎
山縣公と貞子夫人
此外快篇數十篇
▲定價別冊附錄つきで六十錢、各地書店にあります

どなたに伺つても大變きれいでいらつしやいますわ本當に素らしい白粉ですッて！
あまり美しくつくので・どなたもおどろく
明色美顔白粉
從來の亞鉛華白粉とチタニウム白粉の長所短所を徹底的に攻究して出來た白粉！
專賣特許　桃谷化粧品研究所創製
明色美顔固煉白粉（白色・肌色）（定價四十五錢）
明色美顔（粉）白粉（白色・肌色）（定價三十錢）
明色美顔水（水白粉）（白色・肌色・濃肌色）（定價三十錢）
本舖 株式 桃谷順天館

島內金融は殷賑
漸次好轉の跡見ゆ
—十一月末殘高調べに據る—

財務局金融課調査による十一月末現在島內各銀行の業績を見るに預金に於て貯蓄銀行預金を合せて一億二千八百二十六萬三千圓にして、これを前月に比べれば四百六十萬二千圓の增加、前年同月に比べては一千八百三十八萬三千圓の增加である、而して貸出金殘高は勸銀貸付の分をもこめて二億五千百六十六萬二千圓に達し前月に比し四百五十八萬七千圓の增加であるがこれを前年同月に比較すると八十萬五千圓の減となつてゐる、而して前月に比べては貸付も預金も共に四百五、六十萬圓を增加してゐる事は島內金融界の漸次好況へ向つて來たものとも見え、又前年同月に比しては貸出が減じ預金が激增してゐることは島內經濟の好轉、金融界の順調なる整理の進行を示すものであらう

種類別島內各銀行預金殘高

種類別	昭和七年十一月末	前月比較增△減	前年同月比較增△減
當座	二三、九五	一、六九	二、三三
特當預金	四、六六	一〇六	四、三六
通知預金	一九、二六九	九九六	一、三三
定期預金	三六、六四	△二四	六、八二
別段預金	七、七元	八二三	一、〇七
貯蓄預金	八、四四	△七	[illegible]
小計	[illegible]	四、六八	一七、三元
日銀預金	[illegible]	二一四	九四
合計	一二八、二六三	四、六〇二	一八、三八三

種類別島內各銀行貸出金殘高

種類別	昭和七年十一月末	前月比較增△減	前年同月比較增△減
證書貸付	六八、九〇七	八二一	[illegible]
手形貸付	三六、六〇	△	[illegible]
當座貸越	四、三五五	二〇三△	三元九
割引手形	九、九〇八	一、四四〇△	[illegible]
荷付爲替	一〇、五五八	二、六九五	一、三三
利付買入外國爲替	二、九六	△ 四九△	三三
貯銀貸付	二、六九	三△	一七
小計	一七、二二五	四、四五△	[illegible]
勸銀貸付	一四、三〇八	一四二	四〇
合計	二五一、六六二	四、五八七△	八〇五

銀行の內容良化
貸出の整理と預金增加
手持有價證券の値上利益も多い

島內金融界は米の增產値上りと糖界の好況、株式の好調等にて銀行の整理促進、預金の增加となり近年にない好況振りを示してゐるが糖界の好況は製糖會社の配當抑制と共にその手許に餘裕を生ぜしめ殊に內地の金利低下の爲め一流會社が內地の銀行資金を利用する關係上島內銀行の砂糖放資は期待した程多くなく米資金も丸糯の移出一段落を告げ最近では稍減少してゐる、何分米の殷賑高値に惠まれ二期米の約半數を高値で賣つた農家は資力大に加はりアトは春高を見越して籾を貯入したまま賣止めしてゐるもの多く土地を擔保に銀行から借りてゐる地主階級で從來金利の拂へぬものさへ最近ではその擔保物分の延期を願ひ金利を拂つて持入的態度をとるといふ實狀で銀行としては元利の回收順調となり且つ預金の漸增傾向から遊金大にダブ付く狀態となりコールに出しても日歩は預金利息より安く年二分位にしか廻らないので融資にして利廻りよき株式に投資してゐる向きもある、臺銀株の値上りでは宮の臺銀は勿論、商工、彰化、華南、貯蓄の各行共大に助かり安値時代に値下り損を切捨て銀卸して來ただけに最近額面近くまで恢騰したことは島內各行の資產狀態を强固にした關がある、商工銀行の如きは臺銀株を新株五十圓見當で値下り損を銷却してゐるが其後公債の値上りに連れ手持公債を賣卸して正金寄附明治北他の股資株に乘替へその値上り益のみにて五十萬圓を下らぬと稱せられ擔保物の値上りも大きく旁々內容實質の良化から商銀株は最近著しく躍進してゐる、下期の配當に就ては豫て大藏省の內意を伺ふところあつたが、督府金融課で決算檢査をした上承認された上でないと配當出來ぬ立場にあるが假に臺銀同樣三分の配當をするとすれば半期四萬圓足らずで出來るわけで從來年に三十萬圓以上の利益を擧げそれを銷却に當てて來た同行として配當は充分可能性もあるから成るべく配當したい意向のやうである

勸銀利下決定
各種貸付二厘方を
來上期より實施

【大阪廿一日發本社特電】勸業銀行では過般重役會を開き來年度上半期不動產貸付金利につき協議した結果年賦、定期各種貸付科目に亙り一率に二厘方引下げることに決定近く大藏當局に認可を申請することとなつた卽ち最近の金融界の加速度的低金利傾向の展開から勸銀の資金コストも漸次低下し現在では六分一、二厘見當にまで落ちたので、貸出金利引下げも亦可能となつて來た上に社會政策的にも考慮した結果右の如き引下げを斷行することになつたもので農工北拓も追隨するだらうと期待されてゐる

鮮米買上げ
安いのご先高見込で不振
第二回買上を發表

【大阪二十一日發本社特電】植民地米移入管理のため農林省が今回初めて實施した朝鮮米五十萬石の買上げは十七日をもつて申込受付けを締切り十九日買上げ數量を決定したが買上げ價格の比較的に安かつた事に先高見越しのため應募が少く買上げ決定數量は僅かに三萬四千四百二十石に過ぎないので農林省は左記要項により殘りの約三十六萬五千石につき第二回鮮米買入れを行ふ事となり十九日その旨發表した

一、買入れ豫定數量約四十六萬五千石

二、買入れ時期保證金の受付昭和七年十二月二十六日、賣却申込受付同二十七日、買入れ決定同二十九日

三、買入れ場所、受渡場所、買入れ米の種類、一口の申込數量、保證金及び買入れ決定方法昭和七年十二月農林省告示第三百五十七號の通りとす

四、受渡期間、買入米格差、昭和七年十二月農林省告示第三百六十二號の通りとす

五、受渡期間、買入れの日より二十五日間とす

六、買入れ事務所及賣却心得書昭和七年十二月八日官報公告の通りとす、但し受渡し期限は昭和八年一月二十二日とす

各社の移出糖
累計一千五百九萬擔

糖業聯合會臺灣支部調査十一月中の移出糖は高雄積五萬四千五百二十三擔、基隆積四千九百四十五擔計五萬九千四百六十八擔にして昨年十一月以降の累計高雄積一千二百六十六萬一千百八十二擔、基隆積二百四十二萬八千五百三十八擔計一千五百八萬九千七百二十擔に達す之を糖種別にすれば

	高雄積	基隆積
直消糖	六、七〇五、七〇二	一、五三二、五二一
原料糖	四、三三七、四七	八九六、二六六
白糖	一、六〇七、九八二	一〇、〇二一
計	一二、六六一、一八二	二、四二八、五三八

卽ち兩港合せて直消糖八百二十一萬八千二十三擔、原料糖五百二十三萬三千六百八十三擔、白糖百六十一萬八千十三擔となる、因に十一月中の移出糖は大日本の原料糖四萬六千五百擔、明治の直消糖七千擔、沙糖の原料糖一千二十三擔、新竹の直消糖四百二十三擔、原料糖四千五百十二擔である

丸糯の不渡
果然發生す
移出商對策に腐心

既報の如く米穀移出商では相場の吊騰を見て二期產丸糯は多少不渡あるものと豫想して豫防線を張つてゐたが不渡りは果然多少ある模樣で對策協議のため二十日午後同組合で役員會を開催した、色々の論議を重ねたが結局以前になした決議に基き不渡りの商號名を公表せず組合に通告し以て斷乎たる處置をとることに決めて被害不渡り者及びその數量は目下調べ中である

高砂麥酒の技師長更迭
唐仁原氏勇退し
小高氏入社

高砂麥酒會社の技師長唐仁原昇氏は大正八年同社創立以來今日迄同社の爲貯た島產ビール發展の爲大に努力するところあつたが功成り勇退する事となりキリン麥酒の橫濱工場製麥課長小高治一氏が新に工場長として高砂に入社することに決定した、小高氏は過日キリンの神崎工場長後野敏郎氏、同機械課長里見眞造氏と共に來臺し高砂麥酒工場を綿密に視察し將來大に伸びる可能性あるを認め二十日正式に入社を承諾せるもので他の二氏と共に廿一日の大和丸にて一先づ內地に歸つたが明年一月中旬來臺することになつてゐる、右小高氏の入社と共に同社は內容を改善し更始一新大に發展する計畫中である

總商會に對する
辰馬汽船の違約問題
圓滿解決す

郵船、商船、辰馬三社協定により發生した辰馬汽船の臺北總商會に對する契約違反問題は總商會代表役員蔣渭川外數氏と辰馬汽船臺灣代理店丸一組北部主任吉原保夫氏との間に折衝に折衝を重ねてやうやくその一致點を見出した所解決條件の實行に移つて又一悶著を起しその成行につき一般關係者の視聽を集めて居たが二十日午後二時總商會側の蔣渭川、郭宮枝兩氏と丸一組吉原保夫氏は永樂町新春成吳服店に於て會見最後的折衝をなした末、丸一組より辰馬が他社と協定したる違約金として約五千圓を出しその上總商會會員に對しては契約殘餘期間たる昭和八年七月までは既定契約通りの割戾をなす事を提出して圓滿解決をなした丸一組の出した違約金は大體に於て總商會の蒙りて居る損害を支拂へる位の範圍であると云はれ、契約の五萬圓よりは約四萬五千圓、總商會役員會で決議した請求額三萬圓よりは二萬五千圓減少して居るのであるが本解決に對しては丸一組は非常に誠意があつたと關係者は喜んで居るやうである、右につき蔣渭川氏は語る

辰馬は自ら違約したに拘らず强硬態度を持し一時紛擾を來したが辰馬汽船に代つて盡力して來た丸一組の誠意は大いに認める所で圓滿解決に至つたことは目出度い、總商會の事務を整理した上、今までの經路を役員並に關係者に說明して自分の責任を解除するため一月下旬に報告會を開く心算で居る

日清製油ご
米の移輸出

臺北日清製油會社ではさきに臺灣米穀移出同業組合に加入し米界乘出しの機會を待つてゐたが十一月二十日頃より內地移出米の取扱を開始し專ら東京行蓬萊米と丸糯を移出してゐる一面滿洲國成立に伴ひ內地人の人口增加し以前二十二、三萬人位であつたものが軍人軍屬及移住者を合せて四十萬人（內大連八萬人）を下らぬものとみられてゐるから丸糯の輸出に着眼し大連汽船の自航船にて每船每に輸出し相當成績を收めてゐる

國民政府の
原產地證明條令
排日貨徹底を目的ごし
明年六月より實施

【南京二十日發電通】國民政府は二十日付をもつて原產地證明條令を半年後の明年六月より實施する旨公表した、該條令は五ヶ條より成る簡單なものであるが一切の輸入貨物は貨物の性質に依つて證明不可能なものを除く外悉く貨物及び包裝に漢字で原產地を明記すること、之なきものは稅關吏立會の下に追記すること、追記せぬもの或は證明不可能のものは稅關で沒收することを規定しあり國民に對する抗日思想普及と相俟ち合理的排日貨の徹底を目的とするものと注視さる

十一月迄の
甘蔗植付
豫定の八割五分

糖業聯合會臺灣支部調査新竹製糖十一社の八九年期蔗園十一月中の植付は二千二百十三甲にして十月迄の植付濟六萬四千百四十五甲を合せて六萬六千三百五十八甲に達す、內會社の自作一萬七千二百五十七甲、一般作四萬九千百一甲である、豫定面積七萬八千百八十三甲に對し八割五分だけ植付が濟んだわけである、各社の植付豫定面積と十一月末迄の植付は次の如くである（單位甲）

	植付豫定面積	十一月迄の植付濟
臺灣	二〇、一三一	一九、〇〇五
明治	一三、六〇〇	一二、一七一
大日本	一六、四九八	一五、一〇五
鹽水港	一〇、九〇七	八、八四七
帝國	七、〇九五	三、八三六
新高	四、〇三三	三、四八一
昭和	二、二三〇	一、二〇一
新興	一、三四〇	一、二六二
沙轆	八九六	五三四
臺東	八五〇	八五〇
新竹	八二三	四五五
計	七八、一八三	六六、三五八

十二月以後の植付見込は一萬一千八百二十五甲である、尙植付豫定及植付濟甲數には苗圃を含んでゐる

鋼材頓に增產
來年度は更に增產計畫

【大阪二十日發本社特電】鋼材類需要擡頭と市價の昂騰に製鐵所初め各製鋼會社は最近頓に增產してゐるが、本年一月以降九月までの鋼材實生產高は製鐵所外十四社合計で百三十三萬九千噸となるが現在の狀勢から本年度の總計を推定する時は百七十八萬噸に上り前年度の實生產高百五十七萬噸に比すれば約一割四分方の增產に當り從つて來年度の生產計畫は各社とも相當增加するものと見られてゐるが殊に製鐵所の如きは鋼塊の供給不足を招來せざるべく種々考慮中だが大體本年度の鋼塊生產高約九十五萬噸に對して明年度は百二十萬噸の計畫を樹ててゐる

期米再び廿六圓臺
本年中の最高値
蓬萊米も新高値へ

期米は登高人氣旺盛にして二十日二十六圓を突破し二十一日は株式の新値躍進と共に買氣更に沸騰二十六圓三十錢と本年二月初の二十六圓二十七錢を突破したがアト利喰に二十六圓九錢と反落一服商狀を呈した、此の期米高に連れ丸糯一月二十日限は九圓四十八錢と前日より三十五丁高を告げ蓬萊米一月二十日限八圓四十錢と新高値に躍進したが、內地では丸糯沖の九圓四十錢迄出來し年內積契約品不渡りの懸念が又もや擡頭した、現物は丸糯八圓九十錢蓬萊米八圓〇五錢位で年內積と一月積とは二十錢方鞘開きを示してゐる、又蓬萊米は北部產地が正市に牽制されて中部米より十錢方上鞘といふ變態振りを示してゐるが何分產地農家に買力が出來賣惜んでゐるだけに內地に比し逆鞘の方は當分尙存續するものとみられ季節物の丸糯とは今後乖離せする形勢にある、尙蓬萊米の買註文は多く大勢强りの思惑買にして內地へ食入れする爲め買つて置くといふ風である、去十八日基隆出帆の辰馬汽船宮殿丸が高雄から中部產、西部產を主とする蓬萊米六萬五千袋と基隆から丸糯五萬七千八百袋を積出したのは近來の大口移出であるが右蓬萊米の移出旺盛は實需よりも思惑買の旺盛を物語つてゐる今後期米が二十七八圓まで上つても丸糯はさきの高値十圓に顏合せが關の山であらうが蓬萊米は神の九圓位の高値が一度は出るであらうといふ强氣說も行はれてゐる

南部在來種
二期作柄調べ

高雄州立農事試驗場の豐凶考照試驗に依る二期在來種米第五四調査作柄は苗代期に於ける氣象狀況は概して順調で比較的强剛な良い苗が得られ本田插秧後は低溫の上日照時數少なかつたが此の爲め反つて分蘖を促進し其後氣溫の上昇と午後及夜間に屢々降雨があつて其の伸長を助け低氣壓の襲來は數回に及んだが其の被害もなく順調な生育を見たが開花後と登熟期に際し天が割合多く且低溫であつた爲め多少惡影響を及ぼし、求變種は稍減收を示したが竹葉占と烏殼種は稍增收を見た

北南西東

聯盟の十九ヶ國委員會は豫論に逢せずして問題を明春に持越し二十日散會次回は一月十六日と決定した、此の間に私的交渉も行はれて我が主張に接近するものともみられ、更に角委員會の明春持越しは我が外交の成功であり、少くも此の一ヶ月近い中休みは株式其他への重壓が薄らぐとみるのが當然で、廿一日の新東株は二百十八、九圓の新高値を演出し期米は二十六圓三十錢と之また本年中の最高値を演出した、株も期米も非常に買はれてゐるだけに一度は大きな篩ひ落しがあらうとも云はれてゐるが果して登高人氣を出し切つたか何うかはまだ疑問だ▲大納會までに新東株の二百二十四、期米の二十七、八圓が出たら春はボケて一度大反動があらうともみられてゐる、何分越年後の金融緩慢、日銀利下げや預金利下げが見越されてゐるから餘程惡い材料でも出ないと深押しも望まれないのでないか▲臺灣に於ても臺東や沖繩製糖まで高値を出したので今迄市場に出たことのない昭和製糖株までが市人から眼を付けられてゐる、此の昭和製糖は拂込資本金三百二十六萬圓、株數六萬五千二百株、內三百萬圓、卽ち六萬株が臺銀の持株で殘り五千二百株は臺北、臺南、高雄州農會が持つて居る農會は臺南製糖時代に貸付けた肥料代の債權を一部株に振替へ出資の形式をとつたものである▲昭和二年に臺南製糖の事業を分離し臺灣の事業を臺銀が引受け沖繩の事業を興銀が引受けた時には興銀では寧ろ沖繩の方を有望視してゐたやうだが今では臺灣の事業卽ち昭和製糖の方が遙に有利に展開した五十圓拂込の沖繩製糖株が三十三、四圓まで上つた振合からすると同じく五十圓拂込の昭和製糖株は優に五十圓の値打ちがあらうといふのである▲尤も昭和製糖は四百萬圓の設備を臺銀に持つてゐるが、新式工場二つと赤糖工場一つを持つてゐるから此の負債は投下資本の一部と見て差支がない、新興が百二十萬圓の資本で約百五十萬圓の負債を持つてゐるのも之と同樣だ▲高砂ビールの唐仁原技師長功成り名遂げて退く、後任者は小高治一氏と決定、工場長として入社することになつた、同氏はキリンの技師で、近藤賢次郎君が周旋したのである、高砂ビールをキリンに委託醸造させるといふ憶說は全然無根である。

商況（廿一日）

臺中米價（廿一日）

蓬萊米八、二〇錢　丸糯八、九〇錢　長糯八、〇〇錢　在來米（百袋）一〇、七〇錢　出來高蓬萊米丸糯一九、三三五袋【臺中電話】

米況

臺米現物相場（基隆高雄貨中渡百斤）

		前日割比
南部二期在來米	七、〇五	一二高
北部二期蓬萊米	八、一〇	一〇高
中部二期蓬萊米	八、二四	一三高
南部二期蓬萊米	八、〇〇	一〇高
北部二期丸糯米	八、九〇	一二高
中部二期丸糯米	九、〇〇	一四高
南部二期長糯米	七、四五	一〇高
南部二期丸糯米	八、七五	一〇高

高雄在庫米（二十一日朝現在）（正米市場調査）

二期蓬萊米	六九、一〇六袋
二期丸糯米	一〇、一五〇
二期長糯米	二三、二三五
二期在來米	一九、七八二

基隆在庫米（二十一日朝現在）（正米市場調査）

一期蓬萊米	九二六袋
二期蓬萊米	三六、四九八
一、二期蓬萊白米	一、〇二二
一、二期丸糯米	二、四三五
一期長糯米	二八五
一、二期長糯白米	一二九
一、二期在來白米	二五一
合計	[illegible]

到着米一六〇車（一、一一九噸）

正米市場（公定相場）

	富	中	先	出來高
二期蓬萊米	八、一八	八、三六	八、五〇	一八〇車
二期丸糯米	不申	九、〇五	不申	四一車

總出來高　五四七車

正米市況（後場）蓬萊丸糯下押

▲二期蓬萊米　富限 八、一〇　〇八　〇七　中限 八、三〇　二八　二九　先限 八、四三

▲二期丸糯米　富限 不申　中限 九、〇〇　〇一　〇二　〇三　〇四　〇三　〇二　〇一　〇一　〇二　先限 不申

▲二期蓬萊前場躍進の氣先後場期米反落に下押し富內八圓一〇錢と十丁安に甫り〇七錢と下向いて止め三車中限は八圓三〇錢と九丁安に甫り二八錢あつて二九錢と止め十一車先限八圓四三錢と七丁安に一本十四車▲二期丸糯は前場躍進の氣先後場期米安に下押し富港不申の中限は九圓ドタと十四丁安に甫り跡前れて小節り四錢あつて弛み一錢と止め五十六車先限出來不申に後場を終る

大阪期米

▲後場　當　中　先

一節　—　二五五一　二六〇九

東京期米

▲後場　中　先

二　—　二五五三　二六〇〇
三　—　二五五八　二六〇四
四　—　二五四九　二六〇〇
五　—　二五四九　二六〇九
六　—　二五四七　二六〇八
寄　—　二五四五　二六〇〇
止　—　二五三七　二五九六
高　—　二五四五　二六〇〇
安　—　二五三四　二五八九

神戸期米

▲後場　中　先

寄　—　二五六二　二六二二
止　—　二五五一　二六一〇
高　—　二五六二　二六二二
安　—　二五四九　二五〇九

堂島前場先限主なる手筋

賣方　正米筋（弘瀬、湖先）場違筋（岡井、臨本）田中金、田中利喰（小河、臨本）中の谷利喰（小河）米穀筋利喰（田中寄、香川、新井、森岡）

買方　岡山筋（太田）北鮮產米（上摑）京都筋（中與）地場强氣（磯西、妹尾、栗野）地場前れ（橫山、北川、摑辰）

堂島兩建控除前場先限主なる手振り

賣方　臨本四、一〇〇小河三、六〇〇田中寄一、六〇〇弘瀬一、五〇〇湖先、菅野一、四〇〇水野一、三〇〇田中金一、〇〇〇岡米、森岡九〇〇

買方　上摑四、七〇〇太田三、八〇〇磯西三、五〇〇中與二、〇〇〇栗野一、七〇〇高田、橫山一、五〇〇摑辰、妹尾九〇〇

堂島兩建控除俵合

中限　賣方　一〇三、六〇〇石　北川以下二十一店
　　　買方　林傳以下二十三店
先限　賣方　一六四、九〇八石　岡崎以下十五店
　　　買方　太田以下二十二店

堂島米況前場

【大阪二十一日發電通】聯盟樂觀氣分濃厚と貿易好調で株式は天井知らずの大奔騰を移して人氣更に硬化し中限高に先は正米筋賣に利喰多いが地場强氣場違筋マバラ買迎り二十六圓〇七錢と氣丈に寄り前場と利喰の混戰で買物添はずチリ高の三十錢と今年最高の新高値に躍進し跡株式反落に利喰賣り多く結局中五圓六十八錢先六圓二十四錢と小緩んで引け

堂島米況後場

【大阪二十一日發電通】前場新高値に躍進した氣分後場は環境堅りに飽いて人氣强いが地場賣直したるも利喰續出して二十六圓〇九錢と十五丁方下放れて寄り正米筋賣り六圓丁度と押したがマバラ買物多く〇四錢と見せ四節又も六圓丁度と賣られたが押目買に〇九錢と冴せ中限不冴えに結局〇八錢と散會本日出來高三十二萬八千百石

堂島雜觀

【大阪二十一日發電通】聯盟關係濃厚から當限落後は軟化見越少くなかつたが正米頑强に加へて株式、爲替等環境依然躍勢收めないので人氣引締き硬化し相場は全く侮り難き强氣味が出て來た地場强氣場違筋は良く買ひ振合あり一面安値突込の向は愈々辛抱出來ず前退きを餘儀なくされて來た斯くて本年の高値たる二月の二十六圓二十七錢を完全に上廻り六圓三十錢と高値に躍り出したがまだ目先頭打ちの形勢でもなささうである要するに當面の實勢では環境や正米が弱氣に味方せぬのだから今一段の前上げは已むを得ぬ成行と玄人筋で評してゐる

株式

東京短期 ▲後場

	寄	引
東新	二一六、九〇	二一九、七〇
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日魃新	[illegible]	[illegible]
明糖	[illegible]	[illegible]
淺野新	[illegible]	[illegible]
日產	八五、六〇	八五、四〇
日石	五九、一〇	五九、〇〇

大阪短期 ▲後場

	寄	引
鐘紡	二六七、九〇	二六八、〇〇
鐘新	二三八、七〇	二三九、九〇
東新	二一六、八〇	二一〇、四〇
大新	二一六、八〇	二一八、〇〇
大株	一一七、四〇	一二〇、〇〇
商船	四五、七〇	四五、二〇
郵船	六八、一〇	六七、九〇
南鐵	九三、一〇	九三、五〇
日魃	七三、四〇	七三、五〇
日產新	三八、五〇	三八、六〇
淺野新	八五、六〇	八五、七〇
日產	八二、〇〇	八九、五〇
レヨン	三六、二〇	三七、〇〇
日毛	二八、九〇	八五、九〇
東洋紡	[illegible]	[illegible]

大阪長期 ▲後場

	寄	引
大株	一一八、三〇	一一八、九〇
大新	一一九、三〇	一一〇、九〇
鐘紡	二六五、九〇	二六四、八〇
鐘新	二四〇、〇〇	二三八、六〇
日魃新	九四、三〇	九四、四〇
同	五七、五〇	五八、五〇
明糖新	—	二七、一〇
同	七三、〇〇	七二、六〇
商船新	—	一三、五〇
同	—	六二、〇〇
郵船新	四六、二〇	八一、五〇
同	一四、五〇	四六、二〇
日產新	五八、一〇	一四、八〇
同	—	五八、〇〇
日魃新	七四、〇〇	二〇、九〇
同	二三、九〇	七四、九〇
日產新	八六、〇〇	八六、〇〇
同	三九、四〇	三九、七〇
レヨン	八三、五〇	—
東株新	—	二〇、〇〇
東新	一一七、五〇	二二〇、四〇

東京銀行實株

日銀	一五二七、〇	同新 三六七、〇
正金	一八五、五	
臺銀	九六、〇	同新 七三、〇
勸銀	八〇、五	同新 二一、七
鮮銀	六八、七	同新 一八、三

紐育株式

スチール株　二七弗四分一
アナコンダ株　六弗二分一

公債

東京國債

甲號五分利　九九、一五　—
第三五分利　九八、二〇　九八、二五　—
第一四分利　八九、四〇　—
第二四分利　八九、五五　—
二十八年物　九九、七五　—
佛貨公債　一五七、四〇　—
兩債出來高　八七、九〇〇圓

爲替

紐育爲替

米日爲替　二一弗二五仙

神戸日米爲替

米英クロス　三弗三三仙四分一

先物

	期近	先物
寄	二一弗四分一買	二〇弗四分七三買
引	二一弗四分一買	二〇弗八分七三買

砂糖

大阪現物

三温（ORB）一七圓七九錢
分蜜（M3）一八圓一六錢
精糖（國）二三圓一八錢
同（唐）二三圓三八錢
同（日）二三圓三五錢
耕地白糖（A双）二二圓〇一錢

玖瑪　爪哇

直　五盾七五仙
八〇仙

大阪清算 ▲前場

一月限　六盾
二月限　六盾
三月限　六盾
四月限　六盾

絲況

大阪綿絲

米棉　十錢安
印棉　三十錢安

大阪棉花

	寄	引
▲前　一限	二〇七、一〇	二〇五、五〇
六限	二〇三、〇〇	二〇一、二〇
▲後　一限	二〇三、九〇	二〇三、〇〇
六限	一九九、八〇	一九九、二〇

大阪期米後場節

	一節	二節	三節
十二限	一三、七二一	一三、八九	[illegible]
二限	一三、九八四	一三、八三	[illegible]
五限	一三、九四	[illegible]	[illegible]

四八、八五　四八、九五
四八、八〇　四八、三五

横濱生絲

▲前場　五限　九四〇、〇　九四二、〇
▲後場　五限　九三九、〇　九三七、〇

銀塊

倫敦現物　一六片一六分ノ二五
同先物　一七片
紐育現物　二五仙一二五
同先物　二六仙三五

▲前場　大連現物　九五、七〇　九四、八〇
同先物　九五、八五　九四、九〇
▲後場　大連現物　九三、九〇　九三、九〇
同先物　九四、〇〇　九四、〇〇

穀肥

シカゴ小麥

十二月限　四四仙
五月限　四六仙八分一
七月限　四六仙四分一
出來高　一千萬ブッセル

神戸市中相場

大豆現物　六、七〇　同先物　五、五〇
豆粕現物　一、八四　同先物　一、九五
硫安內國物　三、七八　同外國物　一〇〇
過燐酸15%　二、〇〇
二、三五　硝石現物　一二五同
小麥內地場物　六、九五　同米國物
五、三三五　麥粉百合三、五七
洲物　二、九〇　同上海物　二、九〇
同天津物　二、九〇

大連特產 ▲前場

大豆現物　五、三二　五、三一
十二月限　五、二四　五、一八
一月限　五、三一　五、三二
二月限　五、二七　五、三五
三月限　五、四二　五、四二
四月限　五、五一　五、五三
豆粕現物　一、七五　一、七〇
一月限　一、七五　一、七〇
二月限　一、七七　一、七〇
三月限　一、七九　一、七九
四月限　一、七九　一、七九
豆油現物　一四、五五　一四、三五
一月限　一四、三五　一四、三五
二月限　一四、三〇　一四、三〇
三月限　一四、三五　一四、三五
四月限　一四、三五　一四、三五

▲後場
大豆現物　五、三一　五、三二
十二月限　五、二七　五、二六
一月限　五、三四　五、三四
二月限　五、四〇　五、四〇

神戸豆粕 ▲前場

		節	
十二限	三、九六	一	三、九六
十二限	三、九六	一	三、九七
▲後　十二限	三、九四	一	三、九四
二限	四、〇〇	一	三、九四

創業廿年

時はイマ!!

貨幣價値下落時代！

則ち貨幣價値下落（現金所蔵者の失財）時代なり。此場合の對策は金を物に替へる事。而して有利且つ安全、高速度利殖の目的に適する「物」は株式をおいてなし

何故？

先づ一枚のハガキを投じて下記の資料を申込まれよ……

「無料質問券」「初心者のガイド」「損失限定實貸法」「株式投資の手引」「月刊インベスター」「證券知報」

無代送呈

東京株式取引所

洋服

セビロ　純毛A十二圓B十七圓

オーバー　A十二圓B十二圓

モーニング　上衣チヨッキ　A十五圓B二十圓

トンビ　A十圓B廿圓

財團法人　大阪洋服學校　大阪中之島

洋服裁斷講義錄

珍　粹

溫　奇　逸　品

情戲版畫

粹奇寫眞

享樂珍本

◆冠樂堂◆

「商報送呈」

蓄音器類のお仕入は專門問屋へ

濱尾蓄音器商會卸部

男　女　サック

◎絕對に破れぬ最優秀品

▲フイフレスキン
▲婦人用子宮サツク

あか船とは……？日本一有名な店よ!!とても珍らしい品があつてよ…あら？あなたも御存じないの……

本當！知つてよ……

男子專用珍具
婦人專用珍具
男子若返珍具
男女若返妙藥
エボナイト製
男子早漏防止器
包莖安全治療器
瑞宮クリーム
和合クリーム
妻悅粉

●男子早漏防止藥
●男女安全避姙サンセー
●產兒調節要具

珍書珍本

家庭和樂草紙

支店代理店募集

廣瀬

大阪市

曙光

(193)

生方敏郎作　中野修二畫

居酒屋（二）

春田が町子に呼びかけて、彼女の新住所を知らうとするのを、澄江はその本心を覺らないで、彼女をさへぎり、町子を遠く去らしてしまつた。

『あなたは何うしたといふの。町ちやんが、あんなに急いでゐるのを呼び止めたりなんかして？何うせ近い中遊びに來るつて言つてるんだから、其時訊いたつていいぢやありませんか？』

『町ちやんは、あんなことを口でいつたつて、本當に來るか何うか分りやしないからよ。』

『そんなことはないわ。町にあれほど來たんですもの。』

と、いつて、澄江は更に。

『あなたは、ご自分が遊びに行きたいんでせう？さもなくつて、そんなに住所を知りたがる害はありませんわ。』

と、春田をきめつけた。

春田は、心の秘密をかくさうとして、わざと冷笑していつた。

『町ちやんか何ぞは、[illegible]から來もしないのに、何で僕の方からオメ〜〜足を運ぶものか。僕だつて、そんなはなツ野暮らしちやあないよ。』

しかし、澄江はそんな弁解では承知しなかつた。

『行きたければ、毎日でもいらつしやいよ。』

と、いつて、ツンとした。

春田もそれきり黙つた。

今迄愉快だつた花見は滅茶〜になつた。周圍で人々が如何に浮かれて騒いでも、二人は面白くも何ともなかつた。

二人は花を見やうとするのでもなく、戻らうとするのでもなく、恰も夢遊病者のやうになつて、群衆する花の下を歩いた。

二人は家へ歸るまで、口一つ利かず、歸つてからも、澄江は湯を沸かさうともせず、二人はただでさへ疲れてゐる上に、興奮して咽喉をかはしてゐたが、茶を飲まうともせずに、默々の裡に睨み合つてゐた。

春の永い日が暮れかかつても、澄江は炊事の仕度にかからうとはしなかつた。

春田は、併し、次第に空腹を感じて來た。そして、澄江のゐるところへ行き。

『おい、飯は何うするんだ？』

と、いつた。

澄江は矢張ツンとして、答へなかつた。

『おい、飯は何うするといふのに何故返事をしないんだい？』

『食べたらいいぢやありませんか？』

と、澄江は初めて口を開いた。

春田はせせら笑つて。

『ふん、また此前みたいに、強情を張る氣だな。いやなら止せ、勝手にしろ。僕は外で食ふから、ちつとも困りやしない。』

春田は、荒々しく下駄を突つ掛けて、外へ出た。

（町子に逢へば悦んで、遊びに來いなどと云ふくせに、心の底では敵視してるんだ。ああ、何だつて俺はあんな女と同棲するやうなバカなまねをしたんだらう？）

と、春田は腕が張り裂けるほど憤怒に驅られて家を出たが、外の和やかな春の夜風にほてつく顔を吹かせながら歩いてゐる中に、彼は何處を何う通つて來たのやら、賑やかな町に或一軒の家からさす明りが道を白く染め出してゐるのを發見した。

彼は其家の前に立ち止つた。その店には繩暖簾が下つてゐて、腰高障子に「酒肴にじめ」等と書いてあつた。

（憂さ晴らしに一ぱい飲まうか？）

春田は、生れて初めてこんな家へ入るので、薄氣味惡く躊ひながら、勇氣を出して顔に觸る繩暖簾を、手で分けて中へ入つた。

『入らつしやい。』

と、頭の頂邊の禿てチラ〜する爺さんが、叫んだ。

片隅には、車夫らしい風俗の男が、空樽に腰かけて、手酌でチビチビ飲んでゐたが、盃を持つたまま珍らし相に春田を見上げた。

全體會議と政局

—蔣介石の獨裁成るか—

上海　日高生

第四期第三次中央

「全體會議」が愈々十五日から南京で開會されることになつた、この三中全會（略稱）は南京政府の議會とも云ふべきものでその決議事項は南京政府の最高政治方針となるのである、と同時に中央全體會議は後記する如く對內的には蔣介石の獨裁とその反對派の抗爭により常に大きな政局變動—動亂の原因となつてゐる、今回の三中全會も「現局から」推測すれば南京（蔣派）と廣東（反蔣派）との抗爭を激化する一契機となるやうにも思はれる、で茲では第四期第一次中央全體會議卽ち一中全會から二中全會までの支那政局の轉移を略記して最近一ヶ年の支那政局—各派の勢力消長—を瞥見しつつ、今回の三中全會の內容と、これが支那政局に與へるであらう影響等について書いて見やうと思ふ

（一）一中全會＝一中全會は一九三一年十二月二十三日から約一週間開かれたのであるが一中全會開催に至る迄の「支那政局」はこれを遡つて見れば左の如くである

（イ）一九三〇年九月汪精衛と馮閻軍が北平に組織した擴大會議は張學良の關內出兵で瓦解した

（ロ）そして蔣介石張學良の提携の下に第三期第四次中央全體會議が同年十一月開かれて蔣介石の「獨裁傾向」が濃厚化した

（ハ）その翌年一九三一年二月二十八日夜蔣介石は胡漢民、王寵惠、于右任、戴天仇等と國民會議（五月開催の豫定なりしもの）について協議中約法問題で胡漢民と衝突「胡漢民を」湯山に監禁した、しかし結果から見てこの時に蔣介石の大總統野望が一先づ挫折したのである

（ニ）胡漢民の監禁は廣東派に大衝動を與へ各地の反蔣派に擡頭の機會を許した、かくて五月の國民會議頃には全支に反蔣空氣が漲り例の中央監察委員鄧澤如、林森、蕭佛成、古應芬等の蔣介石彈劾通電となり廣東政府の獨立となつて「南京廣東」の對立關係が生れた

（ホ）國民會議が終り五中全會が濟み九月に入るや滿洲事變が突發した

（ヘ）滿洲事變が南京廣東の妥協を促進した、そして十一月十二日の南京に於ける十一月十九日の廣東に於ける第四期全國代表大會で新中央委員が選出され、蔣介石は下野し、林森が「代理主席」となつた

（ト）そして新中央委員の內廣東選出委員は上海に於ける和平統一會議の結果南京に入り十二月二十二日から第四期第一次中央全體會議一中全會が開かれた

斯うした經緯の下に開かれた一中全會は中央政制改革案、集會結社言論出版の自由保障案、國民政府組織法「徵兵制度」實行案以下十四項主として改組派廣東派の提案を通過した、卽ち中央政制改革案で國民政府主席を中華民國の元首となし對內對外に國家を代表するものとする但し實際政治の責任は負はず同時にその他の官職を兼ね得ず任期を二年とし一回留任することを得憲法發布の際は法に依り改選すると決定して「蔣介石の」獨裁を正式に抑制して仕舞つたのである、が同時に何等その他の官職を兼ね得ぬことになつてゐるために主席となるものは實際的にはロボット化した、現在の林森氏がそれである、蔣介石、汪精衛、胡漢民は中央常務委員として元老の地位に置かれた、一中全會で廣東政府は南京に合流して獨立を取消したが同時に廣東には西南政治會議、西南軍事會議、西南中央執行「委員會が」組織され胡漢民は香港に引籠り廣東派の上に大きな力を注いでゐる、一中全會で孫科が行政院長、陳友仁が外交部長、黃漢樑が財政部長となつた、このままで行けば廣東派は完全に蔣派を驅逐し得たわけであるが、數ヶ月ならずして忽ち政府の財政は窮乏し、對日外交は行つまり杭州會議となつて孫科一派の退場、蔣介石の政界復歸となり汪精衛と蔣介石のブロックが成立した

これで廣東派は理論で勝て「實際政治」で完全に敗れたわけである、これが本年一月十九日である

（二）二中全會＝孫科一派の退場と汪蔣二頭政治の出現で側面的反政府運動が孫科派を中心として尖鋭化した、孫科派に近い十九路軍は上海にあつた、必然的に上海事變が突發した、敵本主義の孫科派の策動の成功である上海事變は擴大した、國民政府は洛陽に遷都した、この大さはぎの中に洛陽で三月一日から第四期第二次中央全體會議が開かれた、殆んど汪蔣二派の委員のみで、そしてこの二中全會では豫備會議を經て、長安を陪都とし「西京と改め」洛陽を行都となす案外八項を決定した、汪精衛の對日長期抵抗及び國民參政會案等はこの二中全會で發明したものである、ついで三月一日滿洲國が獨立し國民政府を驚愕さした、その驚愕は國難會議（五月七日）となつて現れた

左の各項が提案された

（一）封建軍閥打破と民族武力を樹立して國防を固むる案（二）抗日具體案（三）長期抵抗豫備案（四）國難打開方針確定案（五）非常總動員案（六）西北邊防案（陝西甘肅地方）と救國根本確立案（七）國難專門委員會設置案（八）飛行機製造工場設置案（九）救國救民案（十）共同禦侮案

等々、しかし「これ等の」提案も實際化したものは極めて少い、滿洲事變と上海事變の大損害の外に、政府が斯うして對日問題に夢中になつてゐる間に共産軍は愈々乎として勢力を擴大して行き江西、湖南、湖北、安徽、河南まで席捲せられ、內憂外患交々至る窮地の內に置かれてしまつた、政府の威信維持と「輿論緩和」のために

この時蔣介石がとつたのが三省（湖北安徽河南）剿匪總司令として第四回目の共産軍大討伐を行つた事である、そして討伐軍費も廬山會議の結果阿片專賣稅によることになつた、この頃から蔣介石は獨裁への準備を著々と進めて行つた、その具體化したものが藍衣社なる秘密結社である、それから二ヶ月本年八月六日には例の「汪精衛の」張學良に對する辭職勸告電が支那の政界を旋風の如く吹きまくり汪蔣關係の惡化、引いて南京二頭政治の崩壞が傳へられだした、この時辭職した汪精衛は自派一統の動搖を防ぐため財政部長宋子文を通じ三中全會まで政府改造を行はぬとの保證で三中全會を汪蔣提携して乘切る約束をなし外遊した、これで汪蔣兩派のブロックは「持續され」ることになつたが、蔣介石の勢力は共産軍討伐に比較的成功したのと相俟つて益々增大して行つた、かうした經緯の下に三中全會が開かれるわけである

（三）三中全會＝三中全會は約一週間の會期である、先づ二三日は豫備會議で大體の會議順序、各派提案の整理などを行つて正式會議に移るのである、今回の會議で興味の中心となるのは「蔣介石派」と廣東派がその提案を通じて如何なる抗爭振りを見せるか、蔣介石が如何なる態度に出づるかにあるが先づ勢力關係を見やう三中全會に出席すべき全體委員は百七十八名であるがこれを各派別にすれば

▲蔣介石派＝宋子文、戴天仇、陳果夫、何應欽、何成濬、吳鐵城以下四十六七名

▲汪精衛派＝陳公博、顧孟餘、曾仲鳴、白雲梯、陳樹人、王懋功、谷正倫、唐有壬以下三十名內外

▲西南派＝鄧澤如、蕭佛成、唐紹儀、劉紀文、劉蘆隱、李宗仁、白崇禧、程天固、林植勳以下二十六七名

▲上海派＝李烈鈞、柏文蔚、熊克武、張知本以下十六七名

▲孫科派＝伍朝樞、李文範、陳友仁以下七名位

▲馮閻派＝趙戴文、傅汝霖、薛篤弼以下十名位

▲超然派＝宋慶齡、何香凝以外五十名內外

であるがその「三分の二」は不出席と見てよい、廣東派＝西南派は今日までのところ出席不出席が明確でなく、廣東派內部にも「西南各派は一名も出席するな」と主張する一派と「改組派及び上海派と提携して勢力の擴大を圖れ」とする二派とがある、馮玉祥、閻錫山等の反蔣派は代表を廣東に派して反蔣大同團結をもつて「三中全會」に臨むべく策動してをり、上海でも孫科派、上海派の策動が盛んに行はれ、蔣派の切崩しに躍起となつてゐる一方蔣介石は前記した樣に宋子文を通じて汪精衛派とガッチリ腕を組んでをり、張學良派をして懷柔、切崩しに當らせてゐる、今のところ形勢は在野派に不利である、蔣派は廣東派が出席しなくとも法定數は大丈夫だと聲明してゐる、蔣介石派は今回の會議で「國民政府」主席の職權を擴大する案を提出する筈である、卽ち一中全會でロボット化された主席の地位をグッと高める—早く言へば獨裁的權限を付與して蔣介石獨裁への一步を踏み出さうとしてゐる、これに對し廣東派は（一）民主政治の確立案（二）東北出兵失地回復案（三）滿洲事件の責任者懲罰案等々の手強い案を提出することに決定した

「廣東派が」反蔣各派と提携して出席し堂々と蔣派と爭ふこととなれば三中全會は稀に見る紛擾を見せるであらうが、政權を要求する孫科派がどこまで反蔣態度を持續するか疑問である、若し廣東派が出席せぬとすれば三中全會は殆んど蔣派の獨り舞臺である、三中全會では對聯盟問題や對日問題でも恐ろしい強硬の決議案などが飛び出すであらうがそんなものは國民への「申譯に過ぎ」ない、中心問題は何時の中央全會でもさうであるやうに蔣介石の獨裁への進出とこれが防止のせり合ひである、で蔣介石派が勝つとしても反蔣運動は一層激化しこそすれ緩和はしまい、廣東派は早くもこれに備へるために江西省に軍を進めてゐると云はれてゐる、廣東派が起てば馮玉祥の反蔣運動はこれに呼應して起きるであらう、又蔣介石の獨裁が強化されれば必然的に汪精衛派が動搖するに違ひない、ともあれ三中全會は支那の動亂激化の「一楔機に」はなつても、戰禍破滅への第一步となるものとは考へられない（十二月四日）

身の上相談

相談相手もなく思案に餘る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛で御申出下さい電話や面會はお斷りします

親に從ふか男の卒業を待つか

私は十七歳になる乙女であります、私の母は後妻で父は頑固な方の人です、あるブルジョアの子息と懇意になつてゐますが、彼は立派な男性で今は留學生として海を越えて遠く內地で勉強してゐます。私共は將來の約束までしてゐるのです、彼の親は事情をよく理解して下されましたが私の家では許して下されず近所の或る男に私の一生を頼まうとしてゐます、私は親に從ふかと思ふ事もありましたが、彼に對し濟まぬと考へ直しました私は純潔な處女です。彼からは時々手紙も來ます、私は彼を待つべきか親の意見に從ふべきかどうぞ御樣お教へ下さい（エル惱女）

まづ彼の本心を確かめなさい

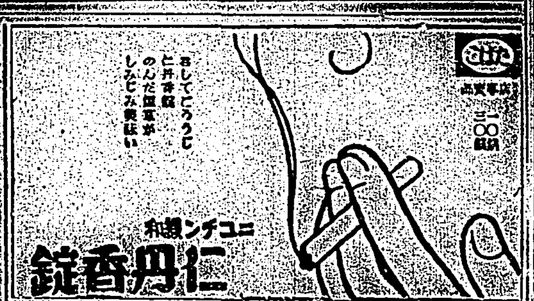
子は親の意見には無條件で從ふのを美德とし子の親に對する義務と考へられてゐるのですが臺灣の社會には、親が子の一生の幸福を考へてやるといふよりも聘金の額の多い事のみを考へ娘の眞の幸福などといふ事は考へない親もあるのですから一概にとも申上げられません。無條件で親の言ふ通りになさいとも申上げられません、あなたの場合は彼なる男性が本當に信賴し得る人物で卒業後必ずあなたと結婚するといふ事に間違ひがないなら親の意に背いても待つた方がよいと思ひます。然し先方が資産家であるに拘らず、あなたの親がソレに眼もくれず他に良緣を求め樣といふにはそれ相當の理由がある樣にも考へられます。尤も單に早く聘金を手に入れ樣との慾もあり得るのですから一概には言へません。兎に角內地の男性の決心を確かめて彼から彼の親を經てあなたの親御さんに婚約のことを話して貰つたら如何ですか。それを彼が熱意を以てやり親と親との間で話がつけば一番好都合です。若し彼に其の心がなければあなたが彼を待つてゐても仕方がありません。適當な良緣を自然的に求めねばならぬでせう。一應彼の本心を確かめた上に何れにかなさい（係）

美髪の精
養毛の素
カモ美容ポマード
大阪 石津製

御園クレーム
ハニッシング　ニャユセン
N-1

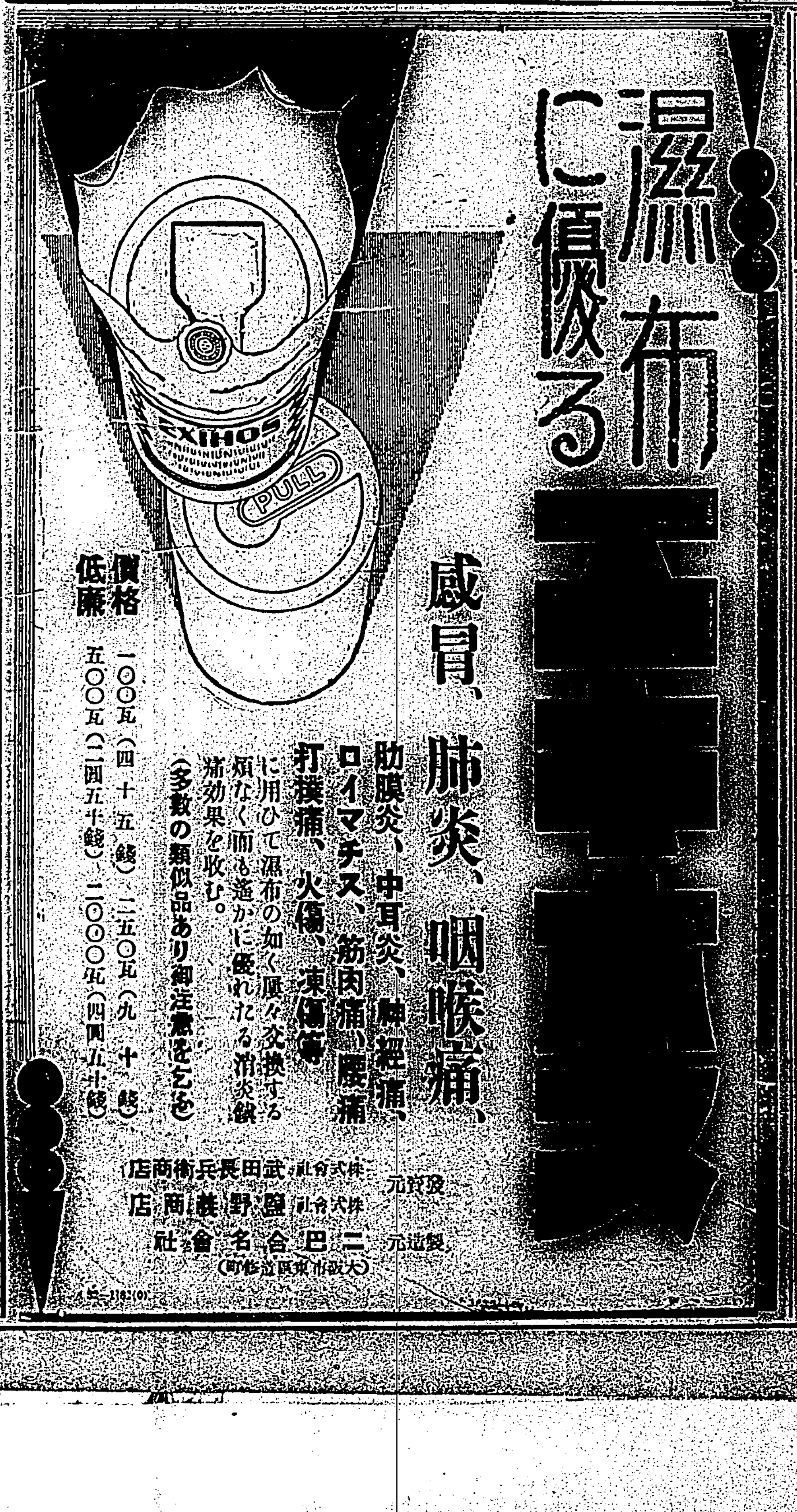
中學
僅かの會費で立派に中學卒業！今すぐハガキで申込めば二週間「立身法つき見本」を無代贈呈す
東京市神田區一ツ橋二六
帝國教育會出版部

藤澤の臟器製強力止血劑
トロムボゲン
出血
「喀血、吐血、出血の治療法」（申込次第進呈）
小兒疾患と止血劑
初生兒メレナ、重症消化不良、腸炎、敗血症、出血性紫斑病、急性出血性腎臟炎等に使用して每常快心の效果を擧げてゐる
內服用錠劑
（一〇錠入　七〇）（二〇錠入　一、二〇）（五〇錠入　二、七〇）（一〇〇錠入　四、八〇）
●他に皮下注射用・內服用粉末及液・撒布用粉末あり
T28
株式會社 藤澤友吉商店 大阪道修町

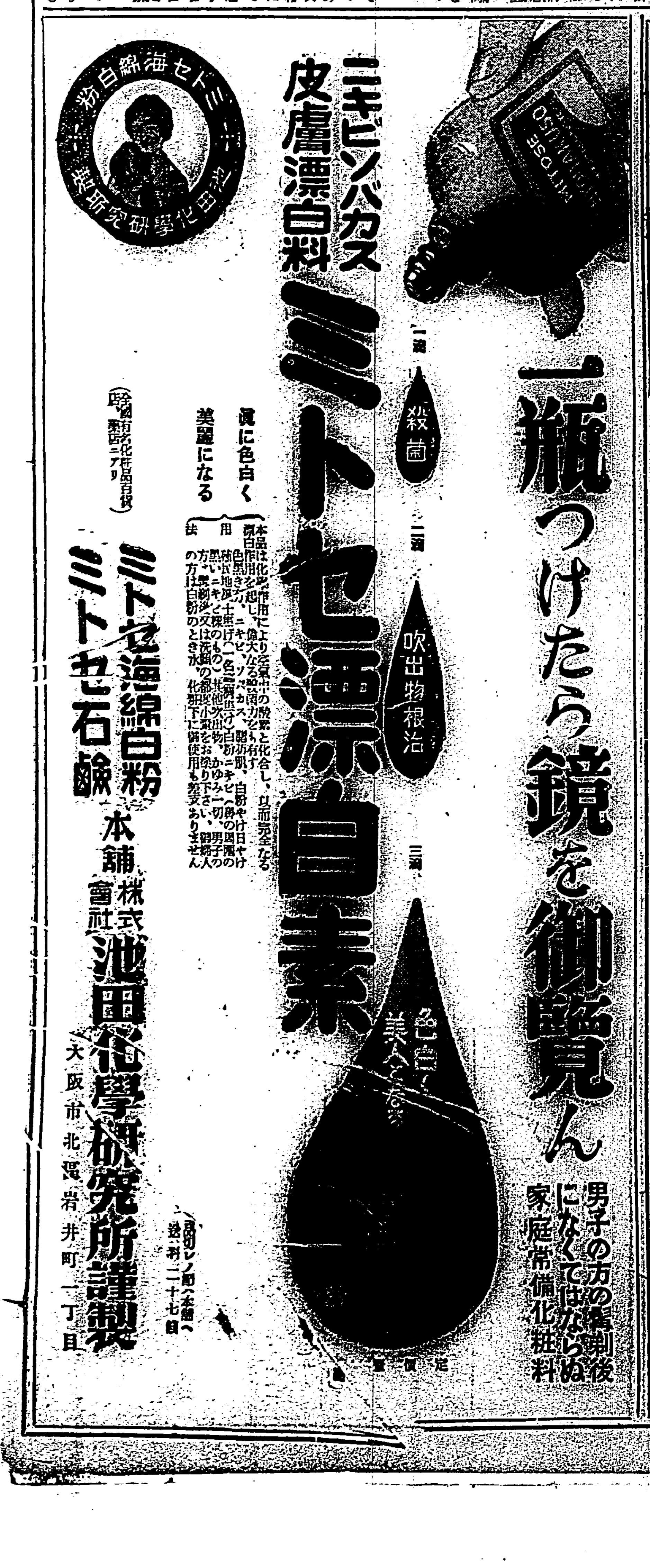


おしてごらうじ
仁丹香錠
のんだ息氣が
しみじみ美味い
品質本位
二〇錠入
仁丹香錠

登錄商標
專賣特許
ミクニ印
榮養煮る缶
贈つて安心
貰つて滿足
年末年始の御贈答品は
何と言つてもこれが一番
贈答品用
化粧箱三
個入あり
類似品あり
御注意を乞ふ
臺北市 宅商會
株式會社 松下商店 大阪・京町



濕布に優る
[illegible]
感冒、肺炎、咽喉痛、
肋膜炎、中耳炎、神經痛、
ロイマチス、筋肉痛、腰痛、
打撲痛、火傷、凍傷等
に用ひて濕布の如く屢々交換する煩なく而も遙かに優れたる消炎鎮痛効果を收む。
價格低廉
一〇〇瓦（四十五錢）二五〇瓦（九十錢）
五〇〇瓦（一圓五十錢）二〇〇〇瓦（四圓五十錢）
（多數の類似品あり御注意を乞ふ）
發賣元 株式會社 武田長兵衞商店
株式會社 鹽野義商店
製造元 二巴合名會社（大阪市東區道修町）



一瓶つけたら鏡を御覽ん
男子の方の髭剃後になくてはならぬ家庭常備化粧料
ニキビソバカス
皮膚漂白料
ミトセ漂白素
一滴 殺菌
二滴 吹出物根治
三滴 色白く美人となる
膚に色白く
美麗になる
用法
本品は化學作用により空氣中の酸素と化合し、以て完全なる漂白作用を起し偉大なる殺菌力を有す、ニキビ、ソバカス、肌荒れ、日やけ、色黑き方、地黑、[illegible]、その他吹出物、かゆみ一切、男子の方のひげ剃りあとの[illegible]
定價
（品切レノ節ハ本舗へ 送料二十七錢）
（賣捌 有名化粧品店藥店ニアリ）
ミトセ海綿白粉
ミトセ石鹼
本舖 株式會社 池田化學研究所謹製
大阪市北區岩井町一丁目
ミトセ海綿白粉 池田化學研究所製

大關山蕃害事件の
眞犯人逮捕の大活劇
酒宴の眞最中に
十名の決死隊で突入
獵銃と蕃刀を振翳して挑戰したが
機先を制して三名を逮捕

大關山の蕃害事件は眞犯人の逮捕でマ、カリワン社の大活劇を大詰に三ケ月間惱みに惱んだ迷宮の扉が目出度解放されるに至つたラマタセンセンがこの事件に關係ある事を察知した當局は彼の逮捕によつて一切の扉が開かれるものとして全力を集中してその足跡を辿つた所々彼はマカリワン社に潛伏してゐる事を知つた捜査隊は寺澤警部補を隊長に大森巡査等十名の

決死隊を 組織してマカリワン社に突擊する事になつた十二月十七日午前一時一行十名勇躍してトワロンを發し午後六時漸くにして同社の頭目ビリアンの家屋に辿りついて見ると恰も酒宴の最中であるドヤ〳〵と踏込んで見ると目ざすラマタセンセンが頭目社にその長男サブサブ四男ソバレと共に車座に成つて悠然と構へてゐるではないか、逆に獵人であるこの不意の闖入者に一時は吃驚したが直ちに構へ直してサブサブは獵銃をさし、ラマタセンセンは氷の如き蕃刀を振り翳して一行にいどみかかつて來た寺澤警部補は機先を制して一齊射擊をして銃殺すると一喝した、この勢ひに呑まれて彼等がひるむ隙に乘じとやと手とり足とりして一座の中ラマタセンセン、サブサブ、ビリアンの三名を捻じ伏せ縛り上げてしまつた

凱歌を奏 した一行は一刻も猶豫ならずとて直ちにトワロンに引き揚げ一方蕃東隊に急報して大山林機中の坂出、井手兩警部補の急派を乞うた、兩氏は山坂重疊の細道を徹夜強行してトワロンに急行し取調べて見ると意外にもソバレの口から兇行に加擔した事を自供するに至つた、其の意外に驚いた捜査隊は里壠に後送する一方イカノバンに殘るラマタセンセンの二子逮捕に向つた

嶮崖に圍まれた
一軒家で二子を逮捕
泣縋る蕃婦十餘名

このイカノバンは[illegible]の頂嶽地とも云ふ可き要派の地で未だ官憲が足跡を印した事のない地であつた、この本據を突く事は理蕃政策多年の大懸案であつたが何分にも想像も及ばぬ絶壁に圍まれた一軒家の事とて涙をのんで目的を遂げる事が出來ずにゐた、ところがラマタセンセンを逮捕したままその二子を放任しておく時は野獸の如き彼等の事であるから如何なる兇行を演ずるかも知れずとて十名の決死隊を組織して捜索を開始した、頭目の家に四名と共に六名ゐる情報を得てゐた一行は十八日午前八時出發午後六時辿りついて見ると涅槃のやうな

靜けさの 中に燈火もなく一軒の家屋が浮かび出されてゐる一行がどや〳〵と闖入すると女十餘名に交つて果して二子がゐた、兩彌に抵抗するのを有無を云はさず縛り上げた、婦女子に恐ろしい暴威に打たれたのであらう、二人に泣き縋つて放さぬのを漸くにして振り放しカウトウ社に引き揚げる事にした、途中二男のラホが逃れぬ運命と覺悟したのであらう、名もなき大斷崖から捕縄のまま飛び下りたが幸ひにつり上げるなどの活劇もあつたが山中に一夜露營して無事カウトウ社に歸著する事が出來た、これによつて加害者並に謀議に參加した蕃人を全部逮捕する事が出來たのである

兇行の前後

時を移さず取調べの結果大關山の一兇行はかくの如くして行はれた事が判明するに至つた

彼等は九月十九日兇行を敢行したのであるが番社川波の二日前即ち十五日頃元兇タロムがラマタセンセンを訪問して出草の相談をなした愈々兇行の議一決すると十七日蕃名トンコレデで待ち合せをなしここで合流し[illegible]を迎つて中央山脈を横斷し十九日加害地に到着し直ちに出草者六名が二隊に別れ二ケ所に潛伏して

警官の 通過を待ちうけた、十時頃から狙ひを定めて待ち受けてゐた神ならぬ身の知る由もなく午後三時頃に今回の被害者三名が山から降つて來た、タロム、ピシヤド、サブサブの三名は各々二名づつを狙つて一齊に狙擊した、タロム、ピシヤドの二名の彈は見事に命中して二名はその場に斃れたがサブサブの彈は幸に外れて甲斐巡査が九死に一生を得た、サブサブが兇行をすら〳〵と自白したのは彼の彈が命中しなかつたので罪がないと思つてゐるからであつた、蕃人らしい幼稚な考へである

大關山を中心にした地域は全島唯一の未歸順蕃の蟠居するところである、皇化に浴する事なく彼等は年一年と傲岸

不遜 になつて行く、これが今回の不祥事件をまき起した原因であるがこの點に留意した當局ではこの機を逸せず徹底的な理蕃對策を講ずる事になつたのでこの神秘境もやがて其他の地方同様皇化に浴ふ事になるであらう

有るがまま
見た儘の滿洲（三〇）
臺灣緣故者の活躍
滿洲に使して　宏堂生

その外臺灣緣故者としては國の總務部長であつた法制局長の三宅福馬氏と吉林省の總務廳長の三浦碧氏がある

×　×

十一月の上旬と云ふのに新京は零下八度の寒さであつた、滿洲國の衞兵が銃付き鈕釦を持つて門の左右に嚴めしく監視してゐる國務院の入口に自動車を着けて通行票を所持せぬ私は大手を振つて通行票は百枚も持つてゐるやうな風で入つて行つた、廊下をぐる〳〵廻つてやつと法制局に辿りつき局長室を訪づると丁度會議中であつたが直ぐに會議室から飛び出してつか〳〵とやつて來るなり無言のまま握ぐ私の手を握りしめた、私は始めて懷かしの三宅氏を知つた

×　×

氏が新國家の法制局長に任命された當時氏をよく知る者、知らざる者も、その經歷なり得意とする手腕から觀て意外に思つたが併し刻下の創業時に當つて縱令な法理について口角泡を飛ばし重箱の隅を揚子でほじくつてゐるやうな時ではない、よく大局を通觀しあれ丈けの熱を以つて當れば職分を恥かしめるやうな事は先づあるまい、氏が今日の榮職をかち得たのは關東大震災當時遞信省にあつて通信網の復舊に非凡の手腕を振ひ、これが軍部に認められて今日の果報にありついたもので、當時川村總督の下で働いてゐたので總督とも親しい間柄である

×　×

三浦氏は三宅氏と異なつて衞生課長から高雄、臺中、臺北の知事を歷任し臺灣との關係は諸方面に深い、裝甲列車が威勢よく黑煙を吐いてゐる吉林驛に降りたのは午後四時頃で冬空の空は早灰色に黃昏れてゐた、驛から馬車を驅つて三浦氏の公館を尋ね廻つたが仲々見つからぬ、一時間餘市內見物旁々驅け廻つてやつと探し當てた氏も非常な歡待をして吳れた、同夜は日本人料亭に案內され、[illegible]のやうな座敷で大いに痛飲したが臺灣時代以上の元氣であつた

×　×

翌日省政府の公室に訪ねた赴任以來一ケ月間の感想はかうだ、臺灣や關東廳時代のことを考へると滿洲は愉快だ、何しろ吉林省の廣さはプロパー日本と同じ面積で省下に四十三縣ある、北はハルピン南は朝鮮まである[illegible]だ（尤も四十三縣の內二十縣位は匪賊の勢力下にあるのであるが）心から愉快らしい樣子であつた因みに總務總長は省の人事と豫算を握つて居り省長熙洽氏は財政總長を兼ねてゐる關係上實に新京に滯在してゐるので事實上の省長である、臺灣關係者の話によると氏は軍部は勿論內外共評判がよく男振りを上げてゐると云ふことであつた、氏の現在の地位は經歷から觀れば大した出世ではないが關東廳の內務局長であつた關係と兒玉氏の推擧によつて拾はれたと言はれてゐる

×　×

この外元北府院の藥局長であつた丹野君が民政部衞生司の技正になり主に阿片の仕事を一手に納めて臺灣組の爲に大いに氣を吐いてゐる、同君も近く官僚官に榮轉するらしいが大體に臺灣組は皆元氣がいい（寫眞上は三宅氏下は吉林省政府門前にて三浦氏と記者）

二ケ所で大物
何方が本物か
ロープはしつかり今尙は握つてゐる

【基隆電話】早瀨遭難推定位置にあつた特務艦朝日は二十一日午後六時過基隆に歸港、第五番ブイに繫留したが、繫留と同時に井上海軍武官が同艦に赴き捜査隊長山田大佐、同艦長小楠大佐、敷波艦長中原中佐等と共に一室に閉ぢ籠つて何事か

打合を 行ひ終つて艦長小楠大佐は語る

推定現場本二十一日の模様は小雨が降つて居り、風速十メートル、浪の高さ三メートル、二十日朝田村丸の引懸けたのは第二十六驅逐隊の引懸けた所から西北に二、三千米離れてゐる、今[illegible]とロープを握つてゐるが潛水夫は全部手繰船高雄丸に移してゐるので凪ぎ次第潛水作業を開始するであらう、五十尋もあつて

潛る時 はロープを傳つて下りねばならず、その上水の中ではどんなに電氣をつけても數呎位る先しか見ることが出來ぬので潛水作業も却々困難だ、現場には五十鈴が錨を入れて監視して居り、その周圍を他のトロール船が播海してゐる、今の所二十六驅逐隊と田村丸とのどちらが本物であるかは判らない

海壇島附近に
手掛りなし
北上は一路横須賀へ

【馬公二十一日發電】海壇島附近捜索中の軍艦北上よりの情報（午後四時）によれば捜索するも附近海上何等手掛なし、本夕刻まで北上は捜索してそのまま横須賀に向け歸港の途につき第二十六驅逐隊のみ馬公に向ふ筈であると

眞相取調べを
守屋總領事に賴む
井上海軍武官が人を介し
福州の漂流艦問題について

【基隆電話】來基中であつた守屋福州總領事は二十一日午後四時基隆出港の商船福建丸で赴任の途についたが、井上海軍武官は各艦との打合其他で多忙を極めてゐたため福州よりの早歸に關する入電の眞相取調べ方について人を介して依賴しただけで會見はしなかつた、尙福州よりの其後の情報につき同武官に訊ねたが何も入つてゐないと一言も語らなかつた

白晝、生阿片を
大聲で賣り歩く
船員と共謀の密輸犯人

【基隆電話】二十日午後二時頃基隆市福徳町福徳市場前で白晝大膽にも支那生阿片を散藥用の紙に包んで一服幾らと大聲で買ひ手をさがしてゐる男があたのを密行中の基隆署刑事、張三刑事が發見取調べたところ右は元町二の三前科一犯無職江阿燦（六）と云ひ、支那人船員と結託岸より生阿片の大密輸入をなし藥の如く包裝して大膽にも賣り歩いてゐたものと判明したので直ちに同人宅の家宅捜索をなし生阿片三百匁及び煙具一式を押收した

馬公入港
北上はけふ

【馬公二十一日發電】軍艦北上は福州沖捜索をなし本日同地から馬公に向け二十二日馬公に入港し燃料補給の上横須賀に向け出港の豫定である

大部分は
吳に引揚げ
朝日、五十鈴十三驅逐隊で
當分捜索續行

【馬公二十一日發電】要港部發表　朝日、能登呂、敷波、第二十六驅逐隊は一先づその所屬港に引揚げる事となり第二十五驅逐隊は北上すべく相次いで引揚げる事となるべく捜査は朝日、五十鈴、第十三驅逐隊で當分續行する豫定である

所屬港へ
能登呂
廿五驅逐隊も

【基隆電話】基隆に碇泊中であつた特務艦能登呂は二十一日午後一時、第二十五驅逐隊は午後五時豫定通り所屬港に向けて出港したが、同日朝入港の第十三驅逐隊は大馬力で燃料清水を補給の上第二十五驅逐隊の後をうけて遭難推定現場に再び急行した、同午後六時入港の特務艦朝日は探照燈を照らしつつ徹宵燃料清水補給に英敏の準備を整へて居り、二十二日作業の濟み次第又も現場へ[illegible]同艦に乘込んでゐた[illegible]隊長山田大佐は敷波に乘艦し吳に歸る豫定であるが同艦は二十二日朝出港の豫定である

天下の銘酒　白雪　シラユキ　攝津伊丹　小西本店

店開き
臺北商工信組
二十一日から

臺北商工信用組合は總ての準備完了を告げ二十一日午前九時から臺北市役所勸業課內の一部に於て愈々店開きをなした、同日午後二時までの成績は組合加入の申込をなした者七十名で其內拂込をなした者五十八、五百口といふところで新規申込は一口の拂込五圓であるので大抵一人で十口位となつて居て一口二口の申込は殆どない、尙全部の加入申込者は三百名に上つたが早くも貯金をなす者が現はれ初日には三人八十二圓の貯金があつた

伊藤中尉の遺骨
けふ悲しき凱旋
基隆重砲兵大隊で英靈參拜

【基隆電話】北滿に於て名譽の戰死をとげた伊藤飛行中尉の遺骨は門司迄出迎へた根本少尉が捧持し二十二日入港の吉野丸で基隆著の豫定だが、軍部並に市內官衙、民間代表者等は船內に出迎へ遺骨はそれより自動車で基隆重砲兵大隊に運ばれ同所で要塞司令部員・重砲兵大隊兵員等の參拜がある筈

臺北驛通過は
今夜十時過ぎ
多數の送迎希望さる

去る十一月二十六日北滿七嶺附近に於て名譽の戰死を遂げた屏東飛行第八聯隊附伊藤中尉の遺骨は二十二日基隆著の上午後十時二十三分臺北驛著列車にて通過に付成るべく多數驛頭に參集の上敬弔の意を表するやう臺北市役所では希望してゐる

新竹鄉軍が夜警

【新竹電話】在鄉軍人新竹分會にては市內の安寧秩序を維持し火災盜難を豫防するため二十一日から年末まで警護隊員を以つて夜警を行ふと

二漁港新築に
地元民の喜び

臺北州では明年度に於て宜蘭郡大溪及び淡水郡石門庄の漁港を新築することになり既に協議會を通過したので地元民の喜び一方ならず、橫山宜蘭郡守、頭圍庄長、田中淡水郡守、石門庄長らは二十一日來北臺北州知事其他を訪問して御禮を申述ぶる所があつた、尙頭圍庄民代表一同は宮田勸業課長に宛漁港の協議會通過は喜びに堪へず、この御厚意は終生忘れ得ず斯に鑑みて感謝の意を表す、今後共宜しく御賴み申すとの祝電を寄せて來た

大學の野球
一シーズン案に
果然反對の火の手
早大側で對策を協議
明法の歸京後具體化か

【東京二十一日發本社特電】東京大學野球聯盟加盟校當局と文部省山川體育課長との懇談會席上某校の某氏より提案されたリーグ戰の一年一シーズン案は文部省側の贊成をきつかけに加盟六大學當局の追隨となり我球界全般に

一大波紋 を起したが、一シーズン案が採用された時は殘りのシーズンに對する處置について各校當局と文部省側との意見に相當懸隔あり萬一文部省案とも言ふべき試合數の制限となつて現はるれば我球界は著しく衰退を招くものなりとの杞憂が球界を蔽ひ、各校野球部先輩其他關係者間に一シーズン案

反對の 聲が熾んになつて來た、早大野球部は一シーズン案が野球發達を阻止するものなれば敢然反對の烽火をあげる事となり市岡、中村、其他有志は二十日正午常任委員會を開き對策を協議し明法の歸京後具體化するものと見られてゐる

ザエカル（ユーゴースラビヤ）の兵舍に
爆彈を投じて爆發
犯人は判らぬがブルガリヤのものか
バルカンは不氣味な緊張

【ベルグラアド（ユーゴースラビヤ）二十日發電通】イタリー首相ムツソリーニ氏が中部ヨーロッパ及バルカン半島の領土分佈變更を提唱した事は既に歐洲に重大なセンセーションを起し、バルカンの形勢は不氣味な緊張を加へてゐる折柄十九日夜半ユーゴースラビヤとブルガリヤの國境に近きザエカルに在るユーゴースラビヤ國軍の兵舍に何者かの一團が來り爆彈十四箇を投じた椿事が勃發した、爆彈の內二箇は不發に終つたが十二箇は夜半の靜寂を破つて轟然たる大音響を以て爆發し附近は恐ろしい大混亂に陷つた幸ひ死傷者もなく損害も極めて僅少であつたが兵舍附近は一時戰々たる恐怖に襲はれ物情騷然としてゐる、尙爆彈は專門家の鑑定に依ればブルガリヤの陸軍で使用してゐるものと同じものであるが犯人は何國の者か嚴探中

本社工場參觀（二十一日）

總督府警察官司獄官練習所特科生十名杉山敎官引率

謎の人骨
漂著露船に
秋田縣の海岸に漂著

【秋田二十日發本社特電】十九日午前八時頃秋田縣由利郡西目村出戶海岸に露西亞の難破船が漂著したのを同村の佐々木兵二が發見大騷ぎとなつた、同船は長さ六十三尺、幅九尺五寸、深さ四尺餘の發動機船で船中からは靴六足とルーブル紙幣十六枚、人の齒三枚が現はれ而人間の下顎一つ殘存し其他ロシア文學の書類らしきものがあつた、同村では取敢ず水難救助法により同船を保管してゐるが人の下顎があつた所から見ると乘組員が遭難し飢餓のあまり仲間の肉を喰つたのではないかと見られる

大石橋飛行場で
飛行機燒く
格納庫も燒失し
爆彈二箇破裂

【東京二十一日發電通】大石橋飛行場における飛行機燒失事件に付き陸軍省は二十一日左の如く發表した（二十日陸軍省著電）

二十日午前四時頃大石橋飛行場に於て出動準備のため一飛行機は格納庫にてその機關部を溫めつつある際、附近のガソリンに引火し該機及び格納庫を燒失した、その際機士に搭載してゐた爆彈二箇破裂したが幸ひ死傷者は無かつた

附記　冬期に於ける滿洲では飛行機具が凍結して溫めねば役に立たぬのでこの作業中起つた稀有の事故とされる

樂土建設の
鏡泊學園に許可
國士館で幹部養成

【東京二十一日發電通】吉林省鏡泊湖附近に集團農業の樂土建設と滿洲開發の先驅者養成を目標とする鏡泊學園設立計畫は十月滿洲國政府より正式許可あり、以來著々準備を進めてゐた所、學園組織の

具體案 を完成したので先づその手始めとして學園の幹部を養成することとなり、國士館高等拓殖學校に修業年限一ケ年とする專攻科を設け近く幹部候補生志願者を募集するに決した、同學園の目的に鑑み特に指導部養成に力を入れてゐるため一切の形式的學歷を問はぬと、尙修業の上は學園用地より一人二十町歩宛の耕地を

分讓さ れ學園の指導訓練に當ることになつてゐるが學園には毎年三百の移民を十年繼續して收容し得ることになつてゐる

主家の金品
約三千圓を横領
カフェーで豪遊

本年八月頃より市內カフェーで店員風の內地人男が身分不相應な豪遊を續けてゐる事を探知した臺北北署高澤、陳孟喜兩刑事は豫てから同人の擧動を注意中のところ數日前になり同人がオートバイを飛ばして市內を徘徊中を發見、擧動不審として逮捕し取調べた結果、右は原籍地石川縣羽咋郡羽咋町一の四四番地現住所市內大和町三の一福岡家具店店員高見清信（二九）と云ひ本年八月頃より數十回に亘り主人の商品（二千餘圓）を騙取してダンピングした他千餘圓に亘る横領を働きそれでオートバイを買ひカフェーその他に出入しては豪遊を續けて來た事判明した、目下餘罪取調中である

壽府からの
放送順序
（二十二日）

【東京二十一日發電通】二十一日朝ゼネバの帝國代表部よりの電報に依れば放送順序左の如く決定した

二十二日午前七時一分より十分まで「聯盟に於ける日支問題其後の經過」帝國代表部事務官橫山正幸

七時十分より二十分まで「講演」帝國代表部首席松岡洋右

中瀨知事が操觚者招待

中瀨臺北州知事は臺北在住の新聞雜誌記者三十餘名を招き二十日午後六時から梅屋敷に於て忘年會を開催した

新年行事に
關する宣傳
基隆同風會が

【基隆電話】基隆同風會では昭和八年新年行事實施及び中小商工業者救濟對策として一般に注意を喚起する爲め二十日ビラ多數を市內に撒布したがそれによると

△新年行事　各戶門松を樹て門松を飾つて新春を迎へる事、國旗を揭げ新年の抱負に祝意を表する事、名刺交換會が終れば回禮を避ける事、紋服又は禮服で近隣神社に參拜する事、各寺廟の新年式に參拜する事

△中小商工業者救濟對策　入用の品や諸工事は凡べて基隆市內で用を足せ、借りた金はすぐ返せ、買ひ物は成るべく現金で

蒙古人部落を
盛んに掠奪
張殿九の敗殘兵

【チチハル二十一日發電通】園子山方面で我軍のため打擊を受けた張殿九の敗殘兵約二千はその後西方に向け逃走し、洮昂線西方蒙古の札來特旗一帶に侵入し各地の蒙古人部落を掠奪しつつある事判明した

大豆出廻活況
高波〇〇〇
の到著で

【ハルピン二十一日發電通】大日高波〇〇〇は泰安鎭到著と共に綏化南方に散在せる匪賊團は南方に向け逃走し泰安鎭市中は高波〇〇〇の到著に依り治安維持全く成り大豆の出廻り活況を呈してゐる

神戸爲替氣配强調

【神戸二十一日發電通】昨日軟弱を示した爲替市況は本日入電の米日爲替十二仙二分一厘を受け氣配强く寄付對米二十一弗四分二十一弗四分一厘唱へで商內は何れも見送りの態で正午は變らずを唱へてゐる、尙上海對月は七十五兩で前日に比し四分三高である

基隆高等小學
廿六日落成式

【基隆電話】かねて基隆市天神町山上に新築中であつた高等小學校は竣功したので愈々來る二十六日午前十時から同校に於て落成式を擧行する事となつたが式後さらに保護者會主催で祝賀會を開催する

酒の上の喧嘩
日本刀で斬る

【基隆電話】基隆市仙洞町一〇二無職山田初（三〇）及び田寮町一九番地田辛市（三〇）の兩名は二十一日午前二時半頃天神町一四〇竹の家樓にて飲酒中些細な事から口論をはじめ山田は突然隱し持つた刃渡り一尺餘の日本刀を以て田辛の左手首に斬付け全治二週間餘りの手傷をおはせて逃亡した、目下基隆署で行方捜査中であるが山田は不良靑年團の首領株として擧げられ警察の厄介になつた者である

洋樂レコード鑑賞會

在臺北の洋樂レコード鑑賞會の第七回鑑賞會が廿二日夕七時から臺北市西門町敎育會館三階に於て開催されるが曲目は左の通りである

序曲コリオラン（ベートヴエン）、セレナーデ（モツアルト）、挽歌（フオーレ）、洋琴協奏曲（ベートーヴエン）

臺北檢番
勅題
歌の稽古

臺北檢番では例年の例に倣つて勅題「朝海」に因む新年の唄を作り二十、二十一日の兩日稽古をする事になつてゐるが新年の唄は次の通りである

◇新年の唄（長唄本調子）明け渡る今年の朝の四方の海、長閑に晴れし日の本や、千船萬船河口に滿ち、津々浦々も月に日に、榮え行く大御代の、君が統きて松の風、合　波の鼓も奏すらん

◇新年の御寓つき（常磐津）鶯や君が初音を松竹の、契は深き床の山、霞の雨も霽とけて、長閑けき心何んやら、見しや誠の初夢に、逢ふてめでたき春の酒事

特別廣告　內科花柳病　本町二中瀨町　電話六二七番　山本醫院

喜劇 春を吹きつ！　新興キネマ太泰現代劇部作品◎現代劇篇の朗かな傑作　新入森山保毛利正樹近松里子久米讓子主演 ◎草間實・德川良子・松井潤子　松林清三郎久野あかね主演　江藤新平　勇敢なる刺戟手　[illegible]館の方

漢文臺灣日日新報

至一月十六日次回會議
希考慮能得調停方法
委員會議長代理聲明

二十日壽府電。十九國委員會議長代理休麥爾氏。於會議散會後。發左記聲明書。

一、決議案並理由書所關兩當事國之交涉。本質的亦須長時間。且與極東電報往復。須費時間。務希重聯盟規約期限制限。

一、日華紛爭問題。不獨聯盟自體。即非加盟國。亦影響於國際協調根本原則。約束種々努力。

一、現在起草委員會決議案。意見適異。此確信兩當事國得讓步者。欲避此失敗。調停與交涉實必要。十九國委員會。爲考慮當事國會談及關係各國之解決法。決定與以時間。至來年一月十六日次回會議。兩當事國。希考慮能得調停方法。

務使方針貫徹
休會中活動不可緩
我代表部商約

二十日壽府電。本年聯盟會議。二十日經告一段落。我代表部。自午後三時半。開全體會議。各代表全部出席。各交換情報後。商約於休會中活動斷不可緩。特如大公使。連絡須緊密。各於任地。與當局折衝。使既定方針貫徹。極力努力。更磋議其手段方法等。午後五時過散會。

繼續努力以圖解決
松岡代表對記者團聲明

二十日壽府電。本年會議終末。松岡代表。對記者團發聲明如左。

日本代表部。對十九國委員會議長休麥爾氏所發表日宣言。主右委員會審議中特殊複雜問題。欲進於建設的解決。所示誠意希望。認大有價値。日本代表部。自覺該問題有國際組織重大意義。此事實乃我代表部。於壽府努力。欲使目下事業成功。且確保日本權利。固守極東平和秩序。又使聯盟平和事業強化。故日本不以規約適用。而使聯盟自身。日本代表部。於此精神。希向明期解決。繼共同努力也。

中央全體會議通過
集中國力挽救亡案
孫科入中央策謀

二十一日南京電。孫科以抗日爲目標。標榜舉國一致之集中國力挽救亡案。二十日於南京開第三次中央全體會議。已見修正通過。同案包含政務委員會廢止等。謀入中央。其內容如左。

內政問題

廣集人材。以防外侮。實施左記各項。以圖一切內亂根絕。

一、政府保障人民自由。禁不法干涉。不可濫行逮捕監禁。

二、各地設政務委員會。現存之會。無必要則廢之。

三、地方政治。依黨外機關。臨時機關。或個人私爲的命令。不可亂行政系統。

四、中央派政治視察員。使其調查報告地方人疾苦。公表此報告對策。以問諸輿論。

憲政準備

一、集中民族全力量。最短期間。依建國大綱。準進行地方自治工作。準備憲政開始。

二、明年三月。開國民大會。議決憲法。決公布期。

三、立法院速製憲法草案。使國民研究。又同會議。廢各省政府委員。改省長制。決議通過。其細目於中央政治會議決定。

與國民用一致精神
自新春極力奮鬪
松岡代表感想

二十日壽府電。會議一段落。問松岡代表以傳達於國民之感想如左。

壽府到著以來一月。因代表部全員努力。日本立場及決心已明。然今後雖費事。日本人精神。非物質文明之白人。所得易知。乘滿洲問題機會。示眞正日本於彼等。乃吾人任務。且爲全人類之幸福。然結局解決。被滿洲國現實支配。歐美人關滿洲問題抱悲觀的觀察。吾等樂觀之。東京驛頭致賀港頭之國民熱誠激勵。今猶在眼前。不勝感激。國民及我等。當協力一致。以不倦精神。自新春極力奮鬪也。

松岡代表
訪卓總長
述日本決意

二十日壽府電。松岡全權。二十日午後五時。訪卓問陶事務總長。謝其奔走之好意。且云至今日對決議案之本國政府詳細意見。全部到著。帝國雖發生如何事態。亦不得再讓一步。依卓總長希望。說明中國及滿洲近狀後。六時辭去。總長頗知日本決意。今後氏之態度。料想必相當變化也。

壽府廿二日
放送順序

二十一日東京電。據二十一日朝。壽府帝國代表部電報。放送順序決定如左。

二十二日午前七時一分至十分。「聯盟日華問題其後經過」帝國代表部事務官橫山正幸。七時十分至三十分「講演」帝國代表部首席松岡洋右。

八通關橫斷道路
大有國立公園價値
阿部軍司令官感想談

阿部軍司令官。帶同田中參謀。宮內副官。爲實地踏査八通關越中央山脈。十二日臺北出發以來。經九日強行日程。橫斷歷代總督軍司令官未經過同山脈。二十日午後六時一分。歸抵臺北。車中對記者質問。先敍踏查理由。次述感想如左。

據余所實地見聞。八通關道路。非無心寒之處。然山一萬尺以上連峰屹立之。本島地勢而言。殊覺良好。該道路目的。殆爲理蕃上之必要。而經警察官之手造成。第爲一般交通路。其路線選定。極爲適當。徵諸前項臺中花蓮港兩州廳。爲自動車道測量之線路無大差已自明。現在交通路。出于理蕃目的。然該道路。非只此價値。于將來開發。蟠居本島中央之諸山岳中央部山地。而爲產業的利用。大有價値。蓋如本島地勢。對山岳地方資源開發及耕植。唯藉道路之開拓。且該道路。有新高登山之便。及八通關以東。秀姑巒山。盧牡拉斯其他秀峰。或斷崖。溪谷或飛瀑。千古不入斧鉞之原生林。眺望其左右諸風景。便可爲大公園之價値。此道路若稍便于都會人士之往復。則可期世界鑑賞家之來遊。如此則不須拘泥于阿里山國立公園或太魯閣公園等之一部。而提唱大臺灣國立公園爲有意義也。至于軍事上同道路之價値。一瞥地圖。現在交通關係。其如何迂遠不自然。不言而知。然當局既有致念于本道路之完成。務望日早一日實現之也。又余者番通過該道路。而對從事開鑿此道路諸人之努力。深表敬意。殊如此等。殆經警察官之手作業。如沿道所要家屋。其他構造物。給水設備。並橋梁等一切所要材料。並其工事。悉由警察計畫施設而成。觀此使都會生活者。自省慚愧。應自不少。番族行中。關警戒。宿營。鄉導等。對臺中州及花蓮港關係各位。懇切周到。深表感謝意。並對沿道警察官時常辛苦。尤爲表示敬意及同情。以後冀得舉理蕃治績也。

國府發表原產地證明條令
將自明年六月實施
謀排日貨之徹底

二十日南京電。國民政府。於二十日。發表原產地證明條令。欲自明年六月實施。該條令五條。極其簡單。一切輸入貨物。依貨物性質。除不得證明者外。凡貨物及包裝。須用漢字。明記原產地。無者則於稅關吏立會前追記之。不追記或不能證明者。於稅關沒收之。國民抗日思想普及。欲使合理的排日貨徹底也。

伊藤中尉遺骨
二十二日夜車
通過臺北驛

在滿蒙野戰死之伊藤中尉遺骨。二十二日吉野丸抵基。是晚十時半夜車。通過臺北驛。構內有在北將校多數迎送。臺灣軍。是日特派西田副官。赴基隆迎接。又現在視察花蓮港殿下之上野高級副官。一旦歸北後。再赴屛東。列其慰靈祭云。

臺銀法改正或延期
發行制繼續不利
似關鮮銀法改正

臺灣發行保證準備限度。擴張三千萬圓（現在二千萬圓）。限外發行稅率。降爲年三分（現行五分）案。追隨既改正之日銀。當然于來六十四議會提案。期待實現。然至近日。政府突然欲將提案延期。臺銀本店亦接同樣來電。關此據同行當局語次。保證限度擴張。及發行稅降下。擬于日銀改正同時而行。而日銀從來一億二千萬圓者。一舉而爲十億。同發行稅年五分。斷行爲三分。是不獨爲權衡上。對鮮銀得以日銀券。代用準備金之有利便法。而臺灣則無之。保證準備。僅有二千萬圓。故常發行限外。最近至爲發行一千萬圓以上。如此實情。殊如低金利如今日。當行務望從速實現。如提案延期果事實。誠爲遺憾。發行稅年五分者。限外發行券之原價五分以上。如果高率。現在殊如以後。不得不追從使日銀爲先導之政府低金利政策而行。政府便宜上理由如何雖不知。或因臺銀法改正上程。同時鮮銀法。亦擬爲改正。或爲此便宜上。致生提案延期事情也云々。

阿里山線故障

阿里山線樟腦寮至奮起湖間四十三號隧道。長七百六十八米突。爲該線中最長者。自數日前著手補修。二十日午前五時。約距隧道口五十米之隧道內。因地盤不固。沈下二間。二十日二十一日兩日運材列車不通。而客車於隧道內約五丁。途步連絡。二十三日始可復舊云。

時評

○中俄復交。中國々家主義者。反對理由。堂々正々。國府當路。依然忽之。豈忠誠謀國之道哉。

○中國民窮。而官不恤。本易赤化。今復與其作俑之蘇俄親交。後患萬無終免之日矣。

○國府去二十日。頒布原產地證明條令。意在徹底抵制日貨。或出於一時激憤。然此必至於誤國殃民矣。長國家者。其深省之。

○臺北州。既生長十三年。至於今。最切要之基本財產。尙在有無中。未聞有人鞭撻之。主張之。督勵之。拘々於眼前之收入。不大可怪乎。

○基本財產造成。如內地有力市町村。有種類不取之民。而歲出入豫算。自紓々然有餘裕者。試問臺北州何時有此能力耶。

○誠有此能力。亦當先行社會政策。捐免後拖車稅。自轉車稅。及轎稅等。爲最合理。此不能實行。一大憾事。不思補救。已爲甚焉者。

○遊興稅。內臺同課。且奢侈遊覽。亦皆有稅。乃有在議政壇上。大言主廢。期破全國之例。他州或起效尤。欲防人之思想不更惡化。不可得也。

○此等言動。同於武斷。當路不之裁抑。而反有辭以默。似乎默認之。皆欠愼重。眞地方自治制。愈不得不促進明矣。

○眞自治制縱實行。然或此等人當選。黨同伐異。不顧大衆生活。不管全體福利。則貽害於胡底。地方自治運動者。可不深慮力防歟。

基隆市
防火宣傳

來二十三日。亘臺北州下基隆市北基隆市。亦決定警察署員。消防組壯丁團總出動。於是日午前八時半。勿論警鐘臺。各工場報午機。及寺院梵鐘。一齊鳴動。午前七時半。既早召集全員。開始行動。撒布宣傳單。或舉戶別宣傳。午後一時。有消防自動車行列宣傳。各學校。自午前八時起。舉行關於火防之授業。終則各校別。移入消防演習。一接到火災電話。消防立行出動放水。舉兒童避難作業。此外且有特別宣傳。並在各街十字路。懸防火宣傳之大行燈。而義重町之街燈。則書火之用心赤字。俾行人注意云。

日本軍艦漂著
一中華人向福州領事館
請以三萬圓購買船體

就疑似早蕨之漂流船。詳細調查。爲去十九晚。有中華人。向福州邦人藥商大橋林藏氏。報告福淸海上有煙筒三本之日本軍艦漂流。是以由大橋氏。急行調查。轉經氏手。打電於臺北。然二十一日午前十時。更有一中華人。因福淸北方海岸。有煙筒三本之日本軍艦漂著。向我領事館。申請欲以三萬圓購買該船體。現正調查中。因有此電報。當局懷疑。正待其後情報。

沈沒乎
漂流乎

福州居留民會高橋氏。對臺北小閩江氏入電。於各方面。異常衝動。（推定位置。觀之至今各艦船網得物。二十五驅逐隊。在北緯二十七度四。東經百二十二度一四。十九日。北緯二十七度四。東經百二十二度一七。二十日早田村丸。在北緯二十七度四七。東經百二十一度一。此外當局雄丸。亦有網得場所。各相當距離。但此中何爲本物。沈沒乎。漂流乎。非沈沒。位置在何處乎。皆陷于五里霧中。

北上急航
抵東犬島

馬公要港部。因有傳早蕨於福淸海上漂流。乃於二十日夜。命令軍艦北上。與第二十六驅逐隊。急航赴現場搜查。北上於二十一日午前三時。抵東犬島。得二十六驅逐隊到著。同時協力搜查。同地風速十七米。波浪險惡。而早蕨遭難地。本日風浪亦險惡。潛水作業不能。因此。鵝飼副官談曰。在福淸海上漂流中之事。或非無有其事。然其範圍廣汎。搜查亦困難。北上不日應有情報。務祈早得發見云。

斷脈自殺
生命危篤
財產家事業失敗

嘉義市元町一丁目某甲。年逾不惑。賦性醇朴。具有恆產五六萬圓。本年春間。與友人投資。共營事業。總損金二三萬圓。甲須負擔約三千圓。然以同謀者被當局檢舉。事尙懸案未決。無從淸算。而債權者。逐日對甲催迫。甚至惡口相加。甲亦能忍。月前自縊。幸被家人救拔。北姊丈郡下張某。乃邀往北家靜養。經爲勸解。最近甲復歸嘉。仍被債權者辱罵。去二十日午後二時。又生厭世之念。以剃刀斬斷手脈。及家人發覺。已不省人事。急託醫師治療。同時門外觀衆。甚形雜沓。聞所斬斷者。雖爲靜脈。因出血過多。生命危篤云。

吳國淸殺妻全家
四人皆重傷

桃園郡大園庄許厝港二二七番地許氏甚。年二十三。母許菲氏查某。年四十一。妹許氏好。年十六。妹許氏吹。年十一。去十九日夜。被許氏甚招夫吳國淸。年三十。用菜刀斬殺。皆重傷。原因大約爲家庭不和。每起風波。國淸是日早他出。至同夜半始歸。卽攜菜刀。[illegible]睡眠中之許氏甚。及同睡許氏吹。隔房許氏好。聞變呼救亦被殺。母許菲氏。聞悲鳴奔到。亦被殺。故皆受重傷。現下大園分室警官。正力查究。

吊橋墜落
壓死載工
修未周年何至此

岡山郡岡山庄臺上四二九番地何戊已。年約而立。去十九日。偕同鄉王奔。及余文齊其他二名。以牛車由岡山驛運搬電力會社之高壓線。各載約一千六百斤。將往燕巢庄瓊子林。比至岡山庄燕巢庄境界之程香觀音吊橋。三載將入橋中。橋之東端纜線。突然切斷。墜落一丈數尺深處。何戊已。被壓卽死。其他二名。幸無生命之虞。郡警察課接報。山田司法主任。及中島林兩刑事。卽赴現場檢屍。聞此橋上客年中。被溪流冲壞。今本

搜查船三隻
入基隆港

第十三驅逐隊三隻。努力於僚艦早蕨之搜查。迨二十一日午前七時半。入基隆港。橫在能登呂艦側。更補給燃料。繫留於第二

顚落溪底
腦振盪卽死

新營郡番社庄下南勢人羅德文年二十五。去十八日下午二時半。於同庄崎子頭大挽臺車發著所附近。跳乘同所黎阿昂所押進行中之臺車。爲身體未定。由車中顚落十餘尺溪底。遂起腦振盪卽死。新營郡警察課。田中司法主任接報。急到現場檢驗。被害者跳乘之際。因在眼前。何無制止。尙繼押進。謂業務上過失致死罪。黎阿昂現被訊問中。

蚵寮豪雨害
居民寄食
鹽分地漸改良

臺南州北門郡北門庄蚵寮地方。屬州下海岸貧村。僅以製鹽。及漁業爲生計。不意本年夏間豪雨。埋沒鹽田九十六甲。就中六十六甲。不能製鹽。漁塭亦被埋沒流失。部落民極度貧窮。甚至三餐不繼。寄食于戚屬知己等。故本年同地方戶稅七百戶。三百餘圓。州當局削減。現再考慮救濟方法。而同州下嘉南大圳區域內鹽分地帶。自昨年來。改良爲農耕地。栽種水稻甘蔗。及其他雜作。昨年改良二百甲。本年約二千餘甲。昨年所改良者。撒布田菁。九月栽植甘蔗。十月培養地瓜。至本年六月。收穫成績。地瓜甲當上五萬六千三百三十三斤。中四萬八百斤。下二萬四千斤。平均三萬三千一百五十斤。甘蔗甲當上十二萬斤。中十萬斤。下八萬斤。平均十萬四千斤。但一部分地上。有粘土三尺。稻作以外。不能再播雜作者。新豐郡安順庄海尾寮方面。當局以機械。實地試驗。掘起粘土。而混合砂類約二寸。一日能力。二分三厘。經費甲當三十四圓四十錢。若得好成績。卽州下產業。必見愈發達云。

茶前酒後

×遊興稅撤廢問題。議論沸騰。撤廢論者。爲公乎。爲私乎。明眼人。自能洞徹。國家多難之秋。動議不成立。不亦宜乎。

×或說甚麽附帶希望。希望向當局提案。在九年度。應有何決定。不出此。其無面目以見利害關係者耶。

×資產家。或有閑階級。既有錢遊興。負擔些少稅項。又何妨乎。

×試觀市內大小酒場。每當酒綠燈紅之夜。一客入門。群女環集。大有肉屛風之感。較之旗亭。徵歌召妓。齷齪尤甚。徵遊興稅。以與料理屋同負擔。猶爲便宜也。

瑞芳

同窓雜誌

瑞芳尋常小學校所發刊之同窓會機關雜誌「瑞芳之友」約三百頁。目前全部附印刷。目下製本中。豫定來正月一日配布。

誕日學藝

瑞芳基督教會。訂來二十五日聖誕日。欲開祝主日學學藝會。

盜案疊聞

瑞芳庄龍潭堵。源發商店內。去十六日夜半。被賊竊去金色絲味素六七罐。外套一枚。背廣服一領。損害約九十圓。又同庄三爪子字柴寮子一八五番地雜役苦力林勝。李年四十。十七日午前九時四十分頃。至同十時半不在中。有賊入宅。室內所藏茶罐銀行券及純金製金花瓜一双半。總額七十二圓四十四錢。被人竊去。

參觀敎授

臺北第一師範女子演習科生。爲研究地方學校實地教授法。由州當局。選拔優良學校。卽指定基隆郡瑞芳公學校。俾其參觀。訂十九日。一行教生四十名抵瑞。第二時限迄。自由參觀。第三時限。指定模範授業

南投

漂屍身元

去八日在南投郡名間庄濁水十名磨仔坑之濁水溪岸。發見之漂流屍。當時不知其爲誰何。已誌前報。去十六日有新高郡集集庄集集一六〇番地林金波。來衙認明寫眞與遺留品等。謂係其胞弟林金屁（二六）。查其死因。乃謂去三日因繳投粟料之細故。受家人叱責。因而出門不回。雖經家人四處搜尋不獲。意其有歸性。或逃匿於親友家。不料其竟萌死志也。因不料其死。所以明查暗訪。甚爲忙殺。及至閱報。見所標明之屍格始疑。及見寫眞等。死信始確云。

壞人墳墓

南投街包尾二七番地胡金找。年二十八。去十二日。因欲改葬其祖父亡張新傳之遺骨。聘同地張炎山。年四十。爲擇牛眠。地近南投郡名間庄番子寮二五四番地故陳有信之墓。改葬時鋤鍬所及。因而破壞之。有信之子陳極。年五十八。聞知此信憤極。卽到現場查勘。見壞有長七尺闊三尺。遂對胡及張。提起告訴於警察課云。

不正稱秤

去十五日。南投警察課。派員沿街到各舖。檢査度量衡。不正品與不堪使用者。不計其數。一一告發在案。日昨處與科料者。共有二十五人云。

多蓬萊種

南投街管內。所栽種之蓬萊種。較諸他處。爲數甚少。原因乃爲前年數次被害。人皆裹足不前。者番郡農會及街當局。極力宣傳。始漸了解。以本年配給籾種之數觀之。實大激增可喜也。種爲臺中六五號。總配給數九十三石。來期栽培面積。當達四百甲以上云。

逃犯就縛

前在南投郡中寮庄鄉親寮。與陳振昌共爲犯賭博案之員林郡社頭庄社頭一八五番地蕭炳三。年二十四。陳已被逮。蕭卽晦其蹤跡。賊屁注敗。去十五日在名間。被警官所拿。一訊卽服。去十七日。通人帶來送入臺中檢察局待罪云。

高雄

服毒自殺

高雄市平和町五丁目假名大島春太郎。年二十六。去十八日午後十時半。嚥下染白髮藥睡至十九日。吉岡時被家人發見。急延林醫師施治。生命無礙。原因爲悲觀厭世云。

憤妻刺傷

高雄市鹽埕町五丁目。尤魚商林金英。年二十一。十九日午後二時半。在自宅用鉄刺傷其妻林陳氏寶珠。年十九之右後胸部。深達肺臟。原因其妻爲炊飯。與其母口角。加害者憤慨其妻不從順。遂演此慘劇。既押高雄署究問。

燒失住家

高雄州東港郡下丹庄興化廍字瑞之宅。去十九日午後三時半發火。全燒住家一棟。損害二千圓。現調查中。

焚燒田寮

高雄州鳳山街五塊厝黃萬來所有耕作用小屋。去十八日正午發火。全燒小屋。至午後一時頃火熄。又同夜十時。附近蔗堆約六十斤。亦發火焚至十九日午前零時火熄。幸同處爲廣汎田地。無處延燒云。

詩壇

歸途
高重熙

嶺遶林表暮煙迷。歸路紆廻夕照低。回首海天茫渺處。蜃樓彩幻夢聞鷄。

次韻
久保得二

煙生野圃獨行迷。屋背忽看殘日低。欺得村家寂無主。晚來樹上在鄰鷄。

作並巖松樓
天隨　久保得二

溪山生雨氣。物候屆秋初。亂嶂啣剌合。炊煙峽口疏。何日拋塵累。開尋槊瓹居。五情無執著。一悟到眞如。

○

勝游生境似。惡熱竟誰依。木末雨聲過。澗頭湯氣圍。此生偏有悔。萬事始知非。秋早峽天暝。稍凉添袂衣。

小原浴舍

絕境鍾靈淑。宛然仙所都。千巖危欲墜。一水急如趨。樹杪蟬聲鬧。峽天禽影孤。車行迅而快。艇破逆崎嶇。

○

倚欄時縱目。勝景入孤吟。雲湧日沈閣。凉生風滿林。泉聲因澗淺。樵徑覓山深。客舍閒無事。初知靜者心。

眞好句如珠穿乙乙也　潤庵漫評

英美匯水　廿一日
英美匯水　三弗三三仙四分二

金塊行情　二十日
上海金塊　八〇九兩

銀塊行情　廿一日
倫敦現物　一六片一六分一五
同　先物　一七片
紐育現物　二五仙二五分
同　先物　二六仙三五分

對外匯水　廿一日
大連現物　九四四八〇圓
同　先物　九四四九〇圓

二十一日臺銀買價
倫敦電信買　一志三片一六分
紐育　同　二一弗
孟買　同　八二留比
新嘉坡同　一八五圓
爪哇　同　五一盾四分三
馬尼刺同　二四五圓
上海（參覽）同　七三兩　一〇二圓
漢口參覽買　六九兩　一〇二圓
福州同　一〇二圓
廈門同　一〇二圓
汕頭同　一〇二圓
香港同　一〇六圓
廣東同　一〇六圓

東洋產人蔘廉價大販賣
雲州產、會津產、信州產、其他各地產
在庫豐富。廉價提供

販賣品目
一、紅蔘　（拾根　三十根　六十根）　拾五根　三十五根　七十根　貳拾根　四十根　八十根　貳拾五根　五十根　百根
一、雲州製太極蔘　（旭記　宇記　天記　鳳記　仁記　義記　禮記　智記　信記　花記　春記　夏記　中記　大記　日記　順記　日記　月記　秋記　冬記　功記　商記　玉記　大武記　中武記　小武記　虎記）
一、紅脚　（百根　貳百五十根）　百五十根　參百根　貳百根
紅鬚　白千玉　橫玉　白蔘
生干無數　橫筋無數　生干肉折　其他各種

光顧須知
目下在庫豐富。價格從廉。望多賜顧。小數購時。以小包代金引換。多量賜購者。以船積荷爲發送呈。

始業三百有餘年前
東洋產人蔘製造發賣元
神戶市葺合區磯上通リ八丁目
長岡佐介商店　人蔘部

藥種天產物
貿易商
薄荷精製
除虫粉
製造販賣業

營業所　電話葺合（ナ）二〇四〇番